

# トヨタの概況 2005

データで見る世界の中のトヨタ



**TOYOTA**

## はじめに

本年も広報資料『トヨタの概況 2005』をお届けいたします。

トヨタでは、昨年度を「2010年グローバルビジョン」の実現に向け「しっかり根を張る1年」と位置づけ、重点プロジェクトの確実な実行と、経営基盤の整備に取り組んでまいりました。具体的には、国内での新ネット店の立ち上げ、海外ではタイなどでのIMVプロジェクトの立ち上げや、サイオンの全米展開、中国でのカローラの現地生産開始など、世界の各地域で確実に取り組みを進めました。また、海外生産が急拡大する中、国内外の人材を早期育成するために一昨年に立ち上げた「グローバル生産推進センター」を本格化させるなど、着実に基盤整備を進めてきました。その結果、事業展開の地域的な広がりが一層加速し、トヨタグループの世界販売台数が、昨年、初めて700万台を上回りました。

一方、環境や安全、ITSについても引き続き、より一層力を入れて取り組んでいます。中でも環境に関しましては、一昨年、フルモデルチェンジしたプリウスがご好評をいただいております。ハイブリッドを今後、高級車などにも展開したいと考えております。また、海外事業体の環境保全レベルの向上を目指し、昨年秋に「グローバル環境マネジメントシステム」を策定しました。

さらには、社会的責任をしっかりと果たし、内外から信頼される良き企業市民の一員として調和ある成長を実現すべく努力していくことが、継続的な発展には不可欠であると考えております。

当資料は、会社概況、研究・開発、生産・販売・輸出、環境対策、安全対策、社会貢献活動などトヨタの取り組みを幅広く紹介いたしました。当社の企業活動をご理解いただく一助として、当資料をご活用いただければ幸いです。

2005年4月  
トヨタ自動車株式会社 広報部

当資料は当社のホームページ「TOYOTA INTERNET DRIVE」にもPDF形式で掲載しています。頁イメージのままダウンロードしてご覧いただけます。

[http://www.toyota.co.jp/jp/about\\_toyota/](http://www.toyota.co.jp/jp/about_toyota/)

# トヨタの概況 2005・総目次

会社概要 ●	
アウトライン ●	2
基本理念 ●	3
主な新製品 ●	7
技術開発の歴史 ●	8
研究・開発 ●	10
生産・販売・輸出 ●	
海外生産拠点等一覧 ●	12
地域別生産・販売台数／地域別・車名別輸出台数 ●	14
北米での活動 ●	15
中南米での活動 ●	16
ヨーロッパでの活動 ●	17
アフリカでの活動 ●	18
アジアでの活動 ●	19
オセアニア・中近東での活動 ●	20
海外子会社等からの完成車・部品輸出 ●	21
国内の生産・販売体制 ●	22
車名別国内生産台数 ●	24
車名別国内登録台数 ●	25
国内販売車両一覧 ●	26
環境対策 ●	28
安全対策 ●	31
ITS ●	34
ウェルキャブ ●	36
モータースポーツ ●	37
GAZOO／自動車部品 ●	38
トヨタレンタリース／U-Car(中古車) ●	39
住宅事業 ●	40
金融事業 ●	41
主な出資会社 ●	42
社会貢献活動 ●	45
沿 革 ●	49

データ編	世界 ●	52
	自動車生産 52／主要市場の自動車販売 55	
	日本 ●	57
	自動車生産 57／自動車登録・届出台数 58	
	自動車輸出・海外生産 60／輸入車登録台数 62	
	自動車関係税制 63／自動車リサイクル法 64	

■ 会社概要

会社名	トヨタ自動車株式会社 (TOYOTA MOTOR CORPORATION)	従業員数	65,346人 (連結会社合計 264,410人)
創立	1937年(昭和12年)8月28日	資本金	3,970億円

注) 2004年3月末現在、従業員数は就業人員数を記載。

連結ベース (米国基準)

■ 経営状況

(1億円未満切捨)

	平成15年3月期 (14.4~15.3)	平成16年3月期 (15.4~16.3)	平成16年9月中間期 (16.4~16.9)
売上高	155,015億円	172,947億円	90,256億円
営業利益	12,716億円	16,668億円	8,662億円
当期純利益	7,509億円	11,620億円	5,840億円
設備投資 <sup>*1</sup>	9,990億円	9,577億円	5,006億円
研究開発	6,684億円	6,822億円	3,514億円
連結子会社数	500社	554社	540社
持分法適用会社数	58社	53社	56社

注) ※1 リース用資産除く。

■ 生産実績

		平成15年3月期 (14.4~15.3)	平成16年3月期 (15.4~16.3)	平成16年9月中間期 (16.4~16.9)
車 両 新 車	国内	4,162千台	4,284千台	2,177千台
	海外	1,687千台	2,230千台	1,292千台
	合計	5,850千台	6,514千台	3,469千台
	住宅	3,574戸	4,564戸	2,384戸

■ 販売実績

		平成15年3月期 (14.4~15.3)	平成16年3月期 (15.4~16.3)	平成16年9月中間期 (16.4~16.9)
車 両 新 車	国内	2,218千台	2,303千台	1,107千台
	海外	3,896千台	4,416千台	2,460千台
	合計	6,113千台	6,719千台	3,567千台
	住宅	4,024戸	4,752戸	2,194戸

単独ベース (日本基準)

■ 経営状況

(1億円未満切捨)

	第99期 (14.4~15.3)	第100期 (15.4~16.3)	第101期前半期 (16.4~16.9)
売上高	87,393億円	89,637億円	44,597億円
経常利益	8,926億円	9,157億円	4,423億円
当期純利益	6,340億円	5,814億円	2,637億円

■ 生産実績

	第99期 (14.4~15.3)	第100期 (15.4~16.3)	第101期前半期 (16.4~16.9)
国内生産台数	3,513千台	3,558千台	1,802千台
海外生産台数	2,215千台	2,739千台	1,511千台

■ 販売実績

	第99期 (14.4~15.3)	第100期 (15.4~16.3)	第101期前半期 (16.4~16.9)
国内販売台数(出荷)	1,724千台	1,765千台	838千台
輸出台数	1,835千台	1,860千台	967千台
住宅販売戸数	3,577戸	4,038戸	1,981戸

■ 車両生産・販売・輸出台数(2004年 年間実績)

(単位:台) ( )は、前年比%

		トヨタ	ダイハツ	日野	合計
国内生産	乗用車	3,231,430(104.8)	528,595(107.2)	—	3,760,025(105.2)
	商用車	449,516(102.6)	150,890(102.0)	93,781(112.8)	694,187(103.8)
	合計	3,680,946(104.6)	679,485(106.0)	93,781(112.8)	4,454,212(104.9)
国内販売	乗用車	1,577,921(103.2)	441,872(109.1)	—	2,019,793(104.4)
	商用車	180,922(96.9)	135,937(99.4)	50,904(106.3)	367,763(99.0)
	合計	1,758,843(102.5)	577,809(106.6)	50,904(106.3)	2,387,556(103.6)
輸出	乗用車	1,687,067(105.6)	77,979(107.2)	—	1,765,046(105.7)
	商用車	264,675(111.2)	15,920(143.4)	43,589(131.1)	324,184(114.8)
	合計	1,951,742(106.3)	93,899(112.0)	43,589(131.1)	2,089,230(107.0)
海外生産		3,042,728(119.0)	50,237(213.6)	—	3,092,965(119.8)
世界生産		6,723,674(110.6)	729,722(109.8)	93,781(112.8)	7,547,177(110.6)

注) 国内生産: 完成車+KD(国内ラインオフベース)。  
国内販売: 登録+届出(海外生産車を含む)。  
海外生産: KDを除く海外生産(現地ラインオフベース)。  
世界生産: 国内生産+海外生産

トヨタは、21世紀が社会にとって真に豊かなものであることを願い、人や社会、地球環境、世界経済との調和を図りつつ、モノづくり、車づくりを通して、お客様、株主、社員、取引先の方々等、関わりのある多くの人々とともに成長していくことを目指しています。

■基本理念、ビジョン、会社方針の位置づけ



■トヨタ基本理念

- 内外の法およびその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて、国際社会から信頼される企業市民をめざす
- 各国、各地域の文化、慣習を尊重し、地域に根ざした企業活動を通じて、経済・社会の発展に貢献する
- クリーンで安全な商品の提供を使命とし、あらゆる企業活動を通じて、住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組む
- 様々な分野での最先端技術の研究と開発に努め、世界中のお客様のご要望にお応えする魅力あふれる商品・サービスを提供する
- 労使相互信頼・責任を基本に、個人の創造力とチームワークの強みを最大限に高める企業風土をつくる
- グローバルで革新的な経営により、社会との調和ある成長をめざす
- 開かれた取引関係を基本に、互いに研究と創造に努め、長期安定的な成長と共存共栄を実現する

**(序文)**

1937年の創業以来、私たち(トヨタ自動車株式会社およびその子会社)は、革新的かつ高品質な製品とサービスの提供への不断の努力を通じ、社会の持続可能な発展への貢献に努めて参りました。その過程で、独自の経営上の考え方・価値観・手法が確立され、全ての世代を通じて共有され伝承されてきました。

私たちは、この蓄積を踏まえ、「どのような会社でありたいか」という経営理念を「トヨタ基本理念」(1992年に制定、1997年に改正)としてまとめました。この「トヨタ基本理念」は、私たちがお互いにその内容を良く理解・共有し、社会に貢献することを念頭に作られたものです。そして、今日までこの理念の精神が実践されてきているものと考えております。また、「トヨタ基本理念」を実践する上で、私たちが共有すべき価値観や手法を、「トヨタウェイ」(2001年に作成)

にまとめました。この「トヨタウェイ」の精神は将来の世代に受け継がれ生き続けると信じています。

近年、事業領域が益々グローバル化する一方で、企業に期待される社会的責任の領域が広がってきました。そこで今回「トヨタ基本理念」を、ステークホルダーとの関係を念頭に置ながら、「社会・地球の持続可能な発展に対してどう貢献するのか」という観点から解説したものが、この「社会・地球の持続可能な発展への貢献」です。

私たちはこれをグローバルに共有し、社会・地球の持続可能な発展に率先して貢献して参ります。また、私たちは取引先がこの趣旨を支持し、それに基づいて行動することを期待します。

**(本文)**

私たち(トヨタ自動車株式会社およびその子会社)は、「トヨタ基本理念」に基づき、グローバル企業として、社会・地球の調和のとれた持続可能な発展に率先して貢献します。

私たちは、国内外・国際的な法令並びにそれらの精神を遵守し、誠意を尽くし誠実な事業活動を行います。

私たちは、持続可能な発展のために、以下のとおり全てのステークホルダーを重視した経営を行い、オープンで公正なコミュニケーションを通じて、ステークホルダーとの健全な関係の維持・発展に努めます。

**お客様**

■私たちは、「お客様第一主義」という信念に基づき、世界中の人々の生活を豊かにするために、お客様の様々な期待に応える革新的・安全かつ卓越した高品質な製品とサービスを開発・提供します。(基本理念3, 4)

■私たちは各国の法およびその精神を遵守し、お客様の個人情報保護の徹底に努めます。(基本理念1)

**従業員**

■私たちは、「事業活動の成功は従業員一人一人の創造力と優れたチームワークによってこそ達成される」との信念のもと、従業員を尊重し、個々人の成長を支援します。(基本理念5)

■私たちは、均等な雇用機会を提供するとともに、従業員の多様性・一体感の確保に努力します。また、従業員に対する差別を行いません。(基本理念5)

■私たちは、全従業員に対し公正な労働条件を提供し、安全かつ健康的な労働環境を維持・向上するよう努めます。(基本理念5)

■私たちは、事業活動に関わる全ての人々の人権を尊重し、いかなる形であれ強制労働・児童労働を行いません。(基本理念5)

■私たちは、従業員との誠実な対話と協議を通じ、「相互信頼・相互責任」の価値観を構築し共に分かち合います。そして、従業員と会社がお互いに繁栄するよう共に努力します。(基本理念5)

■私たちは、経営トップの率先垂範のもと、倫理的な行動を促す企業文化を育て、それを実践していきます。(基本理念1, 5)

**取引先**

■私たちは、サプライヤー・販売店などの取引先を尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共存共栄の実現に取り組みます。(基本理念7)

■私たちは、取引先の決定にあたっては、全ての候補に対しその国籍または規模に関わらず門戸を開き、その総合的な強みに基づき判断します。(基本理念7)

■私たちは、各国の競争法の規定と精神を遵守し、公正かつ自由な取引を維持します。(基本理念1, 7)

**株主**

■私たちは、株主の利益のために、長期安定的な成長を通じ企業価値の向上を目指します。(基本理念6)

■私たちは、株主および投資家に対して、事業・財務状況と成果の適時かつ適正な開示を行います。(基本理念1, 6)

**地域社会・グローバル社会**

**環境**

■私たちは、あらゆる事業活動を通じ環境保全に努め、環境と経済を両立する技術の開発と普及に取り組むとともに、社会の幅広い層との連携を図り、環境との調和ある成長を目指します。(基本理念3)

**社会**

■私たちは、各国の文化・慣習・歴史および法令を尊重し、「人間性尊重」の経営を実践します。(基本理念2)

■私たちは、社会が求めるサステイナブル・モビリティの実現に向けて、安全でクリーンかつ社会のニーズを満たす優れた技術を常に追求し、製品の開発を行います。(基本理念3, 4)

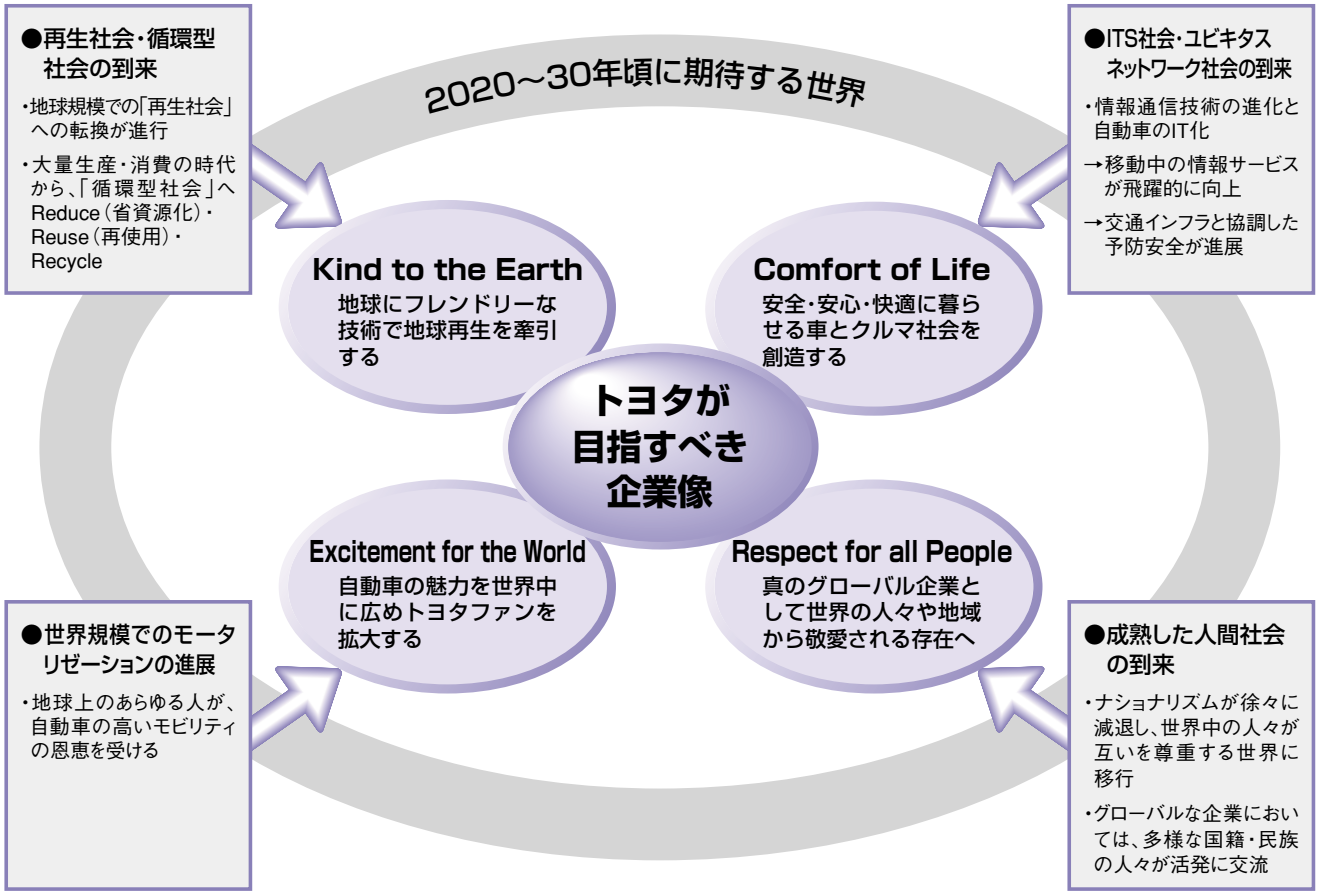
■私たちは政府や取引先による贈収賄を許さず、行政府諸機関と誠実かつ公正な関係を維持します。(基本理念1)

**社会貢献**

■私たちは、事業活動を行うあらゆる地域において、独自にまたはパートナーと協力して、コミュニティの成長と豊かな社会づくりを目指し、社会貢献活動を積極的に推進します。(基本理念2)

■ 2010年グローバルビジョンの概要

● トヨタが目指すべき企業像

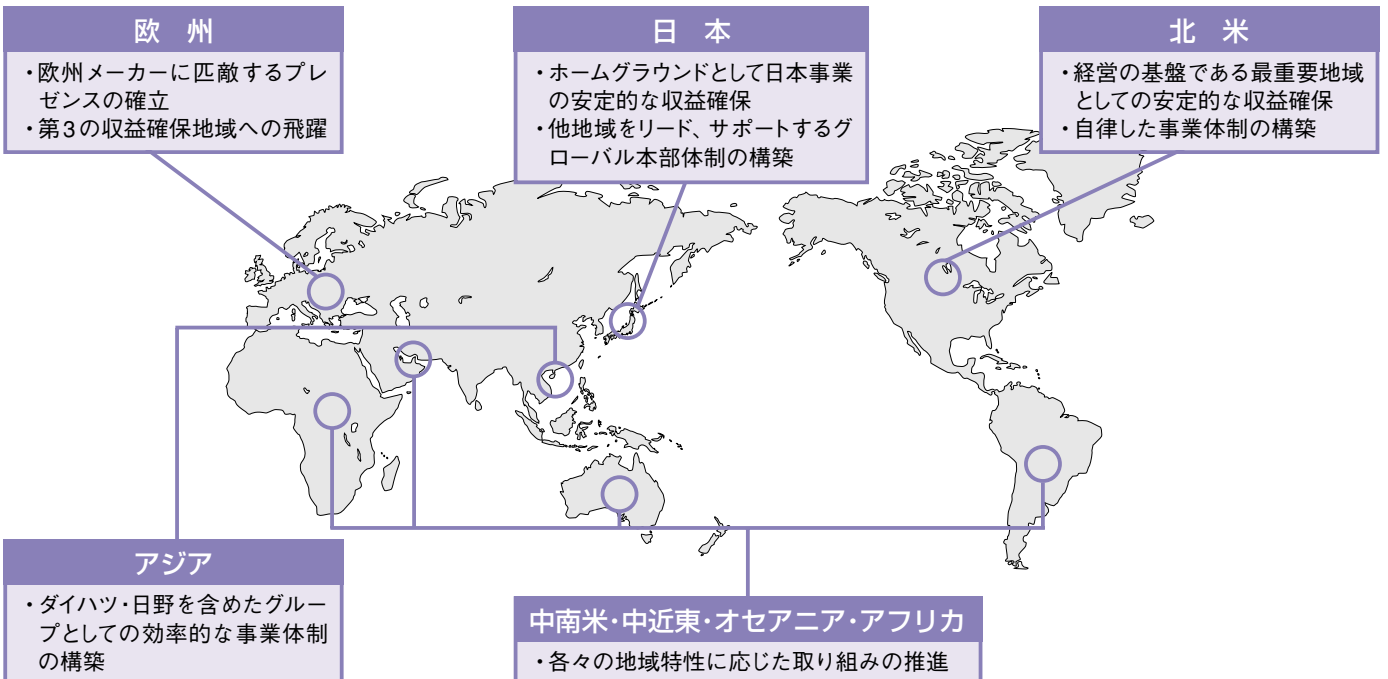


● 2010年グローバルビジョン

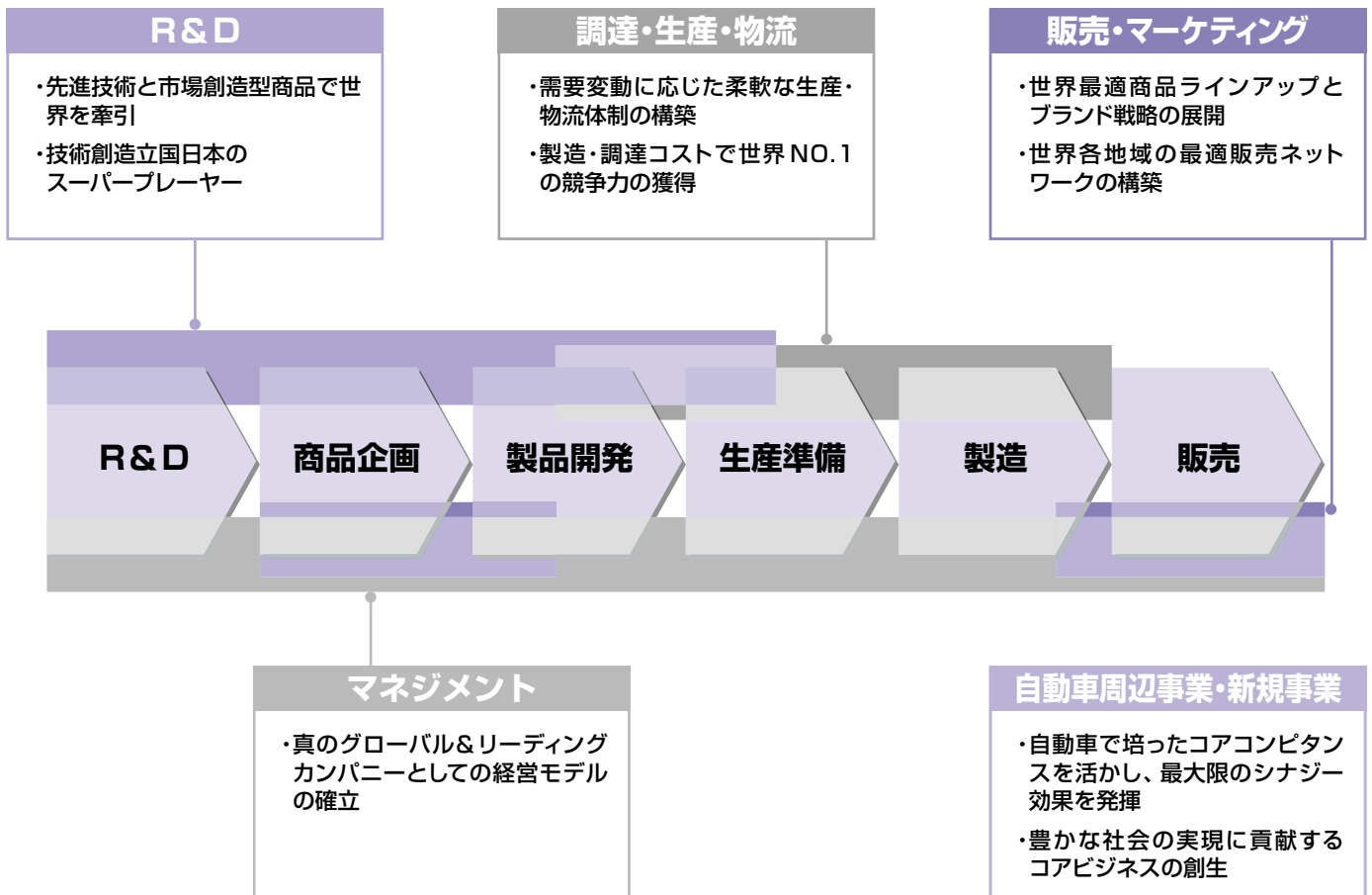
**Innovation into the Future**  
～ 豊かな社会創りに情熱をかけて～

創業以来の精神である「モノづくり、車づくりを通して社会に貢献する」ということの意味を今一度かみしめ、強い情熱と高い志を持って、「豊かな新世紀社会を実現する」ために邁進する。

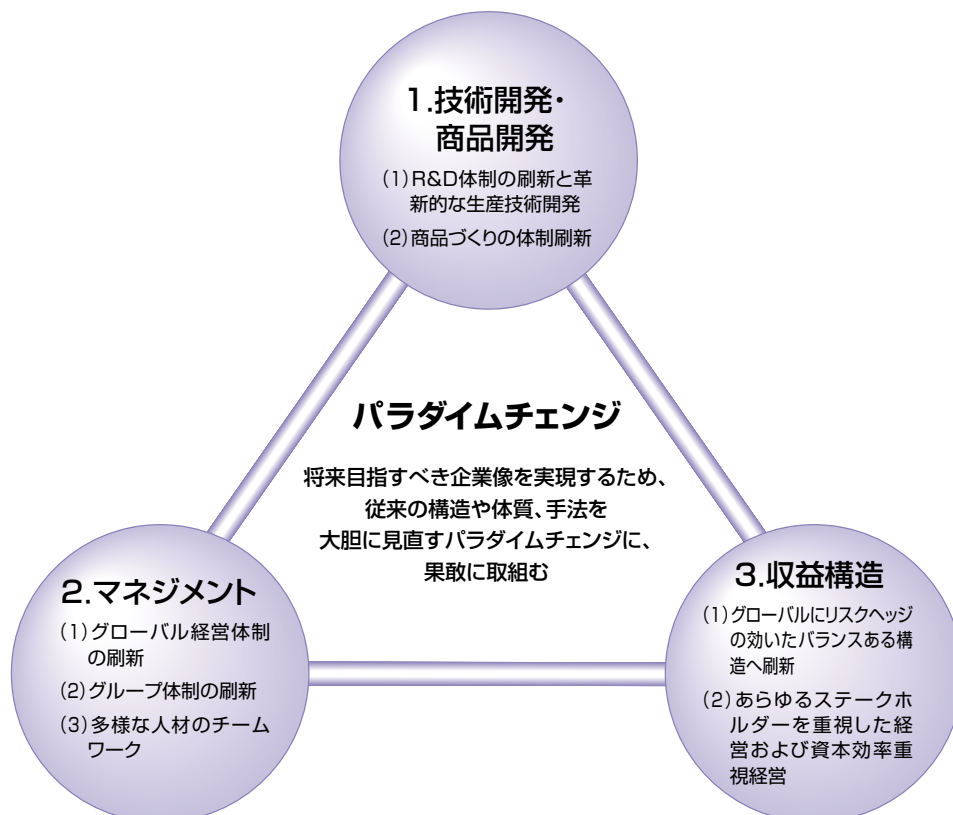
<地域軸ビジョン>



〈機能軸ビジョン〉



●目指すべき企業像を実現するためのパラダイムチェンジ





主な新製品

発売時期	製品
2004年 3月	「モダンデザイン」「アトリウム」がキーワードの都市型コートハウス「MEZZO」
4月	ナビゲーション、オーディオ新モデル ボイスタイプとベーシックタイプの新型ETC車載器 シンプルモダンな生活スタイルがコンセプトの戸建住宅「シンセカーダ」
6月	従来のコンパクトカーの概念を超えた新型車「パッソ」

発売時期	製品
2004年 7月	フルモデルチェンジした「クラウンマジェスタ」 革新的なパッケージの新型2ボックス「ポルテ」
8月	フルモデルチェンジした「ハイエース」「レジアスエース」 IMVプロジェクトをスタート「ハイラックスVIGO」(タイ)
9月	IMVシリーズの新型ミニバン「キジャン イノーバ」(インドネシア) ユーティリティを徹底的に追求したスタイリッシュミニバン「アイシス」
11月	新時代の高級セダン「マークX(エックス)」



●2004年3月  
「モダンデザイン」「アトリウム」がキーワードの都市型コートハウス「MEZZO」



●2004年4月  
ナビゲーション、オーディオ新モデル



●2004年4月  
ボイスタイプとベーシックタイプの新型ETC車載器  
(ベーシックタイプ)



●2004年4月  
シンプルモダンな生活スタイルがコンセプトの戸建住宅「シンセカーダ」



●2004年6月  
従来のコンパクトカーの概念を超えた新型車「パッソ」



●2004年7月  
フルモデルチェンジした「クラウンマジェスタ」



●2004年7月  
革新的なパッケージの新型2ボックス「ポルテ」



●2004年8月  
フルモデルチェンジした「ハイエース」「レジアスエース」



●2004年8月  
IMVプロジェクトをスタート「ハイラックスVIGO」(タイ)



●2004年9月  
IMVシリーズの新型ミニバン「キジャン イノーバ」  
(インドネシア)



●2004年9月  
ユーティリティを徹底的に追求した  
スタイリッシュミニバン「アイシス」



●2004年11月  
新時代の高級セダン「マークX(エックス)」

# 技術開発の歴史

トヨタは、お客様のニーズにお応えしながら環境にやさしく、安全性、走行性、快適性、信頼性などの要素を高度にバランスさせた自動車の開発に努めています。

■トヨタの技術開発の歴史（1985～、凡例：▲……環境対策関連技術 ●……安全対策関連技術）

年	1985～89	1990～1999
エンジン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・油圧駆動ファン</li> <li>・ハイメカDOHCエンジン(シザースギア)</li> <li>・ミッドシップ</li> <li>・セラミックターボ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲スモークレスディーゼルエンジン</li> <li>・電子制御スロットル</li> <li>▲ディーゼルスモークコントロールシステム(DSCS)</li> <li>▲連続可変バルブタイミング機構(VVT-i)</li> <li>▲4弁直噴ディーゼル</li> <li>・アルミクランクダンパーブーリ</li> <li>・レーザークラッドシリンダヘッド</li> <li>・5バルブエンジン</li> <li>▲新世代希薄燃焼エンジン</li> </ul>
駆動・制動 足廻り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●4WS</li> <li>・アクティブコントロールサスペンション</li> <li>●トラクションコントロール(TRC)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6速M/T</li> <li>▲フレックスロックアップシステム</li> <li>●車両安定性制御システム(VSC)</li> <li>●アクティブ4WS</li> <li>・スーパーストラットサスペンション</li> <li>・ロータリートリプレッドカップリング</li> <li>・5速オートマチックトランスミッション</li> <li>●車両総合制御システム(i-four)</li> </ul>
ボディ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SRSエアバッグ</li> <li>・ガルウイングドア</li> <li>●超音波雨滴除去ドアミラー</li> <li>●サイドドアビーム</li> <li>●サイドウインドワイパー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲スーパーオレフィンバンパー</li> <li>●助手席エアバッグ</li> </ul>
電子・電気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルシグナルプロセッサー</li> <li>・CRT付エレクトロマルチビジョン</li> <li>・CDインフォメーション</li> <li>●クリアランスソナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GPSナビゲーション</li> <li>●ヘッドアップディスプレイ</li> <li>●CCD式バックモニター</li> <li>・GPSボイスナビゲーション</li> <li>▲燃焼圧センサー</li> </ul>
材 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外装塗料(MIOカラー、グラファイトカラー、アーゲンタムマイカ)</li> <li>▲メタル担体触媒</li> <li>・マグネシウムステアリングホイール</li> <li>・複合機能ファブリック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲ディーゼル酸化触媒</li> <li>▲内装用高性能樹脂(TSOP-5)</li> <li>・樹脂製燃料タンク</li> <li>・マグネシウムシリンダーヘッドカバー</li> <li>▲パラジウム三元触媒</li> <li>▲新冷媒エアコン</li> <li>・デオドラント機能付きファブリック</li> <li>▲リーンバーン用新三元触媒</li> <li>・コンポジットプロペラシャフト</li> </ul>

■ 2004 年度に発表した主な新技術 (発表時期)

レーダークルーズコントロール(低速追従モード付) (2004/3)、VDIM (2004/6)、レーンキーピングアシスト (2004/6)

		2000～
<ul style="list-style-type: none"> <li>▲連続可変バルブタイミング&amp;可変リフト機構 (VVTL-i)</li> <li>▲高効率直噴ガソリンエンジン (D-4)</li> <li>・窒素チタンコートシム</li> <li>▲燃料電池電気自動車 (FCEV)</li> <li>▲トヨタハイブリッドシステム (THS)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲Dual VVT-i</li> <li>▲ストイキD4</li> <li>▲コモンレール式ピエゾインジェクション直噴ディーゼルターボエンジン (D-4D Clean Power)</li> <li>▲TOYOTA STOP AND GO SYSTEM</li> <li>▲燃料電池ハイブリッド車 (FCHV-4、FCHV-5)</li> <li>▲燃料電池ハイブリッド車 (トヨタFCHV)</li> <li>▲トヨタハイブリッドシステム (THS-C、THS-M、THS-II)</li> <li>▲トヨタインテリジェントアイドリングストップシステム</li> <li>▲ディーゼルハイブリッドシステム</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●ブレーキアシスト</li> <li>●ARS</li> <li>●EBD付ABS</li> <li>▲Super CVT</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●VDIM</li> <li>●電子制御ブレーキシステム (ECB)</li> <li>●プリクラッシュセーフティシステム</li> <li>▲電気式4輪駆動システム (E-Four)</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●UVカットドアガラス</li> <li>●はっ水ドアガラス</li> <li>●新衝突安全ボディ (GOA)</li> <li>●SRSカーテンシールドエアバッグ</li> <li>●SRSサイドエアバッグ</li> <li>●フォースリミッター付きシートベルト</li> <li>▲塗装補修バンパーリサイクル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●助手席デュアルステージSRSエアバッグ</li> <li>●運転席デュアルステージSRSエアバッグ</li> <li>●プリクラッシュシートベルト</li> <li>●前後席SRSカーテンシールドエアバッグ</li> <li>●運転席SRSニーエアバッグ</li> <li>●歩行者傷害軽減ボディ</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●マルチゾーンオートエアコン</li> <li>●タイヤ空気圧警報システム</li> <li>●ブラインドコーナーモニター</li> <li>・レーダークルーズコントロール</li> <li>▲電動パワーステアリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スマートキーシステム</li> <li>●音声ガイダンス機能付バックガイドモニター</li> <li>・G-Book</li> <li>●フロント&amp;サイドモニター</li> <li>・マイナスイオン発生装置</li> <li>・AC100Vコンセント</li> <li>●インテリジェントAFS</li> <li>●レーンキーピングアシスト</li> <li>●レーダークルーズコントロール (低速追従モード付)</li> <li>●インテリジェントパーキングアシスト</li> <li>●スマートエントリーandスタートシステム</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>▲ディーゼル触媒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲ディーゼル車用新触媒システム (DPNR)</li> <li>▲トヨタエコプラスチック</li> <li>▲ケナフ材パッケージトレイトリム、ドアトリム</li> <li>▲植物系生分解樹脂 (バイオプラスチック)</li> <li>▲CO2冷媒電動ヒートポンプ式エアコン</li> <li>・花粉フィルター</li> </ul>	

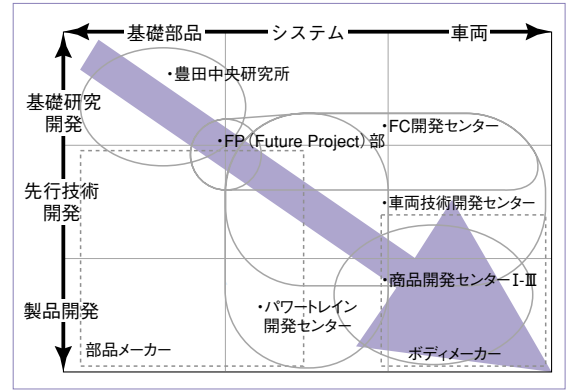
# 研究・開発

## トヨタの研究・開発体制

トヨタでは、次の各開発フェーズを通して研究・開発に取り組んでいます。この3つの開発フェーズが連携・融合し合うことで、最少の時間で、先進的、高品質で魅力的な車が継続的に開発されています。

1. 「基礎研究開発」  
開発の方向性を探るフェーズ。車の基本となるベーシックな部分の研究開発。
2. 「先行技術開発」  
コンポーネント、システムなどの技術的ブレークスルーを必要とする開発フェーズ。高度な技術開発を他社に先駆けて進めるために、最新のコンポーネントやシステム研究に専念。
3. 「製品開発」  
新型車両の開発を中心に担当。

トヨタグループの研究・開発体制



トヨタテクニカルセンター U.S.A. (株) (トーランス)



キャルティデザインリサーチ (株)



アリゾナ試験場



トヨタテクニカルセンター U.S.A. (株) (アナーバー)



TMEM研究開発グループ (テクニカルセンター)

## アメリカ

トヨタテクニカルセンター U. S. A. (株)	所在地 (本社)	ミシガン州アナーバー(分室:ミシガン州プリマス、カリフォルニア州トーランス、ガルデナ、アリゾナ州ウィットマン、ワシントンD. C.)
	設立年月	1977年6月
	出資比率	トヨタ80%、米国トヨタ10%、アイシン精機、デンソー各5%
	主な活動	米国の部品・材料の試験や評価から、排出ガスの検定や技術的調査まで車両の研究・開発を実施。特に、北アメリカ向けのトヨタ製品のデザイン研究開発の分野で益々重要な役割を担っています。
キャルティデザインリサーチ(株)	所在地	カリフォルニア州ニューポートビーチ
	設立年月	1973年10月
	出資比率	トヨタ80%、米国トヨタ20%
	主な活動	トヨタ初の海外でのデザイン開発拠点で、日米のデザイナーにより新デザインを共同調査・開発。第二世代のセリカ、エスティマ(アメリカ名、プレビア)、ソアラ(アメリカ名、レクサスSC430)、タコマ、プリウス、ソラーラのデザインを開発。1991年5月に先進的な外観、内装、カラーデザイン開発用の建物が完成、設備も一新。

■ヨーロッパ

TMEM研究開発グループ (テクニカルセンター)	所在地	ベルギー ザベントム(分室:イギリス ダービー州とドイツ ケルベン)
	設立年月	1987年9月
	主な活動	トヨタのヨーロッパでの事業サポート、ヨーロッパの環境面における車両・材料の評価、トヨタ車の認証、技術の調査・研究
トヨタヨーロッパ デザインディベロップメント(有) (ED <sup>2</sup> )	所在地	フランス コートダジュール
	設立年月	1998年11月(稼働2000年5月)
	主な活動	外観・内装・カラーデザインの開発研究、モデル製作、デザイン調査
トヨタモータースポーツ(有) (TMG)	所在地	ドイツ ケルン
	設立年月	1993年7月
	主な活動	F1カーの開発、F1レースへの参加



士別試験場



東京デザイン研究所



トヨタヨーロッパ  
デザインディベロップメント(有)(ED<sup>2</sup>)



トヨタモータースポーツ(有)  
(TMG)



トヨタテクニカルセンター  
(本社内)



東富士研究所

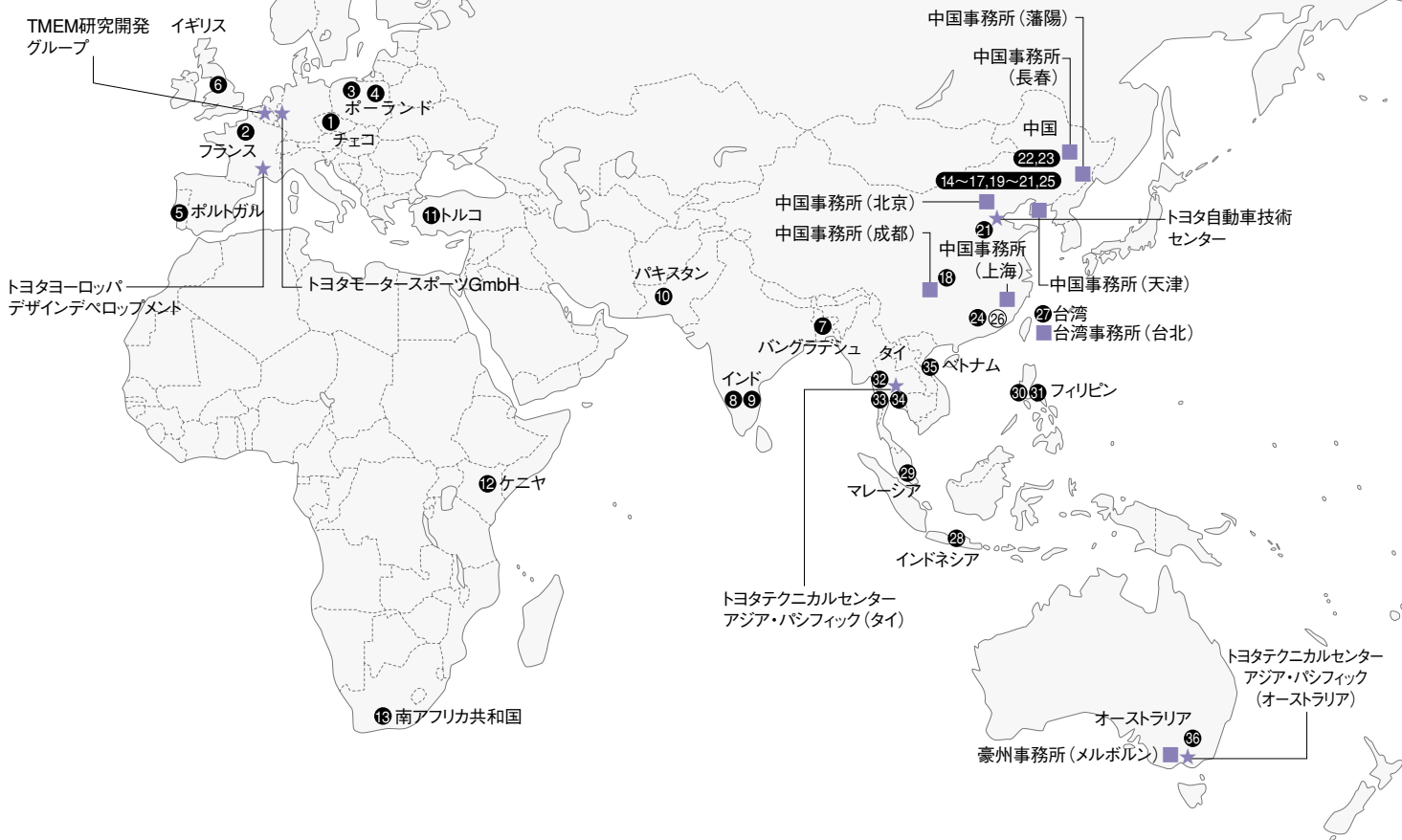
■日本

トヨタテクニカルセンター (本社内)	所在地	愛知県豊田市トヨタ町
	主な活動	デザイン、プロトタイプの研究開発とその企画、車両の評価等
東京デザイン研究所	所在地	東京都八王子市石川
	設立年月	1989年9月(1999年4月、港区三田から八王子に移転・統合)
	主な活動	先進的なスタイリングのデザイン研究・開発
東富士研究所	所在地	静岡県裾野市御宿
	設立年月	1966年11月
	主な活動	車両の新技術開発及びエンジンの新技術研究
士別試験場	所在地	北海道士別市温根別町
	設立年月	1984年10月
	主な活動	車両の高速総合性能、各種寒冷地試験及び評価

■アジア・太平洋

トヨタテクニカルセンター アジア・パシフィック タイ(株) (TTCAP-TH)	所在地	タイ サムットプラカン県
	設立年月	2003年9月
	主な活動	デザインの研究開発とその評価、アジア太平洋地域の技術情報の提供
トヨタテクニカルセンター アジア・パシフィック オーストラリア(株) (TTCAP-AU)	所在地	オーストラリア ビクトリア州メルボルン
	設立年月	2003年6月
	主な活動	デザインの研究開発

2004年末現在、トヨタには26カ国/地域に51の海外生産拠点を、8カ所の海外事務所があり、ワールドワイドに事業展開



トヨタの海外生産拠点一覧 (生産会社 51 社、26 カ国/地域)

国/地域	会社名	従業員数	
欧州	① Toyota Peugeot Citroën Automobile Czech (TPCA)	1,700 <sup>*5</sup>	
	② Toyota Motor Manufacturing France S.A.S. (TMMF)	3,025	
	③ Toyota Motor Manufacturing Poland SP.zo.o (TMMP)	④ Toyota Motor Industries Poland SP.zo.o (TMIP)	676
			350 <sup>*5</sup>
	⑤ Salvador Caetano I.M.V.T., S.A. OVAR PLANT	946	
中近東	⑥ Toyota Motor Manufacturing (UK) Ltd.	4,479	
	⑦ Aftab Automobiles Ltd.	110	
	⑧ Toyota Kirloskar Motor Private Ltd.	⑨ Toyota Kirloskar Auto Parts Private Ltd.	2,397
			493
アジア	⑩ Indus Motor Company Ltd.	1,190	
	⑪ Toyota Motor Manufacturing TURKEY Inc.	2,980	
	⑫ Associated Vehicle Assemblers Ltd.	354	
アジア	⑬ Toyota South Africa Motors (Pty.) Ltd.	7,410	
	⑭ 天津津豊汽車底盤部件有限公司 (Tianjin Jinfeng Auto Parts Co.,Ltd.)	408	
	⑮ 天津豊田汽車発動機有限公司 (Tianjin Toyota Motor Engine Co.,Ltd.)	800	
	⑯ 天津豊田汽車鍛造部件有限公司 (Tianjin Toyota Forging Co.,Ltd.)	100	
	⑰ 天津豊津汽車伝動部件有限公司 (Tianjin Fengjin Auto Parts Co.,Ltd.)	350	
	⑱ 四川豊田汽車有限公司 (Sichuan Toyota Motor Co.,Ltd.)	700	
	⑲ 天津豊田冲压部件有限公司 (Tianjin Toyota Press Co.,Ltd.)	260 <sup>*2</sup>	
	⑳ 天津豊田樹脂部件有限公司 (Tianjin Toyota Resin Co.,Ltd.)	190 <sup>*2</sup>	
	㉑ 天津一汽豊田汽車有限公司 (Tianjin FAW Toyota Motor Co.,Ltd.)	2,311	
	㉒ 長春一汽豊越汽車有限公司 (Chang Chun FAW Fengyue Auto Co.,Ltd.)	250 <sup>*2</sup>	
	㉓ 一汽豊田(長春)発動機有限公司 (Faw Toyota(Chang Chun) Engine Co.,Ltd.)	150	
	㉔ 広汽豊田汽車発動機有限公司 (Guanigqi Toyota Engine Co.,Ltd.)	50	
	㉕ 豊田一汽(天津)模具有限公司 (Toyota FAW(Tianjin) Dies Co.,Ltd.)	160 <sup>*3</sup>	
	㉖ 広州豊田汽車有限公司 (Guangzhou Toyota Motor Co.,Ltd.) (2006年予定)	1,400 <sup>*1</sup>	

開しています。また、トヨタ車は、海外の約170カ国/地域以上で販売されています。



地域	生産拠点
北米	11
中南米	4
ヨーロッパ	6
アフリカ	2
アジア(日本を除く)	22
オセアニア	1
中近東	5
海外合計	51

国/地域	会社名	従業員数	
アジア	台湾 ⑳ 國瑞汽車股份有限公司 (Kuozui Motors, Ltd.)	2,903	
	インドネシア ㉑ PT. Toyota Motor Manufacturing Indonesia	4,459	
	マレーシア ㉒ Assembly Services Sdn. Bhd.	1,781	
	フィリピン	㉓ Toyota Autoparts Philippines Inc.	533
		㉔ Toyota Motor Philippines Corp.	1,242
	タイ	㉕ Siam Toyota Manufacturing Co., Ltd.	1,279
		㉖ Toyota Auto Body Thailand Co., Ltd	93
㉗ Toyota Motor Thailand Co., Ltd.		7,760	
ベトナム ㉘ Toyota Motor Vietnam Co., Ltd.	550		
オセアニア	オーストラリア ㉙ Toyota Motor Corporation Australia Ltd.	4,693	
北米	カナダ	㉚ Canadian Autoparts Toyota Inc. (CAPTIN)	231
		㉛ Toyota Motor Manufacturing Canada Inc. (TMMC)	4,279
	アメリカ	㉜ Bodine Aluminum, Inc.	970
		㉝ New United Motor Manufacturing, Inc. (NUMMI)	5,664
		㉞ TABC, Inc.	648
		㉟ Toyota Motor Manufacturing, Alabama, Inc. (TMMAL)	353
		㊱ Toyota Motor Manufacturing, Kentucky, Inc. (TMMK)	7,475
		㊲ Toyota Motor Manufacturing, Indiana, Inc. (TMMI)	4,968
	㊳ Toyota Motor Manufacturing, West Virginia, Inc. (TMMWV)	1,001	
	㊴ Toyota Motor Manufacturing, Texas, Inc. (TMMTX) (2006年予定)	350 <sup>*1</sup>	
メキシコ ㊵ Toyota Motor Manufacturing de Baja California S.de R.L.de C.V. (TMMBC)	650 <sup>*4</sup>		
中南米	アルゼンチン ㊶ Toyota Argentina S.A.	1,114	
	ブラジル ㊷ Toyota do Brasil LTDA.	1,910	
	コロンビア ㊸ Sociedad de Fabricacion de Automotores S.A.	1,105	
	ベネズエラ ㊹ Toyota de Venezuela Compania Anonima	736	

注)従業員数は2004年5月現在。但し、※1は2004年9月現在、※2は2004年10月現在、※3は2004年12月現在、※4は2005年2月現在、※5は2005年3月現在。

トヨタの地域別海外生産台数の推移

(単位:千台)

地域	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
北米	729.9	783.0	838.3	962.8	1,061.9	1,104.0	1,088.5	1,205.3	1,278.3	1,444.2
中南米	3.7	3.2	3.8	15.3	16.8	19.6	17.8	28.1	58.1	80.3
ヨーロッパ	95.5	124.4	108.8	175.7	181.5	173.3	216.9	344.6	395.5	582.5
アフリカ	87.7	85.1	91.2	74.1	68.4	77.5	77.5	79.8	93.3	108.8
アジア	259.0	255.1	246.7	124.8	182.1	248.4	254.3	345.7	493.1	647.2
オセアニア	54.1	67.6	77.6	100.4	91.0	92.4	94.6	86.6	113.6	109.9
中近東	23.3	27.7	23.8	14.4	9.4	36.1	31.0	65.1	125.8	69.8
海外生産合計	1,253.3	1,346.0	1,390.1	1,467.6	1,611.0	1,751.4	1,780.6	2,155.2	2,558.0	3,042.7
国内生産合計	3,171.3	3,410.1	3,502.0	3,165.8	3,118.2	3,429.2	3,354.4	3,485.2	3,520.3	3,680.9
全世界合計	4,424.6	4,756.1	4,892.1	4,633.4	4,729.2	5,180.6	5,135.0	5,640.4	6,078.3	6,723.7

注)地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。台数はトヨタとレクサスブランド。

資料:トヨタ自動車

トヨタの地域別海外販売台数の推移

(単位:千台)

地域	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
北米	1,169.2	1,251.5	1,356.7	1,516.0	1,631.3	1,766.3	1,893.6	1,940.8	2,072.2	2,291.9
中南米	96.0	82.2	115.1	125.0	99.9	105.6	107.5	96.9	121.3	153.3
ヨーロッパ	384.1	411.9	471.2	540.9	592.3	655.8	666.0	755.6	834.7	916.0
アフリカ	136.2	135.5	143.6	129.7	123.2	121.8	126.5	139.8	160.8	206.7
アジア	433.0	444.8	417.9	229.5	252.9	339.3	342.2	455.0	620.6	771.5
オセアニア	145.0	144.2	148.2	176.5	171.8	176.7	162.2	182.2	215.1	232.8
中近東	132.8	151.7	185.0	212.4	186.6	217.2	248.6	267.9	330.0	376.6
海外販売合計	2,496.2	2,621.8	2,837.6	2,930.0	3,058.1	3,382.7	3,546.7	3,838.3	4,354.7	4,948.7
国内販売合計	2,060.1	2,135.3	2,005.9	1,711.0	1,664.4	1,771.7	1,715.2	1,680.5	1,715.9	1,758.8
全世界合計	4,556.3	4,757.1	4,843.5	4,641.0	4,722.5	5,154.3	5,261.9	5,518.8	6,070.6	6,707.6

注)地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。台数はトヨタとレクサスブランド。

資料:トヨタ自動車

トヨタ車の地域別輸出台数

(単位:千台)

地域	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
北米	454.4	456.3	510.8	569.5	650.1	717.7	720.8	852.1	782.8	813.5
中南米	110.9	86.2	135.3	125.1	89.0	93.9	97.4	75.2	71.5	95.6
ヨーロッパ	263.0	303.6	404.1	372.5	447.9	491.1	433.1	392.7	424.6	419.0
アフリカ	46.6	44.2	47.3	49.2	42.3	37.4	38.2	53.6	58.2	92.0
アジア	156.1	184.3	161.6	79.3	93.4	117.5	99.0	147.2	154.7	156.2
オセアニア	76.7	82.1	93.6	104.2	102.3	115.0	113.1	128.1	154.1	164.6
中近東	89.3	112.1	133.7	155.7	114.5	126.3	158.5	160.4	182.6	202.1
その他	5.4	7.8	7.8	7.4	8.5	7.3	5.7	7.5	7.5	8.6
合計	1202.4	1276.7	1494.3	1462.8	1548.0	1706.2	1665.7	1,816.8	1,836.0	1,951.7

注)地域区分は日本自動車工業会に基づく。台数はトヨタとレクサスブランド。

資料:トヨタ自動車

トヨタ車の車名別輸出台数

(単位:台)

車名	輸出開始年	2004年輸出台数	2004年までの輸出累計
ハイラックス	1968	262,629	9,192,498
カローラ	1966	234,507	11,358,026
RAV4	1994	228,280	1,492,996
ランドクルーザー	1952	223,270	3,820,783
ヤリスエコ(ヴァッツ/ブラツツ/ファンカーゴ)	1998	151,302	1,403,733
ハイランダー(クルーガーV)	2000	146,710	531,047
カムリ/カムリCNG	1982	57,553	3,052,759
RX300/330(ハリアー)	1997	71,753	579,622
プリウス	2000	71,058	148,772
ES300/330(ウィンダム)	1989	66,361	753,772
ハイエース	1967	58,084	2,043,923
Scion xB	2003	52,173	64,756
LS400/430(セルシオ)	1989	41,417	487,456
GX470(ランドクルーザー)	2002	37,596	73,850
Scion tC	2004	34,716	34,716
ダイナトヨエース	1957	31,339	884,684

車名	輸出開始年	2004年輸出台数	2004年までの輸出累計
Scion xA	2003	26,183	33,211
IS200/300(アルテッツァ)	1998	18,479	172,576
ピクニック(イブサム)	1996	14,405	162,717
LX450/470(ランドクルーザーゲナシ)	1995	14,163	117,651
ウィッシュ	2003	13,950	17,670
プレビア(エステイマ)	1990	13,769	452,513
セリカ	1970	12,863	3,297,885
SC300/400/430(ソアラ)	1991	11,306	144,873
GS300/430(アリスト)	1993	9,252	256,509
コースター	1969	8,067	187,529
クラウン	1954	6,979	750,132
MR-S	1984	5,082	243,844
xA	2003	2,570	4,498
ライトエース/タウンエース	1971	1,542	433,836
センチュリー	1967	2	105

資料:トヨタ自動車

注) 1. はレクサスブランド。他はトヨタブランド。  
 2. ハイラックスは4ランナーを含む。  
 3. カローラはカローラシボを含む。  
 4. RAV4はEVを含む。  
 5. ハイエースはハイエースセミボンを含む。  
 6. MR-Sの累計台数はMR2を含む。  
 7. ( )内は日本名。





■北米市場の概況(2004年)

米国市場では、低金利や減税による良好な景気と、ビッグ3を中心とする高額な販売奨励金に支えられ、販売台数は2000年以来4年ぶりに前年超えとなる1,690万台と、過去4番目の高水準となりました。日本車の市場シェアは初めて30%を超えました。一方、ビッグ3は初めて60%を下回りました。カナダ市場は、153.4万台と前年比96%にとどまり、過去最高を記録した2002年以降、2年連続で前年を下回りました。

■トヨタの概況(2004年)

北米市場でのトヨタの販売台数は229.2万台と、初めて200万台を超えた前年を上回りました。米国での2004年の販売台数は206万台と初めて200万台を超え、9年連続で最高記録を更新し、シェアも12.2%まで伸ばしました。トヨタは2年連続で最量販乗用車ブランドとなり、カムリは3年連続で最量販車となりました。レクサスは最量販ラグジュアリーブランドのタイトルを5年連続で獲得しました。プリウスは北米カーオブザイヤーを受賞し、タコマはモータートレンド誌トラックオブザイヤーを受賞しました。

カナダでの販売台数は17万台と3年連続で最高記録を更新し、シェアも11.1%と初めて11%を超えました。トヨタ車は3年連続で最量販乗用車ブランドとなりました。メキシコでの販売台数は前年比43%増の2.4万台となり、過去最高を記録し、シェアも1.2%増加しました。プエルトリコでの販売台数は3.8万台と2年連続の過去最高となり、7年連続で市場シェアが1位となっています。

2月にトヨタはNUMMIの20周年記念式典を行いました。4月にはウェストバージニア工場でAT用ギアの生産を開始しました。9月にはメキシコでタコマ用トラックデッキの生産を開始。またアラバマ工場のエンジン生産能力増強を発表し、現在の12万基から2006年末に年間40万基の生産とする予定です。

生産・販売・輸出  
北米での活動

■北米におけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
生産台数	729.9	783.0	838.3	962.8	1,061.9	1,104.0	1,088.5	1,205.3	1,278.3	1,444.2
販売台数	1,169.2	1,251.5	1,356.7	1,516.0	1,631.3	1,766.3	1,893.6	1,940.8	2,072.2	2,291.9
内アメリカ	1,083.4	1,179.8	1,230.1	1,368.3	1,475.4	1,619.2	1,741.3	1,756.1	1,866.3	2,060.0

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(単位：台)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2004)
カナダ	① Canadian Autoparts Toyota Inc.(CAPTIN)	1985.2	アルミホイール	—
	② Toyota Motor Manufacturing Canada Inc.(TMMC)	1988.11	カローラ、マトリックス、RX330 エンジン	288,130 (288,130) 204,655
アメリカ	③ Bodine Aluminum, Inc.	1993.1	アルミ鋳物	—
	④ New United Motor Manufacturing, Inc. (NUMMI)	1984.12	カローラ、タコマ、ヴォルツ	380,679*1 (311,453)
	⑤ TABC, Inc.	1971.11	荷台、触媒コンバータ、プレス部品	—
	⑥ Toyota Motor Manufacturing, Alabama, Inc. (TMMAL)	2003.4	エンジン	106,931
	⑦ Toyota Motor Manufacturing, Kentucky, Inc. (TMMK)	1988.5	アバロン、カムリ、ソラーラ	470,392 (470,392)
			エンジン	506,062
	⑧ Toyota Motor Manufacturing, Indiana, Inc. (TMMI)	1999.2	タンドラ、セコイア、シエナ	374,058 (374,058)
	⑨ Toyota Motor Manufacturing, West Virginia, Inc. (TMMWV)	1998.11	エンジン	669,900
			トランスミッション	389,807
	⑩ Toyota Motor Manufacturing, Texas, Inc. (TMMTX)	2006 (予定)	タンドラ	—
メキシコ	⑪ Toyota Motor Manufacturing de Baja California S.de.R.L.de.C.V. (TMMBC)	2004.9	トラック荷台	—
			タコマ	128

注) 生産台数のうち( )は現地生産(F.O.B価格ベースで自動車部品の現地調達率40%以上)台数。

\*1 NUMMIの生産台数はGMのVibe(69,226台)を含まない。

■販売拠点

(単位：台)

国/地域	会社名	販売開始	販売台数(2004)
カナダ	Toyota Canada Inc.	1964	170,200
メキシコ	Toyota Motor Sales de Mexico. S.de.R.L.dec.V.	2001	23,900
アメリカ	Servco Pacific Inc. (Hawaii)	1958	2,060,000
	Toyota Motor Sales, U.S.A., Inc.	1957	
プエルトリコ	Toyota de Puerto Rico Corp.	1994	37,700

■その他の拠点

国/地域	会社名	運営開始	主な活動
カナダ	Toyota Credit Canada Inc.	1990	自動車の販売金融
アメリカ	Calty Design Research, Inc.	1973	自動車デザイン
	Toyota Motor Credit Corporation	1982	自動車の販売金融、保険
	Toyota Motor Manufacturing North America, Inc.	1996	北米製造会社の統括
	Toyota Motor North America, Inc.	1996	北米でのトヨタの 渉外・広報機能の統括 およびTMS、TMMNAの 持株会社
	Toyota Technical Center, U.S.A., Inc.	1977	自動車技術の研究開発
メキシコ	Toyota Services de Mexico, S.A. de C.V.	2001	自動車の販売金融
プエルトリコ	Toyota Credit de Puerto Rico Corp.	1996	自動車の販売金融



■中南米市場の概況(2004年)

アルゼンチン、ブラジル、ベネズエラの総市場は前年比でそれぞれ100%、10%、111%の増加となりました。

■トヨタの概況(2004年)

中南米の地域におけるトヨタ車販売は前年比26%増の15.3万台でした。ブラジルでの販売は5.1万台、アルゼンチンでは1.3万台、チリでは1.7万台と競争の激しい市場で過去最高を記録しました。ベネズエラでの販売台数は1.4万台となり、シェアは10.2%となりました。

■中南米におけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
生産台数	3.7	3.2	3.8	15.3	16.8	19.7	17.8	28.1	58.1	80.3
販売台数	96.0	82.2	115.1	125.0	99.9	105.6	107.5	96.9	121.3	153.3

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(単位：台)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2004)
アルゼンチン①	Toyota Argentina S.A.	1997.3	ハイラックス	19,355 (19,355)
ブラジル②	Toyota do Brasil LTDA.	1959.5	カローラ	53,752 (53,752)
			エンジン	38,672
コロンビア③	Sociedad de Fabricacion de Automotores S.A.	1992.3	ランドクルーザー、ハイラックス、ランドクルーザープラド	6,261
ベネズエラ④	Toyota de Venezuela Compania Anonima	1981.11	カローラ、ダイナ、ランドクルーザーテリオス*1	10,882*1 (7,185)

注) 生産台数のうち( )は現地生産(F.O.B.価格ベースで自動車部品の現地調達率40%以上)台数。  
\*1 ダイハツブランドで生産台数に含まず。

■その他の拠点

国/地域	会社名	運営開始	主な活動
アルゼンチン	Toyota Compania Financiera de Argentina S.A.	1998	自動車の販売金融
ブラジル	Banco Toyota do Brasil S.A.	1999	自動車の販売金融
ベネズエラ	Toyota Services de Venezuela, C.A.	2001	自動車の販売金融

■販売拠点

(単位：台)

国/地域	会社名	販売開始	販売台数(2004)
アルゼンチン	Toyota Argentina S.A.	1994	13,400
ブラジル	Toyota do Brasil LTDA.	1958	51,100
チリ	Toyota Chile S.A.	1980	17,100
コロンビア	Distribuidora Toyota Ltda.	1967	6,800
	Sociedad de Fabricacion de Automotores S.A.	1991	
コスタリカ	Purdy Motor S.A.	1957	3,900
ドミニカ	Delta Comercial, C por A.	1962	1,800
エクアドル	Casabaca S.A.	1959	2,900
	Importadora Tomebamba S.A.	1964	2,000
エルサルバドル	Distribuidora de Automoviles, S.A. de C.V.	1953	3,000
グアデルーブ	CARMO S.A.	1988	1,500
グアテマラ	Cofiño Stahl y Compañia Ltda.	1964	1,500
ホンジュラス	Corporacion Flores, S.A.	1955	2,600
マルチニーク	Comptoir Caraibe d'Importation et d'Exportation	1972	1,300
ニカラグア	AUTO NICA, S.A.	1964	1,300
	F.Alf.Pellas S.A.	1963	1,600
パナマ	Ricardo Perez, S.A.	1956	6,400
ペルー	Toyota del Peru S.A.	1967	4,400
トリニダード・トバゴ	Toyota Trinidad & Tobago Ltd.	1996	1,600
ベネズエラ	Toyota de Venezuela Compania Anonima	1958	13,700

注) 販売拠点は2004年に1,000台以上を販売した拠点を記載。



■ヨーロッパ市場の概況(2004年)

ヨーロッパの自動車市場(EU、スイス、ノルウェー、ポーランド、ハンガリー、チェコ、スロバキア)は1,760万台と前年比で3%増加しました。ヨーロッパの5大市場の中ではドイツ、フランス、イタリア、スペインが前年を上回りましたが、イギリスはほぼ前年並みの水準となりました。スペインでは他国よりも堅調な経済状況により、史上3番目の販売台数を記録しました。

■トヨタの概況(2004年)

トヨタの販売台数は前年比10%増の91.6万台となり、8年連続で新記録を更新しました。市場シェアは0.1%増の4.9%となりました。ヤリス(日本名ヴィッツ)は22.6万台を販売し、1999年の発売以来6年連続で新記録となりました。新型アベンシスは前年比4%の増加となる13.4万台を販売しました。フィンランド、ノルウェーおよびギリシャでは、トヨタは乗用車・商用車合せてシェアトップを維持しました。トヨタはスペイン以外の全市場で日本車のトップブランドとなりました。5月にトヨタはイギリスTMUKのカローラおよびアベンシスの生産能力を22万台から28.5万台へ増強すると発表しました。またフランスTMMFで500人を新たに雇用し、ヤリスの年間生産能力を18.4万台から21万台に増強しました。12月には、PSAプジョーシトロエンとトヨタは2005年にチェコのコリンTPCA(トヨタとPSAの合弁会社)で生産開始予定の共同開発車3モデルを発表しました。この工場の年間生産能力は30万台を予定し、うち20万台がプジョーおよびシトロエン、10万台がトヨタ車となっています。TPCAで生産されるトヨタ車の車名はアイゴ(Aygo)となる予定です。

■ヨーロッパにおけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位:千台)

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
生産台数	95.5	124.4	108.8	175.7	181.5	173.3	217.0	344.6	395.5	582.5
販売台数	384.1	411.9	471.2	540.9	592.3	655.8	666.0	755.6	834.7	916.0

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(単位:台)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2004)
チェコ	① Toyota Peugeot Citroën Automobile Czech (TPCA)	2005 (予定)	アイゴ	—
フランス	② Toyota Motor Manufacturing France S.A.S.(TMMF)	2001.1	ヤリス(ヴィッツ)	203,881 (203,881)
			エンジン	204,788
ポーランド	③ Toyota Motor Manufacturing Poland SP.zo.o.(TMMP)	2002.4	トランスミッション	195,164
			④ Toyota Motor Industries Poland SP.zo.o.(TMIP)	2005 (予定)
ポルトガル	⑤ Salvador Caetano I.M.V.T., S.A. OVAR PLANT	1968.8	ダイナ、ハイエース、オブティモ	3,043 (136)
イギリス	⑥ Toyota Motor Manufacturing (UK) Ltd.	1992.9	アベンシス、カローラ	244,430 (244,430)
			エンジン	194,887

注) 生産台数のうち( )は現地生産(F.O.B.価格ベースで自動車部品の現地調達率40%以上)台数。

■その他の拠点

国/地域	会社名	運営開始	主な活動
ベルギー	Toyota Motor Europe	2002	TMEM および TMME の持株会社、欧州での渉外活動強化
	Toyota Motor Marketing Europe n.v./s.a.	1990	自動車、部品、用品の販売統括
	Toyota Motor Engineering & Manufacturing Europe n.v./s.a.	1998	欧州での自動車の研究・開発
チェコ	Toyota Financial Services Czech s.r.o.	2000	自動車の販売金融
デンマーク	Toyota Financial Services Denmark A/S	2002	自動車の販売金融
フィンランド	Toyota Finance Finland Oy	1995	自動車の販売金融
フランス	Toyota Europe Design Development S.A.R.L.(ED <sup>2</sup> )	2000	自動車のデザインの研究・開発
	Toyota France Financement*1	1997	自動車の販売金融
ドイツ	Toyota Kreditbank GmbH	1988	自動車の販売金融
	Toyota Motorsport GmbH	1993	F1カーの開発とF1レース参加
ハンガリー	Toyota Financial Services Hungary Rt.	2002	自動車の販売金融
イタリア	Toyota Financial Services Italy*2	1997	自動車の販売金融
オランダ	Toyota Motor Finance (Netherlands) B.V.	1987	関係会社への融資
ノルウェー	Toyota Kreditbank Norge*1	1997	自動車の販売金融
ポーランド	Toyota Bank Polska S.A.	2000	自動車の販売金融
スロバキア	Toyota Financial Services Slovakia s.r.o	2005	自動車の販売金融
スペイン	Spain Toyota Financial Services Espana*1	2003	自動車の販売金融
スウェーデン	Toyota Financial Services Sweden*1	2000	自動車の販売金融
イギリス	Toyota Financial Services (UK) PLC	1988	自動車の販売金融

注) \*1 Toyota Kreditbank GmbHの支店。

\*2 Toyota Financial Services (UK) PLCの支店。

■販売拠点

(単位:台)

国/地域	会社名	販売開始	販売台数(2004)
オーストリア	Toyota Frey Austria Ges.m.b.H.	1970	17,000
ベルギー	Toyota Belgium S.A./N.V.	1966	30,900
チェコ	Toyota Motor Czech spol.s.r.o	1994	6,200
デンマーク	Toyota Denmark A/S	1963	22,900
フィンランド	Toyota Auto Finland Oy	1995	30,600
フランス	Toyota France S.A.	1971	80,300
ドイツ	Toyota Deutschland G.m.b.H.	1971	120,300
ギリシャ	Toyota Hellas S.A.	1987	35,200
ハンガリー	Toyota Motor Hungary Kft	1991	13,200
アイスランド	P.Samuelsson hf.	1980	3,600
アイルランド	Toyota Ireland	1972	24,400
イタリア	Toyota Motor Italia S.p.A.	1990	128,700
オランダ	Louwman & Parqui B.V.	1964	33,800
ノルウェー	Toyota Norge AS	1973	22,400
ポーランド	Toyota Motor Poland Co., Ltd.	1991	33,800
ポルトガル	Salvador Caetano I.M.V.T., S.A.	1968	14,600
スロベニア	Toyota Adria d.o.o	1998	7,400
スペイン	Toyota España, S.L.	1992	56,200
スウェーデン	Toyota Autoimport AB	1968	20,800
スイス	Toyota AG	1966	18,600
イギリス	Toyota (GB) PLC	1965	138,100
ロシア	OOO "TOYOTA MOTOR"	2002	45,900

注) 販売拠点は2004年に2,000台以上を販売した拠点を記載。



■アフリカ市場の概況(2004年)

南アフリカの自動車総市場は、低金利が貢献して、前年比22%増の44.9万台となりました。

■トヨタの概況(2004年)

アフリカにおける総販売台数は、前年29%増の20.7万台となり、過去最高となりました。

南アフリカでの販売台数は11.3万台となり、販売記録を更新しました。アルジェリアでは、トヨタの販売台数は前年比81%増の1.8万台と大幅に増加しました。主にヤリスおよびカローラの販売増加が寄与しています。エジプト、カナリア諸島、モロッコ、スーダン、レユニオン、ガーナ、チュニジア、マラウィ、モーリタニアおよびカーボベルデではそれぞれ過去最高を記録しました。

■アフリカにおけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
生産台数	87.7	85.1	91.2	74.1	68.4	77.5	77.5	79.8	93.3	108.8
販売台数	136.2	135.5	143.6	129.7	123.2	121.8	126.5	139.8	160.8	206.7

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(単位：台)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2004)
ケニア ①	Associated Vehicle Assemblers Ltd.	1977.8	ダイナ、ハイエース、ハイラックス、ランドクルーザー	1,603
南アフリカ共和国 ②	Toyota South Africa Motors (Pty) Ltd.	1962.6	カローラ、ダイナ、ハイエース、ハイラックス、TUV、大型トラック	111,252 (108,847)
			エンジン	72,941

注) 生産台数のうち( )は現地生産(F.O.B.価格ベースで自動車部品の現地調達率40%以上)台数。

■販売拠点

(単位：台)

国/地域	会社名	販売開始	販売台数(2004)
アルジェリア	Toyota Algeria SPA	1993	17,700
アンゴラ	Toyota de Angola S.A.R.L.	1991	1,200
カナリア諸島	Toyota Canarias S.A.	1973	9,000
エジプト	Toyota Egypt S.A.E.	1979	10,900
エチオピア	The Motor and Engineering Company of Ethiopia Ltd.S.C.	1968	1,100
ガーナ	Toyota Ghana Company Ltd.	1998	1,200
ケニア	Toyota East Africa Ltd.	1999	2,500
モロッコ	Toyota Du Maroc S.A.R.L.	1996	6,000
ナイジェリア	Toyota (Nigeria) Ltd.	1996	7,800
レユニオン	Compagnie Marseillaise de Madagascar Automobile	1977	2,200
南アフリカ共和国	Toyota South Africa Motors (Pty) Ltd.	1961	112,700
スーダン	Golden Arrow Co.,Ltd.	1963	3,500
チュニジア	B.S.B. S.A.	1990	1,100

注) 販売拠点は2004年に1000台以上販売した拠点を記載。

■その他の拠点

国/地域	会社名	運営開始	主な活動
南アフリカ共和国	Toyota Financial Services South Africa(Pty)Ltd.	2000	自動車の販売金融



■アジア市場の概況(2004年)

アジア市場は前年に比べ5%の拡大となりました。フィリピン、ベトナム、韓国市場は5%から17%縮小しましたが、ASEAN市場は20%の拡大となりました。これによりASEAN市場は、昨年に引き続き、過去最高の市場規模となりました。

■トヨタの概況(2004年)

トヨタは、インドネシア、タイ、フィリピン、シンガポール、ベトナム、台湾、ブルネイ7カ国・地域での市場シェアが1位となりました。2004年年初からインドネシアでアバンザを投入したことや、年後半よりタイ、インドネシアをはじめとする近隣アジア諸国にIMVを投入したことなどが寄与しました。今後もオセアニア地域や中近東など他国への輸出を順次開始していく予定です。

2月にトヨタは、広州自動車集団と合弁でエンジン工場を設立しました。2005年からエンジン部品ならびにエンジンの生産を開始し、生産能力は年産30万基となる予定です。3月に第一汽車集団公司 (FAW) とエンジン工場を設立、12月から生産を開始しました。生産能力は年産13万基となっています。9月には広州自動車集団と合弁で自動車製造・販売の新会社を設立しました。2006年から年産10万台規模でカムリを生産、販売する予定です。12月にはトヨタとトヨタファイナンシャルサービスが設立準備を進めていた販売金融会社が中国政府より開業認可を取得しました。

生産・販売・輸出  
アジアでの活動

■アジアにおけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
生産台数	259.0	255.1	246.7	124.8	182.1	248.4	254.3	345.7	493.1	647.2
販売台数	433.0	444.8	417.9	229.5	252.9	338.9	342.2	455.0	620.6	771.5

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(単位：台)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2004)
中国	① 天津豊田汽車底盤部件有限公司	1997.7	ステアリング、プロペラシャフト	—
	② 天津豊田汽車発動機有限公司	1998.7	エンジン	133,784
	③ 天津豊田汽車鍛造部件有限公司	1998.12	鍛造部品	—
	④ 天津豊田汽車伝動部件有限公司	1998.5	等速ジョイント	—
	⑤ 四川豊田汽車有限公司	2000.12	コースター、ランドクルーザープラド	7,127 (3,982)
	⑥ 天津豊田冲压部件有限公司	2002.5	プレス部品	—
	⑦ 天津豊田樹脂部件有限公司	2002.5	プラスチック部品	—
	⑧ 天津一汽豊田汽車有限公司	2002.10	ヴィオス、カローラ	83,780 (83,780)
	⑨ 長春一汽豊越汽車有限公司	2003.9	ランドクルーザー	4,206
	⑩ 一汽豊田(長春)発動機有限公司	2004.12	エンジン	—
	⑪ 広汽豊田汽車発動機有限公司	2005.1	エンジン部品、エンジン	—
	⑫ 豊田一汽(天津)模具有限公司	2004.12	大物プレス金型	—
	⑬ 広州豊田汽車有限公司	2006 (予定)	カムリ	—

注) 生産台数のうち( )は現地生産(F.O.B.価格ベースで自動車部品の現地調達率40%以上)台数。

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2004)
インドネシア	⑭ PT. Toyota Motor Manufacturing Indonesia	1970.5	カムリ、アバンザ、ダイナ、キジャンイノーバ	138,532 (122,235)
マレーシア	⑮ Assembly Services Sdn. Bhd.	1968.2	カムリ、カローラ、ハイエース、ハイラックス、TUV、ヴィオス	46,916 (37,451)
			エンジン	11,317
フィリピン	⑯ Toyota Autoparts Philippines Inc.	1992.9	トランスミッション、等速ジョイント	201,073
	⑰ Toyota Motor Philippines Corp.	1989.2	カムリ、カローラ、TUV	18,485 (15,484)
台湾	⑰ 國瑞汽車股份有限公司	1986.1	カムリ、カローラ、TUV、ハイエースセミボン、ヴィオス、ウィッシュ	127,025 (127,025)
タイ	⑱ Siam Toyota Manufacturing Co., Ltd.	1989.7	エンジン	304,419
			プロペラシャフト	—
	⑲ Toyota Auto Body Thailand Co., Ltd.	1979.5	プレス部品	—
	⑳ Toyota Motor Thailand Co., Ltd.	1964.12	カムリ、カローラ、ハイラックス、ハイラックスVIGO、ソルナーヴィオス、ウィッシュ	270,241 (249,585)
ベトナム	㉑ Toyota Motor Vietnam Co., Ltd.	1996.8	カムリ、カローラ、ハイエース、ランドクルーザー、TUV、ヴィオス	9,153 (7,674)

■販売拠点

(単位：台)

国/地域	会社名	販売開始	販売台数(2004)
ブルネイ	NBT (Brunei) Sdn. Bhd.	1973	3,200
中国	Toyota Motor (China) Limited	1993	35,200
	(Hong Kong) Crown Motor Ltd.	1966	9,800
インドネシア	PT. Toyota-Astra Motor	2003	140,000
韓国	Toyota Motor Korea Co., Ltd. (TMKR)	2001	5,400
マカオ	YAT Fung Motors Ltd.	1993	1,400
マレーシア	UMW Toyota Motor Sdn. Bhd.	1982	52,000
フィリピン	Toyota Motor Philippines Corp.	1989	29,200
シンガポール	Borneo Motors (Singapore) Pte. Ltd.	1967	34,000
台湾	Hotai Motor Co., Ltd.	1949	135,300
タイ	Toyota Motor Thailand Co., Ltd.	1964	234,200
ベトナム	Toyota Motor Vietnam Co., Ltd.	1996	9,200

注) 販売拠点は2004年に1,000台以上を販売した拠点を記載。

■その他の拠点

国/地域	会社名	運営開始	主な活動
シンガポール	Toyota Motor Asia Pacific Pte. Ltd.	1990	アセアン各国への部品供給とアジアでの販売サポート
タイ	Toyota Leasing Thailand Co., Ltd.	1993	自動車の販売金融
マレーシア	UMW Toyota Capital Sdn. Bhd.	2001	自動車の販売金融
フィリピン	Toyota Financial Services Philippines Corp.	2002	自動車の販売金融
台湾	Hotai Finance Corporation	2002	自動車の販売金融
	Hotai Leasing Corporation	2002	自動車のリース



■オセアニア市場の概況(2004年)

オーストラリアの総市場は過去最高となり、前年比5%増の95.5万台に達しました。小型車やSUVが市場拡大に寄与しました。

■トヨタの概況(2004年)

オーストラリアでのトヨタの販売台数は前年比8%増の20.7万台となり、過去最高を記録し、市場シェアでトップを確保しました。

ニュージーランドでトヨタは、17年連続で市場シェア1位を維持しました。

■オセアニアにおけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
生産台数	54.1	67.6	77.6	100.4	91.0	92.4	94.6	86.6	113.6	109.9
販売台数	145.0	144.2	148.2	176.5	171.8	176.6	162.2	182.2	215.1	232.8

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(単位：台)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2004)
オーストラリア ①	Toyota Motor Corporation Australia Ltd.	1963.4	アバロン、カムリ	109,864 (109,864)
			エンジン	84,257

注) 生産台数のうち( )は現地生産(F.O.B.価格ベースで自動車部品の現地調達率40%以上)台数。

■販売拠点

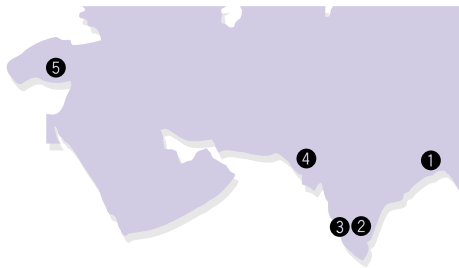
(単位：台)

国/地域	会社名	販売開始	販売台数(2004)
オーストラリア	Toyota Motor Corporation Australia Ltd.	1959	207,000
グアム	Atkins Kroll, Inc.	1975	3,300
ニュージーランド	Toyota New Zealand Ltd.	1966	18,200
バブアニューギニア	Toyota Tsusho (PNG) Ltd.	1962	1,200

注) 販売拠点は2004年に1000台以上販売した拠点を記載。

■その他の拠点

国/地域	会社名	運営開始	主な活動
オーストラリア	Toyota Finance Australia Ltd.	1982	自動車の販売金融
ニュージーランド	Toyota Finance New Zealand Ltd.	1988	自動車の販売金融



■中近東市場の概況(2004年)

インドでは乗用車市場が拡大し、販売台数は前年比24%増の106.1万台となりました。湾岸諸国では原油価格が強含みで推移したことにより、日本の自動車メーカーの販売は堅調でした。

■トヨタの概況(2004年)

インドでのトヨタの販売は、新型カローラやクオリスの販売好調により、4.8万台となり、過去最高を記録しました。

湾岸諸国では、トヨタの販売は新型カムリや新型ブラドの販売好調が寄与したことにより23万台以上に達し、1982年に記録した最高販売台数とほぼ同程度を達成しました。2月にトヨタはトルコで新型車カローラベルソの生産を開始しました。トルコとイスラエルでの年間販売台数は、それぞれ3万台、1.5万台となりました。

■中近東におけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
生産台数	23.3	27.7	23.8	14.4	9.4	36.1	31.0	65.1	125.8	69.8
販売台数	132.8	151.7	185.0	212.4	186.6	216.9	248.6	267.9	330.0	376.6

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(単位：台)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2004)
バングラデシュ ①	Aftab Automobiles Ltd.	1982.7	ランドクルーザー	139
インド ②	Toyota Kirloskar Motor Private Ltd.	1999.12	クオリス、カローラ	47,642 (47,642)
			③ Toyota Kirloskar Auto Parts Private Ltd.	2002.7
パキスタン ④	Indus Motor Company Ltd.	1993.3	カローラ、ハイラックス	25,103 (22,181)
トルコ ⑤	Toyota Motor Manufacturing TURKEY Inc.	1994.9	カローラ	134,078 (134,078)

注) 生産台数のうち( )は現地生産(F.O.B.価格ベースで自動車部品の現地調達率40%以上)台数。

■販売拠点

(単位：台)

国/地域	会社名	販売開始	販売台数(2004)
バーレーン	Ebrahim Khalil Kanoo BSC(C)	1967	8,800
インド	Toyota Kirloskar Motor Private Ltd.	1999	48,000
ヨルダン	Central Trade & Auto Co.	1998	3,000
イスラエル	Union Motors Ltd.	1991	15,000
クウェート	Mohamed Naser Al-Sayer & Sons Est.Co.W.L.L.	1956	25,100
レバノン	Boustany United Machineries Co. S.A.L.	2001	2,000
オマーン	Saud Bahwan Automotive LLC	1975	40,000
パキスタン	Indus Motor Company Ltd.	1990	26,800
カタール	Abdullah Abdulghani & Bros. Co. W.L.L.	1964	10,600
サウジアラビア	Abdul Latif Jameel Import & Distribution Co., Ltd.	1955	114,100
スリランカ	Toyota Lanka(PVT)Limited	1995	1,000
シリア	Al Saady Trading Co.,Ltd.	1993	4,600
トルコ	Toyotasa Toyota Sabanci Marketing and Sales Inc.	2000	30,900
U.A.E.	Al-Futtaim Motors Company-Limited Liability Company	1955	39,800
イエメン	Automotive & Machinery Trading Center	1956	3,700

注) 販売拠点は2004年に1,000台以上を販売した拠点を記載。

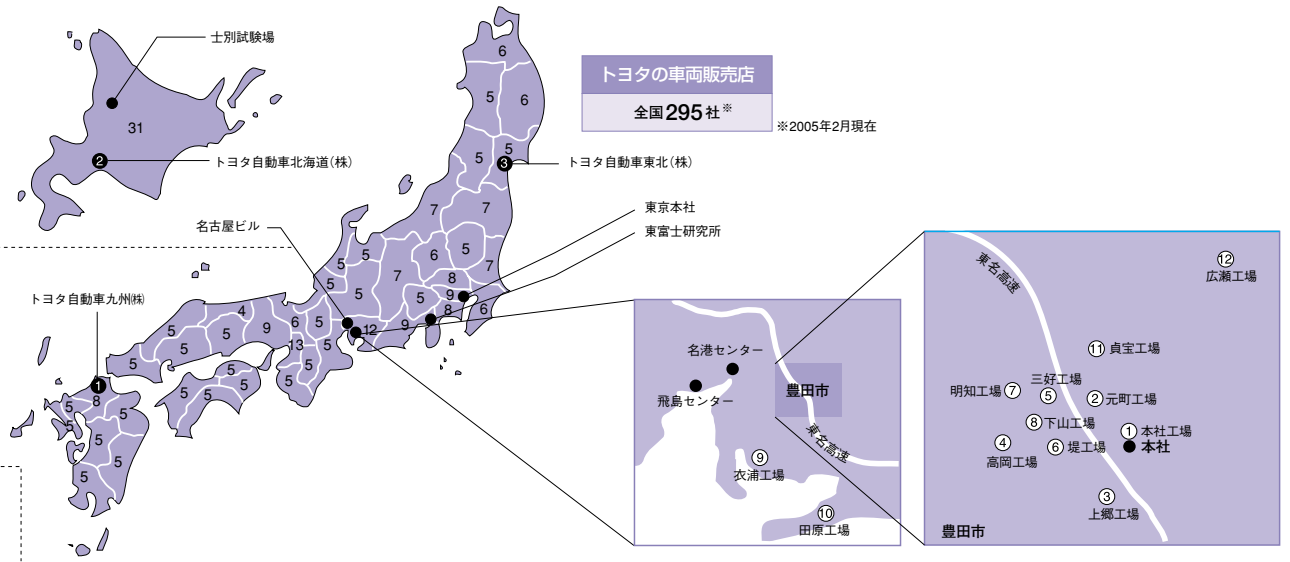
## 海外子会社等からの完成車輸出 (2004年)

生産国/地域 (生産会社)	車種	輸出先
カナダ (TMMC)	カローラ、マトリックス	アメリカ、メキシコ
	RX330(ハリアー)	アメリカ
アメリカ (NUMMI)	タコマ	カナダ
	(TMMK) アバロン、カムリ	カナダ、メキシコ、中近東
	(TMMI) タンドラ、セコイア、シエナ	カナダ
アルゼンチン (TASA)	ハイラックス	メキシコ、ブラジル 他
ブラジル (TDB)	カローラ	アルゼンチン 他
コロンビア (SOFASA)	ハイラックス、ランドクルーザー、ブラド	エクアドル、ベネズエラ
ベネズエラ (TDV)	ランドクルーザー、カローラ	コロンビア、エクアドル
フランス (TMMF)	ヤリス(ヴィッツ)	欧州、メキシコ
ポルトガル (CAETANO)	ダイナ、オプティモ(コースター)	欧州
トルコ (TMMT)	カローラ	欧州、中近東
イギリス (TMUK)	アベンシス、カローラ	欧州(アベンシス、カローラ)、中近東、アフリカ、中南米(アベンシス)、日本(アベンシス)
南アフリカ (TSAM)	カローラ、ハイラックス、TUV	ジンバブエ、マラウイ、モザンビーク、ザンビア、ナイジェリア 他
インドネシア (TMMIN)	キジャン	ブルネイ、パプアニューギニア、南太平洋
タイ (TMT)	ソルナーヴィオス	ブルネイ、シンガポール、フィリピン、インドネシア
	カローラ	インドネシア、シンガポール
	ハイラックス	フィリピン、ラオス、カンボジア、シンガポール、オーストラリア
オーストラリア (TMCA)	カムリ、アバロン(ニュージーランドのみ)	ニュージーランド、中近東、南アフリカ 他

## 海外子会社等からの部品等輸出 (2004年)

生産国/地域 (生産会社)	品名	輸出先	
アメリカ (Bodine)	デフキャリアカバー	日本	
	シリンダーヘッド	日本	
	(TABC) 触媒	日本、カナダ	
	コンバータ	日本、カナダ	
	(TMMK) AZエンジン	日本、カナダ	
	MZエンジン	日本、カナダ	
イギリス (TMMWV)	カムリ、アバロン用CKD部品	オーストラリア	
	(TMMWV) ZZエンジン	日本、カナダ	
	ZZエンジン部品	日本、トルコ、ブラジル、ベネズエラ、南アフリカ	
南アフリカ (TSAM)	SZエンジン	フランス	
	カローラ用CKD部品	ブラジル、ベネズエラ、南アフリカ	
	触媒コンバータ	日本、フランス	
中国 (TTME)(天津豊田汽車発動機有)	アルミホイール	欧州	
	カローラ用CKD部品	ブラジル、ベネズエラ	
	(TFAP)(天津豊津汽車伝動部件有)	シリンダーブロック、カムシャフト	日本
	(TTFC)(天津豊田汽車鍛造部件有)	等速ジョイント	日本
インドネシア (TMMINM)	インボードジョイント	日本	
	等速ジョイント鍛造粗形材	フィリピン	
	7Kエンジン	日本、ASEAN、台湾、インド、南アフリカ、オーストラリア 他	
マレーシア (ASSB)	TUV用CKD部品	ASEAN、台湾、インド、南アフリカ、オーストラリア 他	
ポーランド (TMMP)	カローラ、カムリ、ハイラック用CKD部品 他	ASEAN、台湾、インド、オーストラリア 他	
フィリピン (TAP)	トランスミッション	フランス、イギリス	
	トランスミッション	日本	
	トランスミッション	ASEAN、台湾、インド、南アフリカ 他	
	等速ジョイント	ASEAN、台湾、インド、南アフリカ 他	
台湾 (國瑞汽車股份有限公司)	(TMP) カローラ、カムリ用CKD部品 他	ASEAN、台湾、インド、オーストラリア 他	
	ジャッキ	日本	
タイ (STM)	TUV、カローラ、カムリ用CKD部品 他	ASEAN、インド、南アフリカ、オーストラリア、ブラジル 他	
	エンジン(L型)	日本、ASEAN、台湾、インド、南アフリカ、オーストラリア	
	シリンダーブロック	日本	
タイ (TMT)	エンジン部品	ASEAN、台湾、インド、南アフリカ、オーストラリア	
	ボディパネル	日本	
	カローラ、カムリ用CKD部品 他	ASEAN、台湾、インド、オーストラリア 他	

国内の主要事業所・販売・サービスの体制



国内の生産拠点

名称	事業内容・生産品目	完成年月	土地面積	建物面積	従業員数
① 本社工場	ランドクルーザー 100・ランドクルーザー 70のシャーシ、鍛造部品、足廻り機械部品	1938.11	55万㎡	47万㎡	2,598人
② 元町工場	クラウン、プレビス、プログレ、マークX、マークII プリット	1959. 8	160	65	6,181
③ 上郷工場	エンジン	1965.11	87	69	3,177
④ 高岡工場	カローラ、アレックス、bB、プラッツ、ファンカーゴ、ヴィッツ、イスト、シエンタ、ポルテ	1966. 9	136	47	5,370
⑤ 三好工場	足廻り、小物部品	1968. 7	33	19	1,602
⑥ 堤工場	プリウス、カムリ、オーパ、プレミオ、アリオン、カルディナ、ウィッシュ、サイオンtC	1970.12	94	51	5,111
⑦ 明知工場	エンジン・足廻り鋳物部品、足廻り機械部品	1973. 6	56	37	1,722
⑧ 下山工場	エンジン、排出ガス対策部品	1975. 3	41	26	1,403
⑨ 衣浦工場	駆動関係部品	1978. 8	84	64	2,927
⑩ 田原工場	セルシオ、クラウン、アリスト、ランドクルーザーブレード、ハイラックス、RAV4	1979. 1	403	159	6,833
⑪ 貞宝工場	機械設備、鋳鍛造型及び樹脂成形型	1986. 2	29	12	1,607
⑫ 広瀬工場	電子部品、半導体等の研究開発及び生産	1989. 3	25	24	1,299
① トヨタ自動車九州(株)	ハリヤー、クルーガー	1992.12	127	25	2,095
② トヨタ自動車北海道(株)	オートマチックトランスミッション、トランスファー、アルミホイールなど自動車部品	1992.10	98	17	1,303
③ トヨタ自動車東北(株)	メカトロ部品の生産	1998.10	29	2	149

注) 1. 2004年3月現在、但し事業内容・生産品目は2005年2月現在。  
 2. トヨタ自動車九州(株)、トヨタ自動車北海道(株)、トヨタ自動車東北(株)はトヨタ自動車の100%出資会社。  
 3. 土地面積は貸借中の土地面積を含む。

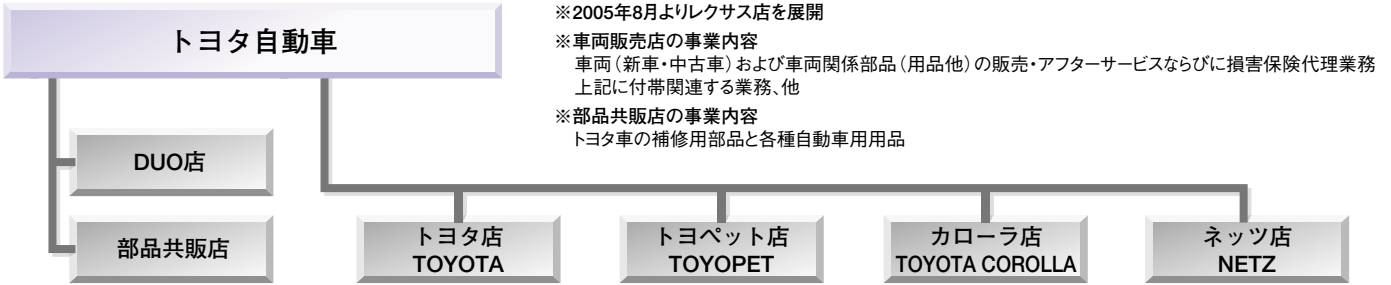
その他の拠点

名称	事業内容	完成年月	土地面積	建物面積	社員数
東富士研究所※1	車両の新技術開発及びエンジンの新技術研究	1966.11	200万㎡	23万㎡	2,541人
土別試験場※1	車両の高速総合性能・各種寒冷地試験及び評価	1984.10	930	2	189
名港センター	車両船積	1964. 5	66	2	30
飛鳥センター	海外向け部品の船積	1985. 6	28	0.3	—
春日部品センター	補給部品各センターの統括	1961. 9	10	5	56
稲沢部品センター	大物補給部品の入出荷	1978.10	11	6	76
大口部品センター	中・小物補給部品の入出荷	1978. 1	10	6	190
上郷物流センター	海外及び国内遠隔地生産用部品・内外装補給部品の入出荷、車両中継地	1968. 8	36	14	245
飛鳥物流センター	海外向けの生産用部品・補給部品の入出荷	1988.11	24	8	152

注) ※1 2005年2月現在。他は2004年3月現在。



販売・サービス網と事業内容



取扱車(2005年3月現在)

店名	トヨタ店		トヨペット店		トヨタカローラ店	ネッツ店
	東京トヨタ	大阪トヨタ	東京トヨペット	大阪トヨペット		
<b>●セダン</b>						
センチュリー	●	●		●	●	
セルシオ	●	●	●	●	●	
クラウン マジェスタ	●	●		●	●	
クラウン (“ロイヤル”シリーズ、アスリート)	●	●		●	●	
クラウンセダン	●	●		●	●	
プレビス	●	●		●	●	
プログレ		●	●	●		
ウインダム					●	
マークX		●	●	●		
カムリ					●	
プレミオ			●	●	●	
アリオン	●	●			●	
アルテッツァ						●
アベンシス						●
プリウス	●	●	●	●	●	
カローラ					●	
ブラッツ			●	●		
<b>●スポーツ&amp;スペシャルティ</b>						
ソアラ	●	●	●	●	●	
セリカ					●	
MR-S						●
<b>●2BOX系</b>						
オーバ			●	●	●	
カローラ スパシオ					●	
カローラ ランクス					●	
アレックス						●
ラウム						●
ポルテ	●	●	●	●	●	
ファンカーゴ					●	●
bB						●
WiLL サイファ					●	●
イスト			●	●	●	●
ヴィッツ						●
パソ					●	
<b>●ステーションワゴン</b>						
クラウンエステート	●	●		●	●	
マークIIプリット	●	●	●	●		
アベンシスワゴン						●
カルディア	●	●	●	●	●	
サクシード	●	●	●	●	●	
アルテッツァジータ						●
カローラ フィールダー					●	
プロボックス					●	

店名	トヨタ店		トヨペット店		トヨタカローラ店	ネッツ店
	東京トヨタ	大阪トヨタ	東京トヨペット	大阪トヨペット		
<b>●ミニバン・キャブワゴン</b>						
エスティマT	●	●			●	
エスティマL					●	
エスティマハイブリッド	●	●			●	●
アイシス	●	●			●	
イブサム			●	●	●	●
ウィッシュ						●
シエンタ					●	●
アルファードG			●	●	●	
アルファードV						●
アルファードハイブリッド			●	●	●	●
ハイエース		●	●	●	●	
ノア					●	
ヴォクシー						●
<b>●スポーツユーティリティ系</b>						
ランドクルーザー	●	●	●			
ランドクルーザープラド	●	●	●			
ハイラックスサーフ	●	●			●	
ハリアー			●	●	●	
ハリアーハイブリッド			●	●	●	
クルーガーL					●	
クルーガーV						●
クルーガーハイブリッド					●	●
RAV4 L					●	
RAV4 J						●
キャミ			●	●	●	
<b>●バン・トラック・バス</b>						
サクシード	●	●	●	●	●	
プロボックス					●	
ハイエース		●	●	●	●	
レジアスエース						●
タウンエース					●	
ライトエース						●
ダイナ (2t系/1t系)	●	●	●			
トヨエース (2t系/1t系)				●	●	●
コースター	●	●	●			

DUO店 <VW> Lupo, Polo, Golf, Golf Wagon, New Beetle, Passat, Passat Wagon

※トヨタ特装車は、ベース車と同じ販売店で扱っています。

## トヨタ車の車名別国内生産台数(完成車輸出・CKD分含む)

車名	生産開始年	2004年 生産台数	2004年 までの累計
カローラ	1966	403,189	22,571,940
ランドクルーザー	1951	293,641	4,659,784
ハイラックス	1967	272,957	10,441,787
RAV4	1994	240,158	1,838,109
クルーガー	2000	156,097	593,290
ウィッシュ	2003	145,711	317,247
ヴィッツ	1999	133,375	1,512,651
プリウス	1997	132,703	292,329
クラウン	1954	125,927	5,530,623
イスト	2002	117,480	339,217
ハリアー	1997	97,925	773,589
ハイエース	1967・97	95,047	4,659,458
bB	2000	94,941	349,131
ウィンダム	1991	93,004	952,926
アルファード	2002	88,184	229,006
(内アルファードハイブリッド)	2003	5,073	9,223)
パッソ	2004	74,775	74,775
ノア	2001	73,547	267,719
エスティマ	1990	68,363	1,705,906
(内エスティマハイブリッド)	2001	2,556	25,224)
プラッツ	1999	68,057	605,821
シエンタ	2003	66,228	97,141
カムリ	1980	63,705	3,720,372
ヴォクシー	2001	62,243	213,582
トヨエース・ダイナ	1954・56	61,515	3,408,326
セルシオ	1989	53,431	841,759
プロボックス	2002	51,518	130,229
ファンカーゴ	1999	48,710	504,771
ポルテ	2004	39,249	39,249

車名	生産開始年	2004年 生産台数	2004年 までの累計
プレミオ	2001	38,100	143,855
ラウム	1997	36,823	244,484
アリオン	2001	35,250	135,129
イプサム	1996	34,886	658,981
マークII	1968	26,259	6,522,665
サクシード	2002	25,905	73,779
アルテッツァ	1998	23,152	282,699
アイシス	2004	23,008	23,008
タウンエース	1976	18,245	2,417,317
グランビア	1995	17,773	359,162
マークX	2004	15,812	15,812
カルディナ	1992	15,350	806,463
セリカ	1970	14,518	4,120,768
アレックス	2001	13,750	83,026
ライトエース	1970	12,821	2,169,567
ソアラ	1981	12,014	473,225
アリスト	1991	11,746	401,511
コンフォート	1995	10,764	123,805
コースター	1963	10,588	321,272
MR-S	1999	6,458	71,473
Will サイファ	2002	5,023	30,464
オーバ	2000	4,262	77,927
ガイア	1998	3,667	154,572
プログレ	1998	3,338	72,971
ブレビス	2001	2,915	29,840
ヴェロツサ	2001	529	26,001
センチュリー	1967	471	38,711
Will VS	2001	255	14,945

資料:トヨタ自動車

- 注) 1. バンを含む。  
 2. カローラにはカローラスパシオ、カローラランクス、カローラフィールダーを含む。  
 3. ハイラックスの累計生産台数にはT100を含む。  
 4. カムリにはアルティスを含む。累計にはカムリグラシアも含む。  
 5. RAV4はEVを除く。  
 6. クラウンにはクラウンコンフォート、クラウンエステートを含む。  
 7. コンフォートには教習車を含む。  
 8. マークIIにはマークIIブリットを含む。

9. bBにはbBオープンデッキを含む。  
 10. アルテッツァにはアルテッツァジータを含む。  
 11. タウンエースの累計生産台数にはマスターエースを含む。  
 12. コースターの累計生産台数は1965年以降の台数。それ以前はダイナに含まれる。  
 13. 1986年以前の輸出用スープラはセリカを含む。  
 14. トヨエース・ダイナにはクイックデリバリー、アーバンサポーターを含む。  
 15. グランビアにはランドハイエース、ハイメディック、救急車を含む。  
 16. ハイエースにはレジアスを含む。

## ※海外生産台数(主なもの)

車名	生産開始年	2004年 生産台数	2004年 までの累計
カローラ	1979	891,202	6,918,537
カムリ	1987	594,892	5,936,636
ヤリス(ヴィッツ)	2001	203,881	584,705
シエナ	1997	189,382	863,925
コロナ/アベンシス	1979	177,591	1,910,608
ヴィオス	2002	156,410	310,276
タコマ	1995	143,410	1,505,753
タンドラ	1999	122,637	607,342
ハイラックス <sup>※1</sup>	1981	107,075	1,828,901
IMV	2004	87,902	87,902
TUV	1976	85,579	1,599,384
RX330(ハリアー)	2003	65,350	78,685
シクォリア	2000	62,039	292,566
アパロン	1994	38,027	834,063
クオリス	1999	36,864	142,423
ウィッシュ	2004	10,922	10,922
ハイエース	1989	9,717	116,174

- 注) 1. 海外生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。  
 2. カローラにはマトリックス、ヴォルツを含む。  
 3. カムリにはカムリソラーラを含む。  
 4. ※1 タイで生産のオーストラリア向けCKDは含まず。

## トヨタ車の車名別国内登録台数

車名	販売開始年	2004年 登録台数	2004年 までの累計
カローラ	1966	172,929	11,271,685
ウィッシュ	2003	126,545	285,215
クラウン	1955	116,625	4,795,204
イスト	2002	87,930	295,467
アルファード	2002	85,957	222,926
ノア	2001	75,826	265,563
パッソ	2004	68,984	68,984
シエンタ	2003	67,555	94,159
ヴェオクシー	2001	63,702	212,214
ヴェイツ	1999	60,790	692,603
プリウス	1997	59,767	140,239
エスティマ	1990	55,734	1,242,938
プロボックス	2002	50,980	147,413
bB	2000	42,753	282,448
ハイエース	1967	41,000	2,542,162
プレミオ	2001	38,423	139,088
ラウム	1997	37,845	242,697
アリオン	2001	35,673	131,887
ポルテ	2004	34,871	34,871
マークII	1968	28,781	4,805,981
ハリアー	1997	26,225	188,214
サクシード	2002	25,893	72,318
ファンカーゴ	1999	25,890	349,652
イブサム	1996	23,495	494,287
アイシス	2004	21,267	21,267
ダイナ	1956	19,679	1,123,552
ランドクルーザー	1951	18,972	622,971
アベンシス	2003	18,563	24,801
タウンエース	1976	18,391	2,094,681
カルディナ	1992	16,279	768,963
アレックス	2001	13,740	85,690
プラッツ	1999	13,354	173,098
マークX	2004	13,087	13,087

車名	販売開始年	2004年 登録台数	2004年 までの累計
トヨエース	1954	12,953	1,292,926
セルシオ	1989	12,660	352,724
レジアス	1997	12,073	168,030
RAV4	1994	12,025	342,197
ライトエース	1970	11,297	1,715,616
クルーガー	2000	11,127	59,763
コンフォート	1995	10,673	104,795
ハイラックス	1968	10,632	1,134,085
カムリ	1980	6,055	1,188,309
WILL サイファ	2002	5,719	30,265
アルテッツァ	1998	4,875	109,111
ガイア	1998	4,772	154,419
デュエット	1998	4,613	125,531
オーバ	2000	4,512	77,693
ウインダム	1991	3,541	226,379
プログレ	1998	3,362	72,818
プレビス	2001	3,239	29,612
アリスト	1991	2,293	143,921
コースター	1963	2,010	132,797
セリカ	1970	1,748	862,525
キャミ	1999	1,636	38,858
MR-S	1999	1,402	17,143
ヴェオルツ	2002	1,031	9,923
ヴェロツサ	2001	988	25,968
クイックデリバリー	1995	837	16,599
ソアラ	1981	696	342,816
センチュリー	1967	482	38,656
WILL VS	2001	372	14,940
ハイメディック	1997	281	1,888
ピスタ	1982	25	734,030
プロナード	2000	11	7,625
ナディア	1998	6	77,942

資料：トヨタ自動車

- 注) 1. バンを含む。  
 2. クラウンにはクラウンマジェスタ、クラウンコンフォート、クラウンエステートを含む。  
 3. マークIIにはマークIIプリット、マークII教習車を含む。  
 4. カムリの累計登録台数にはカムリグリアを含む。  
 5. アルテッツァにはアルテッツァジャーナを含む。  
 6. ピスタにはピスタアルデオを含む。  
 7. カローラにはカローラスパシオ、カローラランクス、カローラフィールダーを含む。

8. bBにはbBオープンデッキを含む。  
 9. コンフォートには教習車を含む。  
 10. ハイエースにはグラントハイエース、グランビア、ハイエース救急車を含む。  
 11. ダイナ、トヨエースにはアーバンサポーターを含む。  
 12. ランドクルーザーにはブラドを含む。  
 13. ハイラックスにはサーフを含む。  
 14. 大型バス、トヨタ教習車、通勤用を除く(但し、レジアスにはレジアスエース通勤用を含む)。

国内販売車両一覧(2005年2月現在)

車名	車名の由来	初代モデル発表時期	最終組立工場																
			トヨタ					T M U K	ボディメーカー										
			本社工場	元町工場	高岡工場	堤工場	田原工場		トヨタ車体	関東自動車工業	セントラル自動車	岐阜車体工業	ダイハツ工業	日野自動車	豊田自動織機	トヨタ自動車九州			
1	ランドクルーザー <sup>1)</sup>	Land(陸)とCruiser(巡洋艦)を合成した名前で、「陸の巡洋艦」という意味	1951.8	△				◎		◎									
2	ダイナ トヨエース	ダイナはDynamic(活力ある、機動力ある)の短縮、トヨエースはTOYOTAとAce(第一人者、最も優れた者、切り札)からの合成語	1956.5(ダイナ) 1954.9(トヨエース)							◎ (電装のみ)								◎	
3	クラウン <sup>2)</sup>	英語で「王冠」という意味	1955.1		◎			◎		◎									
4	コースター	「沿岸貿易船」「巡航船」という意味	1963.3							○									
5	カロラ <sup>3)</sup>	英語で「花の冠」という意味	1966.10			◎					◎	◎							
6	センチュリー	英語で「1世紀=100年」という意味	1967.9								○								
7	ハイエース (含レジアスエース)	High(高級な、より優れた)とAceの合成語	1967.10							◎			◎						
8	ハイラックス <sup>4)</sup>	High(高級な、より優れた)とLuxury(ぜいたくな、豪華な)の合成語	1968.3					◎										◎	
9	セリカ	スペイン語で「天の」「天空の」「神の」「天国のような」の意味	1970.10								○								
10	ライトエース	Light(軽い、軽快な)とAceの合成語	1970.10								○ (VN)							○ (TR)	
11	タウンエース	Town(町、都会)とAceの合成語	1976.10								○ (VN)							○ (TR)	
12	カムリ	カムリは日本語の「冠」をもとにつくった言葉	1980.1				○												
13	ソアラ	英語で「最上級ライダー」という意味	1981.2									○							
14	セルシオ	ラテン語で「至上、最高」という意味	1989.10					○											
15	エスティマT <sup>5)</sup> エスティマL	英語で「尊敬すべき」という意味のエスティマブル(estimable)からの造語	1990.5								○								
16	ウインダム	英語のwin(～に勝つ)とdom(～の状態)を合成。勝っている状態、常勝の意をこめた造語	1991.9									○							
17	ハイメディック	「高規格な医療設備を備えた車」という意味	1992.5											○					
18	カルディナ	イタリア語のCARDINALE(「中心的な、主要な」の意)からの造語	1992.11				○												
19	RAV4 L RAV4 J	Recreational Active Vehicle 4 wheel driveの略 LはLiberty、JはJoyfulの意味	1994.5					◎										◎	
20	コンフォート <sup>6)</sup>	「安らぎ、快適」という意味	1995.12									○							
21	イブサム	ラテン語 IPSUM「本来の」の意味	1996.5									○							
22	レジアス	ラテン語で「華麗な」「すばらしい」の意味	1997.4									○							
23	ラウム	英語の「ROOM」に相当するドイツ語	1997.5										○						
24	プリウス	ラテン語で「～に先立って」の意味	1997.10				◎				◎								
25	ハリアー	英語で「小さな鷹の一種“チュウヒ”」の意味	1997.12																○
26	プログレ	フランス語で「進歩」「進取」の意味	1998.5		○														
27	アルテッツァ <sup>7)</sup>	イタリア語で「高貴」の意味	1998.10									○							
28	ヴェイツ	ドイツ語のWITZ(「才気、機知」の意)からの造語	1999.1			◎													◎
29	キャミ	Casual(カジュアル)とMini(小型車)からの造語	1999.5															○ (OEM)	
30	ファンカーゴ	英語のFun(楽しい)とCargo(積荷)からの造語	1999.8			○													

注) 1) ランドクルーザーブレードを含む。 2) クラウンコンフォート、エステートを含む。 3) カローラスパシオ、カローラランクス、カローラフィールダーを含む。 4) ハイラックスサーフを含む。

(注) ◎：併産 ○：単独 △：シャシーのみ生産

車名	車名の由来	初代モデル 発表時期	最終組立工場																
			トヨタ					T M U K	ボディーメーカー										
			本社 工場	元町 工場	高岡 工場	堤工 場	田原 工場		トヨタ 車体	関東 自動車 工業	セント ラル自 動車	岐阜 車体工 業	ダイハ ツ工業	日野自 動車	豊田自 動織機	トヨタ 自動車 九州			
31	プラッツ	ドイツ語で「広場」の意味	1999. 8		○														
32	MR-S	Midship Runabout-Sportsの頭文字	1999.10									○							
33	bB	未知の可能性を秘めた箱、「ブラックボックス」のイニシャル	2000. 2		◎							◎							
34	オーバ	ポルトガル語で驚きを表わす感嘆詞	2000. 5				○												
35	クルーガーV クルーガーL	ドイツ語KLÜGER(賢い、聡明な)の意。Vは英語のVICTORY(勝利)、LはLIBERTY(自由)の頭文字	2000.11																○
36	アレックス	フランス語のALLEZ(行く)とXをくみあわせ、「いろいろな場所に行く」という意味を持たせた造語	2001. 1			◎						◎							
37	ブレビス	英語のbrave(勇敢な)に由来する造語	2001. 6		○														
38	ヴォクシー	英語のVOX(言葉・声)からの造語	2001.11									○							
39	ノア	優しい語感の人名(英語)から命名	2001.11									○							
40	プレミオ	英語の「PREMIER(第1位の)」からの造語	2001.12				○												
41	アリオン	英語の「ALL IN ONE(すべてをひとつに)」からの造語	2001.12				○												
42	イスト	stylist、artistなど、～の演出家、作家といった「～をする人」を表す接尾語	2002. 5			○													
43	アルファードG <sup>8)</sup> アルファードV	星座の中で最も明るい星を意味するギリシア語のα(alpha)に由来する造語	2002. 5									○							
44	プロボックス	英語の「professional(プロの)」と「box(箱)」を合わせた造語	2002. 7																○
45	サクシード	英語で「成功する」の意味	2002. 7																○
46	WILL サイファ	「サイファ」は英語の「cyber(サイバー)」と「phaeton(馬車)」からの造語	2002.10										○						
47	ウィッシュ	英語で「希望」、「願い」の意味	2003. 1				○												
48	シエンタ	スペイン語の「siete(7)」と英語の「entertain(楽しませる)」からの造語	2003. 9			○													
49	アベンシス <sup>9)</sup>	フランス語で「前に進む」という意味のAvancerからの造語	2003.10									○							
50	パッソ	イタリア語で「ステップ、足音」の意味	2004. 6																○
51	ポルテ	フランス語で「扉、ドア」の意味	2004. 7			○													
52	アイシス	英語で「古代エジプト豊穡の神」の意味	2004. 9										○						
53	マーク X	Mark(目標、成功)とX(次世代の)の造語	2004.11		◎								◎						

5) エスティマハイブリッドを含む。 6) 教習車を含む。 7) アルテッツァジャータを含む。 8) アルファードハイブリッドを含む。 9) アベンシスワゴンを含む。

生産・販売・輸出  
国内販売車両一覧

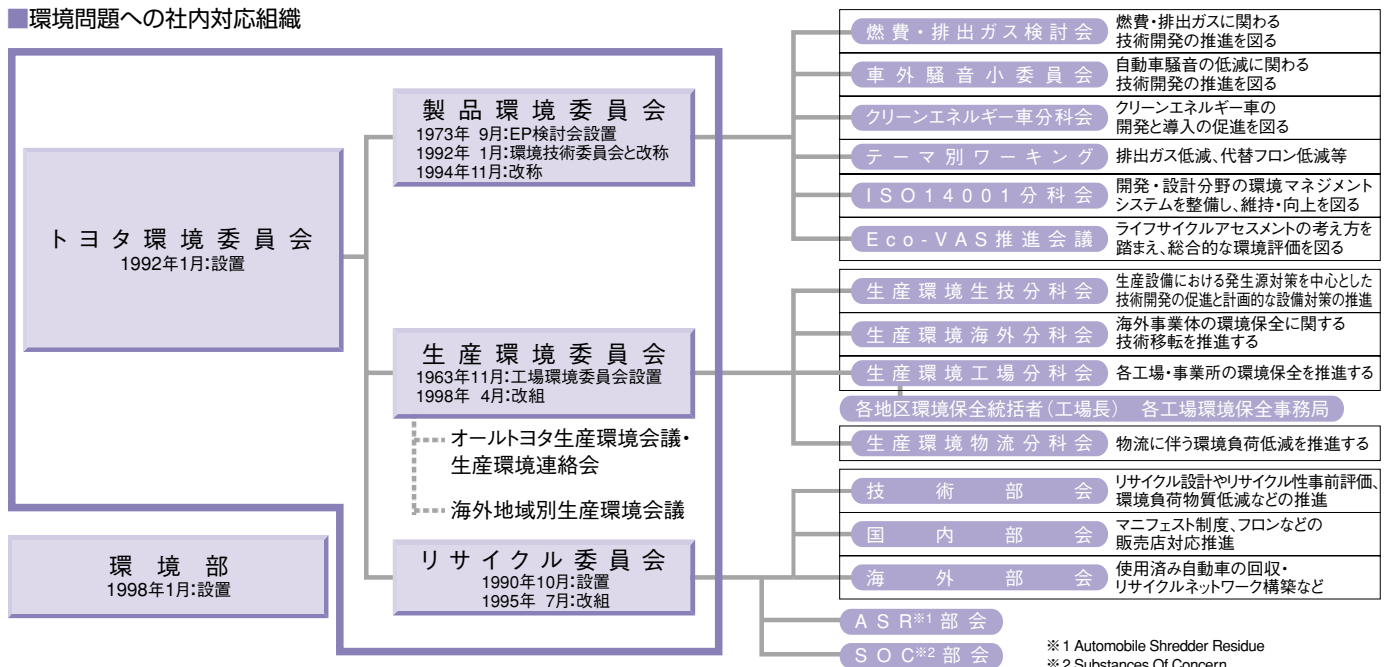
トヨタは1992年1月に「地球環境に関するトヨタの取り組み方針（通称：トヨタ地球環境憲章）」を制定し、1993年2月にはこれをより具体的に企業活動へ反映させるため「トヨタ環境取り組みプラン」を策定しました。2001年より2005年度目標を定めた第3次取り組みプランに基づく活動を開始し、目標達成に向け取り組みを進めています。

■「トヨタ地球環境憲章」と「トヨタ環境取り組みプラン」

トヨタ地球環境憲章（通称）		トヨタ環境取り組みプラン（第3次：2001年～2005年）			
基本方針	行動指針	項目	具体的な実施事項・目標等（抜粋）		
	豊かな21世紀社会への貢献	1.すべての段階でゼロエミッションに挑戦	①燃費の向上	・国内新燃費基準の早期達成	
②排出ガスの低減			・ガソリン車の一層の低エミッション化 ・クリーンディーゼル車の開発、導入		
③クリーンエネルギー車の開発			・普及拡大に向けたハイブリッドシステムの一層のレベルアップと搭載車種の拡充 ・燃料電池車（FCHV）の開発と早期導入		
(1) トップレベルの環境性能を有する製品の開発・提供			④リサイクル性の向上	・2015年リサイクル実効率95%に対応するリサイクル設計を2005年までに車両へ織り込み	
			⑤環境負荷物質含有量の管理・低減	・水銀、カドミウム、砒素の使用廃止と鉛、六価クロムの使用低減	
			⑥車の騒音の低減	・燃費向上、排ガス低減との両立をはかった騒音低減技術の開発	
環境技術の追求			(2) 排出物を出さない生産活動の追求	⑦エアコンの温暖化対応	・CO <sub>2</sub> 冷媒エアコンの開発等
				⑧温暖化防止対策の推進	・2005年度末までにCO <sub>2</sub> 排出量を155万t以下（注1）
				⑨環境負荷物質の管理・低減	・VOC（塗装溶剤排出量）を2005年度末までに全ライン平均35g/m <sup>2</sup> 以下 ・PRTR*対象物質を2005年度末までに2,000t以下（注2）
				⑩廃棄物低減と省資源	・2003年度末までに全工場で埋立廃棄物ゼロ ・焼却廃棄物を2005年度末までに1万1,500t以下（注1）
				⑪水資源の節約	・車両工場の水使用量を2005年度末までに台あたり原単位を1995年度比20%減
				⑫物流合理化の推進	・輸送効率の向上によりCO <sub>2</sub> 総排出量を1990年度以下に安定
	(3) 未然防止の徹底	⑬総合的な事前評価体制の整備		・生産・使用・廃棄の各段階での環境負荷物質管理基準、低減目標への製品別適合状況フォロー体制の充実	
		(4) 環境改善に寄与する事業の推進		⑭環境関連事業の推進	・環境改善に寄与する各種ITSの開発と普及推進 ・植林事業の着実な推進
	自主的な取り組み			2.関係会社との協力	⑮仕入先との活動充実
		⑯販売店との活動充実			・環境マネジメントシステムの整備、及びトヨタ販売店環境基準目標達成の促進・支援
3.社会的取り組み		(1) 循環型社会づくりへの参画	⑰リサイクルシステムの整備	・95%リサイクル処理技術の実証と提案 ・政府、自治体、関連業界との連携による、製造から廃車処理までの自動車リサイクルシステム構築への参画	
			⑱環境基礎研究の充実と提言	・自動車排出ガスの沿道環境への影響実態調査、及び生体影響調査・研究の推進	
		(2) 環境政策への協力	⑱環境基礎研究の充実と提言	・渋滞対策等環境改善に関する道路交通政策の研究と提言	
(3) 事業活動以外でも貢献		⑳社会貢献活動の推進	・里山資源の新たな活用研究・試行、及び市民活動と連携した森づくり、環境教育の実施		
		4.情報開示	㉑広報活動の展開	・環境報告書の充実と継続発行	
㉒従業員への教育・啓発活動			・全社員教育の体系的実施と充実		
㉓総合的な環境マネジメントの推進			・連結環境マネジメント体制の整備と推進		
社会との連携・協力		<取り組み体制>	㉑広報活動の展開	・環境報告書の充実と継続発行	
	㉒従業員への教育・啓発活動		・全社員教育の体系的実施と充実		

(注1) 目標を達成したためチャレンジ目標設定 (注2) 目標達成の目処付けができたためチャレンジ目標設定 ※環境汚染物質排出・移動登録

■環境問題への社内対応組織



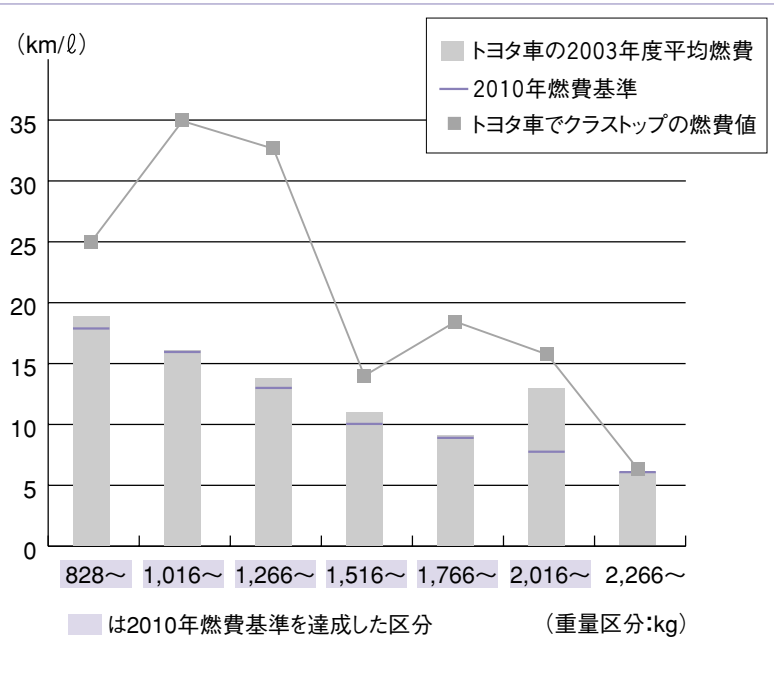
\*1 Automobile Shredder Residue  
\*2 Substances Of Concern

持続可能なモビリティ社会を実現するため、自動車は燃費向上と排出ガス低減に最大限に取り組むことが重要です。トヨタでは、新世代エンジンや新しい排出ガス低減システムの開発・導入などにより、2010年燃費基準の早期達成と超一低排出ガスレベル達成車の拡大を進めています。

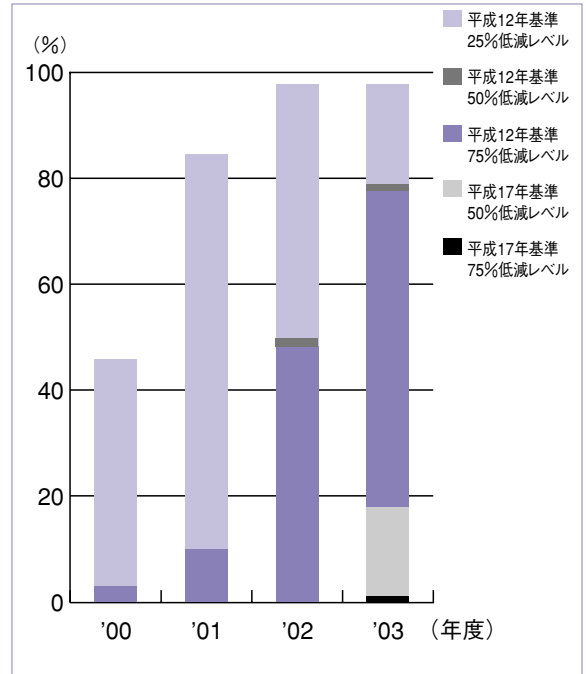
2003年度には、重量クラス別7区分のうち6区分の平均燃費で2010年燃費基準を上回り、総生産台数の83%を達成しました。また、同基準をクリアし、かつ超一低排出ガスレベル以上を達成した、グリーン購入法※における政府公用車基準を満たす生産台数の比率は68%に拡大しました。

※「国等による環境物品等の調達等に関する法律」で、環境配慮製品の普及促進を図るため、国などの公的機関が積極的にグリーン購入することを制定。

■ 2003年度のトヨタ車の燃費実績と2010年燃費基準

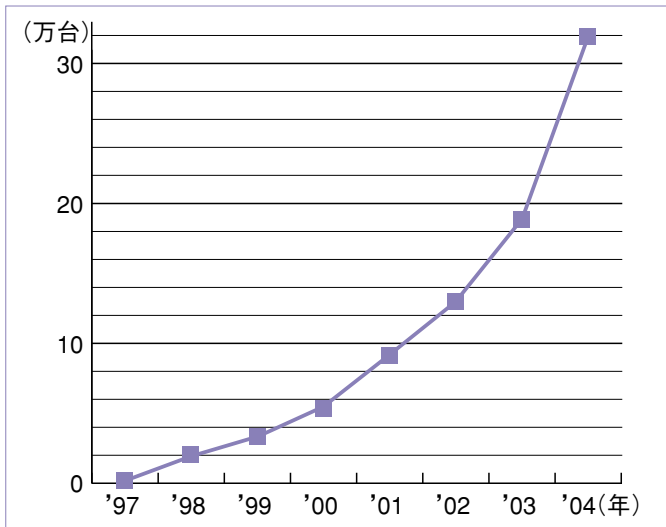


■ 低排出ガス車の生産台数比率の推移



1997年に世界初の量産ハイブリッド車プリウスを発売して以来、エスティマハイブリッド、クラウンマイルドハイブリッドなどを国内市場に導入し、2004年末でハイブリッド車の累計販売台数は国内外合わせ31万台を突破しました。また、2002年12月に燃料電池ハイブリッド車「トヨタFCHV」の限定発売を開始してから、2003年度末までに、日米で16台の車両を販売しました。さらに、2003年8月には東京都にFCバス1台を納め、国内で初めて実用運行を開始しました。

■ ハイブリッド車の累計販売台数(全世界)



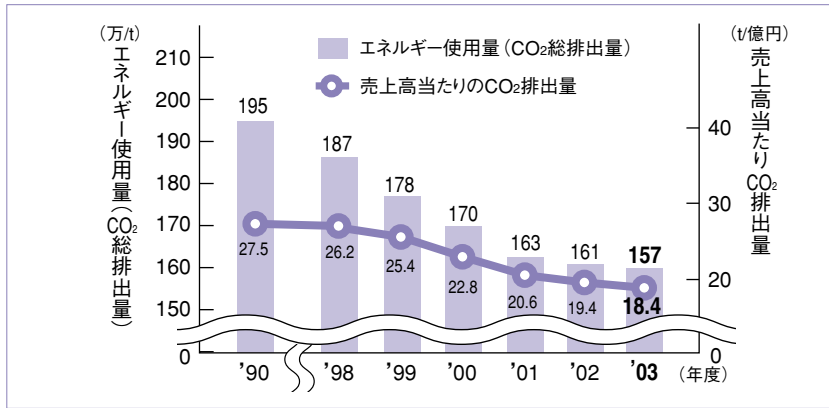
■ 燃料電池ハイブリッド車「トヨタ FCHV」



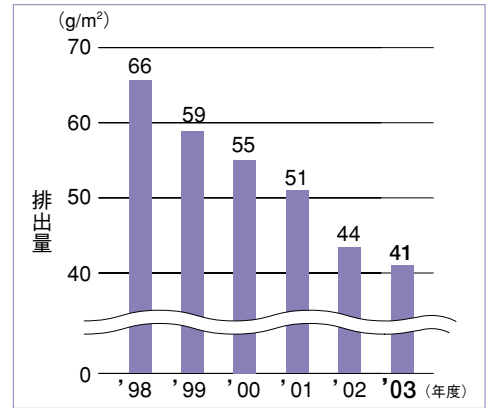
燃費・排出ガス対策とクリーンエネルギー車の開発

「トヨタ生産システムの追求」と「ゼロエミッションへの挑戦」をリンクして進め、徹底したムダ排除による環境負荷の低減を目指すことが生産工程における環境取り組みの基本的考えです。この考えを基に2005年を目標とした低減シナリオに従い活動した結果、2003年度の自動車生産工程におけるCO<sub>2</sub>排出量は、前年度比2%減、売上高当たりでは5%低減しました。またVOC（揮発性有機化合物）についても、水溶性塗料を用いた新型塗装システムの採用、揮発性成分の少ないシンナーの採用拡大等により全ライン平均で前年度比7%の低減を実現しました。

■自動車生産工程におけるエネルギー使用量と売上高当たりのCO<sub>2</sub>排出量の推移

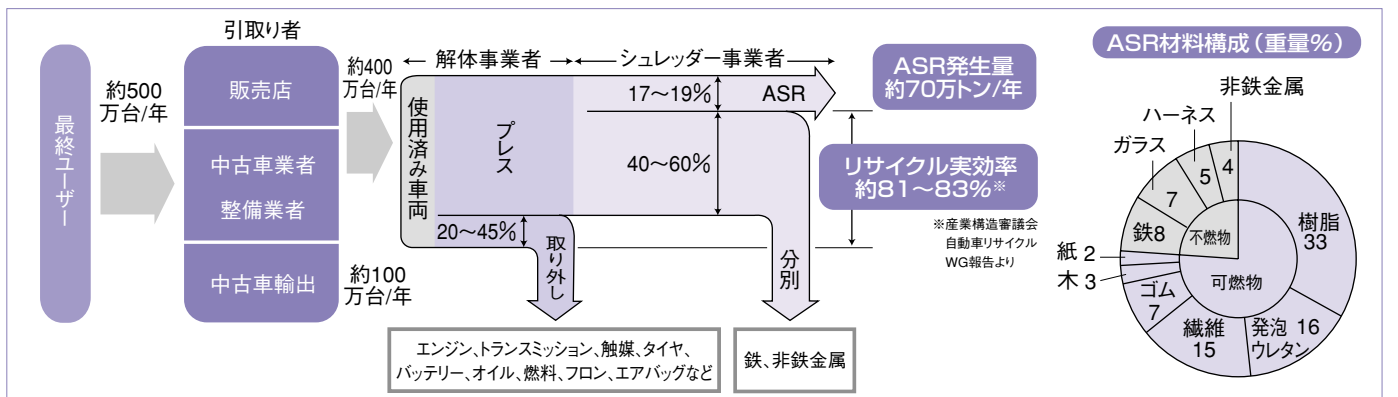


■VOC排出量(全ライン平均)の推移



自動車のリサイクルは一企業だけで完結できるものではなく、トヨタでは1970年より関連企業と連携してリサイクルへの取り組みを進めてきました。使用済み自動車リサイクルへの取り組みは1970年シュレッター会社の豊田メタル(株)を設立し鉄やアルミニウムなどの効率的なリサイクル技術開発を開始しました。1993年からはそれまでリサイクルが困難とされていたシュレッターダストのリサイクルに取り組み、1998年には世界初の本格的な量産プラントを建設し、自動車部品などへの再利用を実践してきました。また、2002年からはサーマルリサイクル技術の実証に取り組み、幅広くリサイクル技術の蓄積を進めました。2003年にはトヨタリサイクルビジョンを公表するとともに、取り外し性を画期的に向上させた新たなリサイクル設計を開発し、新型プリウスなどへの採用を積極的に進めています。

■使用済み自動車の処理ルート(日本)



資料：トヨタ自動車

■シュレッターダストリサイクルへの取り組み



本格的リサイクルプラント (愛知県半田市)



サーマル実証プラント (愛知県半田市)

■新たなリサイクル設計を採用した新型プリウス

取り外し性に配慮した画期的なリサイクル設計や植物を原料としたトヨタエコプラスチックを採用。

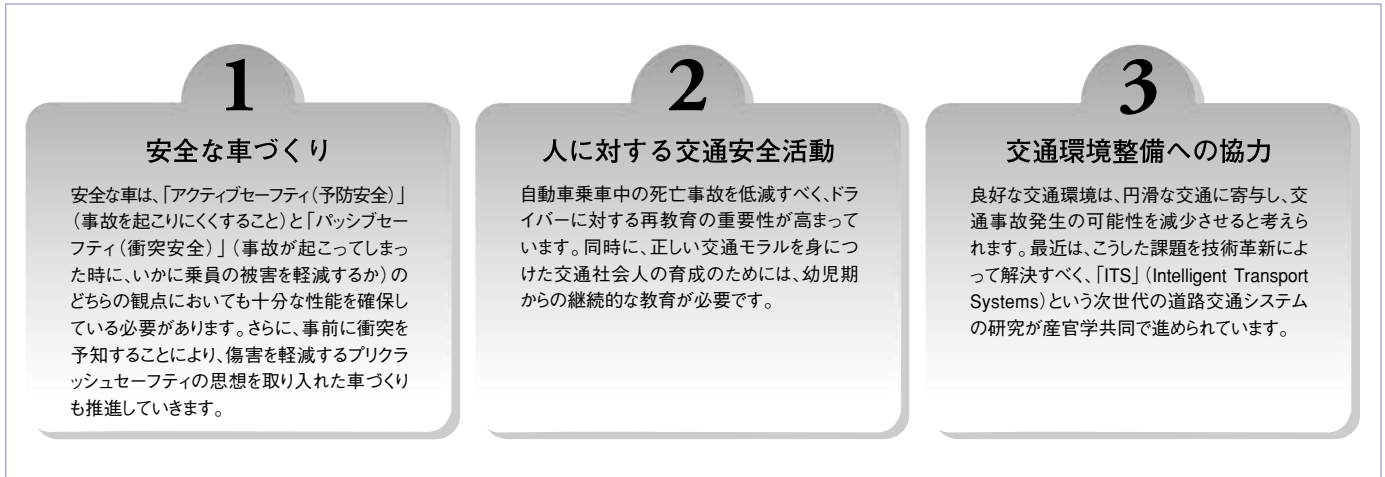


自動車生産工程の環境取り組みとリサイクルの取り組み

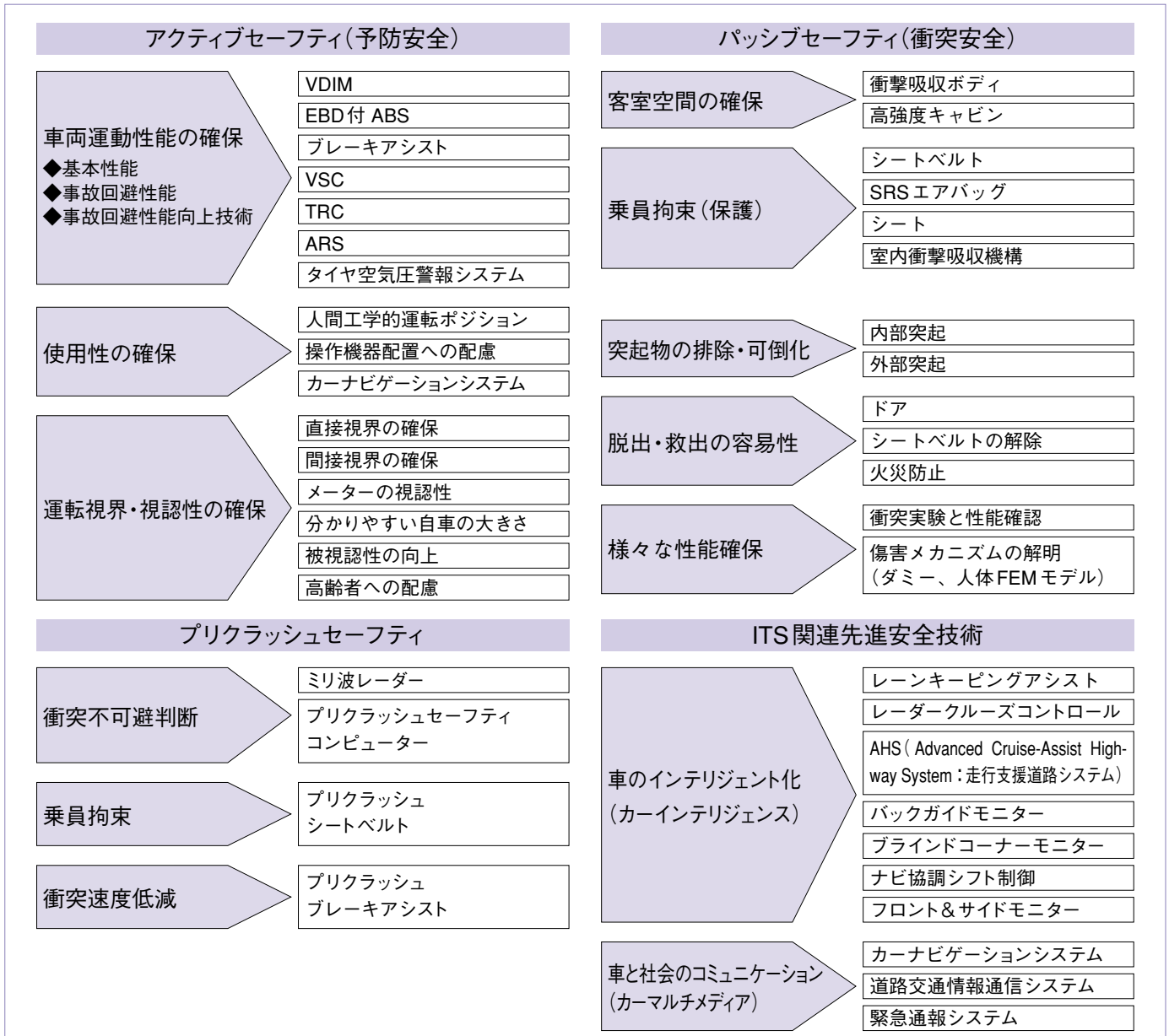


交通安全の実現のためには、車の安全性のみならず、それを利用する人々や、交通環境についても考慮する必要があります。これらのことを踏まえ、トヨタは総合的な視点で、積極的な取り組みを続けています。

交通安全に取り組む際の3つの視点

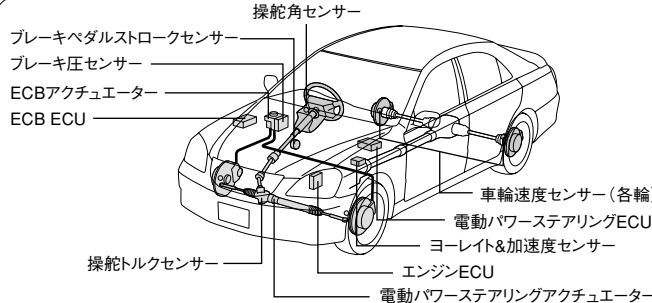


安全な車づくりの具体的な取り組み



アクティブセーフティの基本は、車の本来の機能(安全の重要度からいえば「止まる」「曲がる」「走る」)がドライバーの意図通りに発揮できることです。トヨタは、最新の技術を駆使して常にこの3性能の向上に努めています。また内外から多くの事故データを入手し、コンピューターによる衝突シミュレーション、年間1,000台を超える実車衝突実験を繰り返しながら、安全なボディ構造の追及、乗員保護装置の開発などを実施し、人の傷害をできるだけ少なくする車づくりを推進しています。

■アクティブセーフティ関連技術の例：VDIM (Vehicle Dynamics Integrated Management)




ブレーキペダルストロークセンサー  
ブレーキ圧センサー  
ECBアクチュエーター  
ECB ECU  
操舵角センサー  
車輪速度センサー(各輪)  
電動パワーステアリングECU  
ヨーレイト&加速度センサー  
エンジンECU  
操舵トルクセンサー  
電動パワーステアリングアクチュエーター

VDIMは、アクセル、ステアリング、ブレーキの操作量から求めたドライバーのイメージする車両挙動と、各種センサーから求めた情報による車両挙動とのギャップを算出。そのギャップを埋めるように、ABS<sup>※1</sup>、TRC<sup>※2</sup>、VSC<sup>※3</sup>、電動パワーステアリングなどを統合・マネジメントし、車両限界前から車両の前後左右方向の運動状態をシームレスに制御することにより高い予防安全性を実現する世界最先端の技術です。

※1 ABS : Anti-lock Brake System  
※2 TRC : Traction Control  
※3 VSC : Vehicle Stability Control

■パッシブセーフティ関連技術の例：「GOA」ボディ (GOA: Global Outstanding Assessment 世界トップレベルの安全性能)

カーツーカー前面衝突試験



GOAは、「衝撃吸収ボディ」と「高強度キャビン」があいまって乗員の生存空間を確保し、同一排気量クラスで世界トップレベルの乗員保護性能を追求した衝突安全ボディです。このGOAは1995年12月、当時トヨタのラインアップでは最も小さなスターレットから採用を開始し、現在までにほぼ全ての乗用車(含むSUV)に展開を済ませました。そして、クラス世界トップレベルを維持するために試験条件・性能目標を常に進化させています。現在は、車対車の衝突速度を50km/hに設定した、車両全方位のカーツーカー衝突試験に対応したボディを展開しています。

■主要安全装備の充実 (2005年3月現在、SUVを含む乗用車系)

アクティブセーフティ	事故回避性能向上	EBD付ABS	ABSは全車標準装備完了。 センチュリー、セルシオ、プレビス、プログレ、ウィンダム、ソアラ、マークX、カムリ、オーバ、プレミオ、アリオン、プリウス、セリカ、カローラ、アレックス、bB、プラッツ、ファンカーゴ、ヴィッツ、エスティマT,L、エスティマハイブリッド、アイシス、マークIIブリット、パッソ、ポルテ、イプサム、ヴォクシー、ノア、クルーガー-L,V、RAV4L,J、キャミ、カルディナ、ウィッシュ、ハリアー、イスト、ハイラックスサーフ、ラウム、アルファード、アルファードハイブリッド、シエンタ、アベンシス、プロボックス、サクシードの全車、及びクラウン、アルテッツァ、ランドクルーザーに装着車を設定(順次装着車を拡大)。
		ブレーキアシスト	センチュリー、セルシオ、クラウン、プレビス、プログレ、ウィンダム、ソアラ、マークX、カムリ、オーバ、プレミオ、アリオン、プリウス、セリカ、カローラ、アレックス、ラウム、bB、プラッツ、ファンカーゴ、ヴィッツ、エスティマT,L、エスティマハイブリッド、アイシス、マークIIブリット、パッソ、ポルテ、イプサム、ヴォクシー、ノア、クルーガー-L,V、RAV4L,J、カルディナ、ウィッシュ、ハリアー、イスト、ハイラックスサーフ、ハイエース、ラウム、アルファード、アルファードハイブリッド、シエンタ、アベンシス、プロボックス、サクシードの全車、及びアルテッツァ、ランドクルーザーに装着車を設定(順次装着車を拡大)。
		VSC	センチュリー、セルシオ、プレビス、プログレ、ソアラ、エスティマハイブリッド、アルファードハイブリッドの全車、及びクラウン、ウィンダム、マークX、アルテッツァ、カルディナ、カローラ、ハイエース、エスティマT,L、イプサム、ヴォクシー、ノア、ランドクルーザー、ハリアー、クルーガー-L,V、ラウム、アベンシス、ヴィッツ、bB、ファンカーゴ、イスト、アイシス、マークIIブリットに装着車を設定(順次装着車を拡大)。
		VDIM	ハリアーハイブリッド、クルーガーハイブリッドの全車、クラウンに装着車を設定(順次装着車を拡大)。
プリクラッシュセーフティ	衝突被害軽減	プリクラッシュセーフティシステム	セルシオ、クラウン、ハリアーに装着車を設定。
パッシブセーフティ	乗員拘束(保護)	客室空間	GOA 新型車に順次採用し、ほぼ全ての乗用車(含むSUV)に拡大。
		プリテンショナー&フォースリミッター付シートベルト	新型車に順次採用し、ほぼ全ての乗用車(含むSUV)に拡大。
		デュアルステージSRSエアバッグ	セルシオ、クラウン(アスリート、ロイヤル、マジェスタ)、ウィンダム、ソアラ(助手席)、カムリ、アベンシス、ハリアー、ハリアーハイブリッド、ランドクルーザー、プリウス、マークXに全車標準装備。
		SRSサイドエアバッグ	センチュリー(前後席)、セルシオ、プログレ、ウィンダム、ソアラ、アベンシスに全車標準装備。クラウン、プレビス、マークX、カムリ、アルテッツァ、セリカ、イプサム、ヴォクシー、ノア、ハリアー、クルーガー-L,V、ウィッシュ、アルファード、アルファードハイブリッド、プリウス、シエンタ、アイシス、パッソ、マークIIブリット、ヴィッツに装着車を設定(順次装着車を拡大)。
		SRSカーテンシールドエアバッグ	センチュリー(前後席)、セルシオ、ウィンダムに全車標準装備。 クラウン、プレビス、プログレ、マークX、カムリ、アルテッツァ、イプサム、ヴォクシー、ノア、ウィッシュ、アルファード、アルファードハイブリッド、プリウス、アイシス、パッソ、マークIIブリット、ヴィッツに装着車を設定(順次装着車を拡大)。

トヨタでは1969年に開始した「トヨタ交通安全キャンペーン」を中心に、シートベルト・チャイルドシートの着用啓発や実技講習会の実施など、「人」に対する幅広い交通安全活動を展開しています。

#### ■トヨタ交通安全キャンペーン

全国交通安全運動の期間に連動して、毎年春・秋に展開しています。

全国の車両販売店、L&F店、部品共販店、レンタリース店の447社と共同で行うこのキャンペーンは、各地域に根ざした活動として35年間継続されています。

##### ①幼児安全啓発活動

1969年の交通安全キャンペーン開始当初から、毎年、全国の幼稚園・保育所の新入園児を中心に交通安全絵本を贈呈。2004年度までに累計で約1億800万部を配布しています。

2004年度は、絵本262万部と紙芝居4万4千部を贈呈しました。これらの中で、道路への急な飛び出しの危険性、道路の正しい歩き方・渡り方に加え、保護者向けにチャイルドシートの正しい使い方等を解説しています。



##### ②シートベルト・チャイルドシート着用啓発活動

シートベルトの着用を安全の第一歩と考え、長年シートベルトの着用啓発に取り組んで来ました。1983年からは、啓発リーフレットの制作・配布に取り組み、近年ではシートベルト・チャイルドシートの正しい使い方やエアバックとの関わりなどへの理解を呼び掛けています。



#### ■トヨタ・ドライバーコミュニケーション

1987年に開始した安全運転実技講習会で、2004年度までに累計約8,900人が受講しています。この講習会は、車の限界挙動の体験やABS等の安全装備の効果と正しい使い方の習得を通じ、安全運転のレベルアップを図るプログラムです。

2004年度は、東京臨海副都心のメガウェブにおいて、約500人が受講しました。

2005年4月には、講習会を定常的に開催する「トヨタ交通安全センターモビリティ」を富士スピードウェイ内にオープン。これまでの講習会をさらに発展させ、個人向け、企業・団体向けに受講者のニーズに応じた幅広いメニューを開発、提供しています。



#### ■トヨタ・チャイルドセーフティコミュニケーション

チャイルドシートの必要性や正しい取り付け方について学ぶ体験型講習会です。

2000年より「子供の安全ネットワーク・ジャパン※」との連携等により、全国の産院・小児科などで、妊産婦・保護者を対象に開催。2004年度までに累計1,500人が受講しています。

また、この活動は内閣府より、チャイルドシート利用推進のためのモデル事業に選定(2000年度)されました。

※1997年より全国の産婦人科医・小児科医を中心に小児の事故防護啓発活動を進める団体。



#### ■「トヨタセーフティスクール」

地域交通安全活動の一環として愛知県内の子供たちを本社に招き、社員自ら実地指導する交通安全教室で、1969年より小学生向けの「トヨタサマースクール」を、また、1975年より幼児向けの「トヨタセーフティスクール」を毎年開催しています。

「トヨタセーフティスクール」は、2004年度、30周年を迎え、約6,000人が参加、累計約20万人を超えています。



トヨタはクルマ自体の魅力と、クルマを利用することのうれしさを高める「クルマの高機能化」と、人・モノの移動の円滑化・効率化や安全な交通環境を総合的に実現していく「交通システムの高度化」に幅広く取り組んでいます。

トヨタのITSへの取り組み



クルマの高機能化

情報サービス機能

カーナビゲーション

駐車場で走行中の階の詳細情報を表示する駐車場マップ表示機能等、カーナビの高度化を進めています。さらにこれからのカーナビは、カーライフに役立つ多様な情報をドライバーに提供する重要な機能を担っていきます。



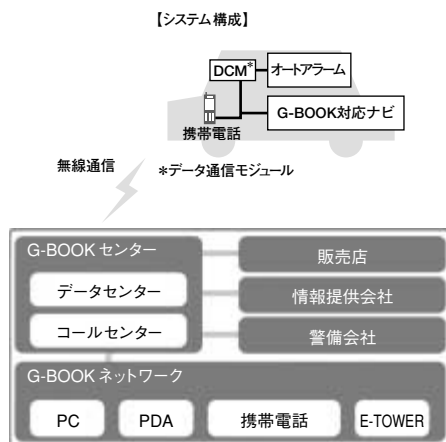
駐車場マップ表示



VICS情報の表示

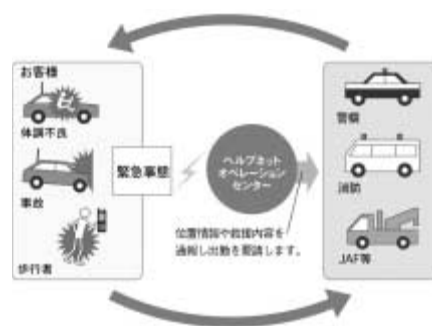
G-BOOK

ドライブに役立つ情報提供をはじめ、車両の異常を検知するセキュリティサービスなど、ネットワークを通じてカーライフをサポートする、新しい情報ネットワークサービスです。



緊急通報サービス (ヘルプネット)

交通事故や急病発生時に、自動またはボタン操作で(株)日本緊急通報サービスが運営するヘルプネットオペレーションセンターを通じ、自車の位置や車両の情報等を迅速に110番/119番等に伝達するシステムです。

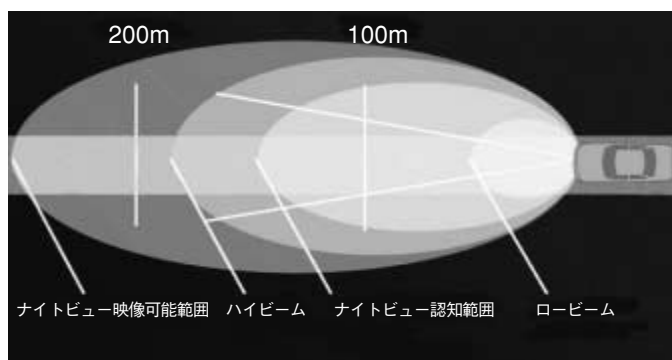


### ナイトビュー

夜間走行時のドライバーの視覚をサポートするシステムです。ヘッドランプの照射範囲内外の見えにくい歩行者や道路状況などをよりクリアに表示し、広範囲の視界が得られます。

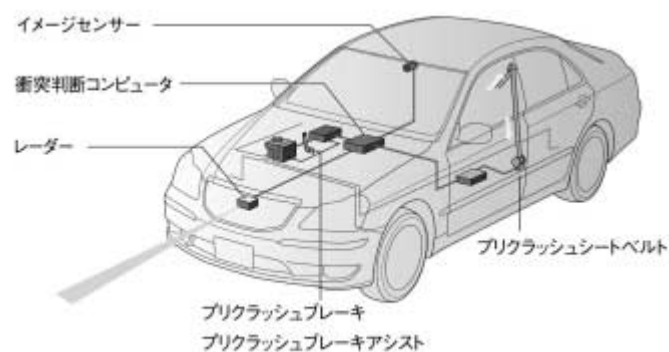


ナイトビュー映像



### プリクラッシュセーフティ

衝突が避けられない状況を事前に判断し、安全装備を早期に作動させることにより、衝突の被害を軽減するシステムです。



### ETC (Electronic Toll Collection System)

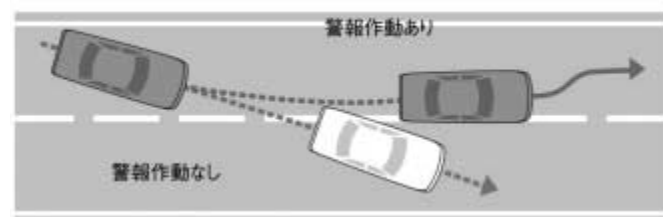
有料道路の料金所を通過する際、ゲートと車載器の間で通信を行い、ETCカードで自動的に料金決済を行い、一旦停止の必要をなくしたシステムです。料金所付近の交通渋滞が緩和され、排出ガス低減や省燃費の効果も期待されます。



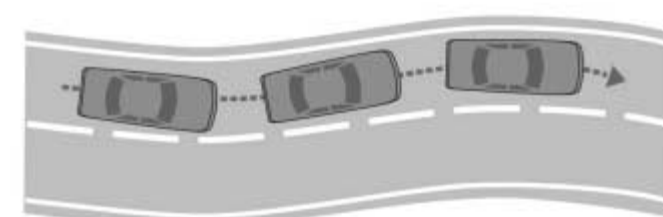
### レーンキープアシスト

高速道路を走行中に、カメラで前方道路の白線を認識し、電動パワーステアリングを制御することで、車線に沿った走行をしやすくようにドライバーのステアリング操作を支援します。

#### ●車線逸脱警報機能



#### ●車線維持支援機能



注) レーンキープアシストは、車線内自動走行を実現したものではありません。ドライバー自らがステアリング操作を行うことが必要です。

### インテリジェントパーキングアシスト

車庫入れや縦列駐車において車両が操舵操作を行う後退駐車支援システムです。



### IMTS (Intelligent Multimode Transit System)

専用道路を隊列を組んで無人で自動走行し、一般道では手動単独で運転できる、鉄道とバスの長所を結合させた新しい公共交通システムです。2005年日本国際博覧会「愛・地球博」では場内の移動手段として運行されています。



愛・地球博用IMTS隊列走行イメージ

# ウェルキャブ

トヨタは「すべての方に快適な移動の自由をご提供する」ことを目指し、自立や介護をサポートする車両の開発・普及に積極的に取り組んでいます。

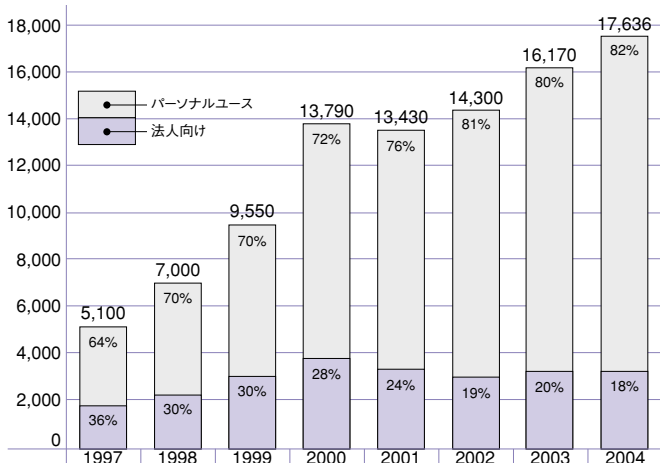
## ラインアップ(43車種93タイプ)

フレンドマチック車/ フレンドマチック 取付用専用車	プリウス <sup>ⓧ</sup> <sup>Ⓣ</sup> プレミオ <sup>Ⓣ</sup> アリオン <sup>ⓧ</sup> カルディナ <sup>ⓧ</sup> <sup>Ⓣ</sup> カローラ スパシオ <sup>Ⓣ</sup> カローラ <sup>Ⓣ</sup>	カローラ フィールダー <sup>Ⓣ</sup> ラウム <sup>ⓧ</sup> イスト <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup> bB <sup>ⓧ</sup> プラッツ <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup> ファンカーゴ <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup>	ヴィッツ <sup>ⓧ</sup> エスティマT <sup>ⓧ</sup> /L <sup>Ⓣ</sup> イブサム <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup> ウィッシュ <sup>ⓧ</sup> シエンタ <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup> ポルテ <sup>ⓧ</sup> <sup>Ⓣ</sup>	
助手席回転 スライドシート車	プリウス <sup>ⓧ</sup> <sup>Ⓣ</sup> オーバ <sup>Ⓣ</sup> プレミオ <sup>Ⓣ</sup> アリオン <sup>ⓧ</sup> カローラ <sup>Ⓣ</sup>	カローラ スパシオ <sup>Ⓣ</sup> カローラ フィールダー <sup>Ⓣ</sup> bB <sup>ⓧ</sup> イスト <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup> ファンカーゴ <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup>	プラッツ <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup> ヴィッツ <sup>ⓧ</sup> ウィッシュ <sup>ⓧ</sup> シエンタ <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup> ラウム <sup>ⓧ</sup>	
全自動助手席回転 スライドシート車	プログレ <sup>Ⓣ</sup> クラウン ロイヤル <sup>ⓧ</sup> クラウン エステート <sup>ⓧ</sup>	プレビス <sup>ⓧ</sup>		
後席回転スライドシート車	ラウム <sup>ⓧ</sup>			
サイドアクセス車	ポルテ <sup>ⓧ</sup> <sup>Ⓣ</sup>			
助手席リフト アップシート車	オーバ <sup>Ⓣ</sup> カローラ スパシオ <sup>Ⓣ</sup> ラウム <sup>ⓧ</sup> イスト <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup> bB <sup>ⓧ</sup> ファンカーゴ <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup> プラッツ <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup>	ヴィッツ <sup>ⓧ</sup> アルファードG <sup>Ⓣ</sup> /V <sup>ⓧ</sup> エスティマT <sup>ⓧ</sup> /L <sup>Ⓣ</sup> エスティマハイブリッド <sup>ⓧ</sup> <sup>Ⓣ</sup> イブサム <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup> ウィッシュ <sup>ⓧ</sup> ヴォクシー <sup>ⓧ</sup>	ノア <sup>Ⓣ</sup> クルーガーL <sup>Ⓣ</sup> /V <sup>ⓧ</sup> RAV4 L <sup>Ⓣ</sup> /J <sup>ⓧ</sup> シエンタ <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup> アイシス <sup>ⓧ</sup> ポルテ <sup>ⓧ</sup> <sup>Ⓣ</sup> パッソ <sup>Ⓣ</sup>	
サイドリフト アップシート車	アルファードG <sup>Ⓣ</sup> /V <sup>ⓧ</sup> エスティマT <sup>ⓧ</sup> /L <sup>Ⓣ</sup> エスティマハイブリッド <sup>ⓧ</sup> <sup>Ⓣ</sup> ヴォクシー <sup>ⓧ</sup>	アルファードハイブリッド <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup> ノア <sup>Ⓣ</sup> アイシス <sup>ⓧ</sup>		
車いす仕様車	ファンカーゴ <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup> アルファードG <sup>Ⓣ</sup> /V <sup>ⓧ</sup> ハイエース <sup>Ⓣ</sup> レジアスエース <sup>ⓧ</sup>	エスティマT <sup>ⓧ</sup> /L <sup>Ⓣ</sup> ヴォクシー <sup>ⓧ</sup> ノア <sup>Ⓣ</sup> タウンエースバン <sup>Ⓣ</sup>	ライトエースバン <sup>ⓧ</sup> コースター <sup>ⓧ</sup> シエンタ <sup>Ⓣ</sup> <sup>ⓧ</sup>	
後席回転シート仕様	クラウン コンフォート <sup>ⓧ</sup> コンフォート <sup>Ⓣ</sup>			

注)2005年3月末現在 取り扱い店 ①:トヨタ店 ②:トヨペット店 ③:カローラ店 ④:ネット店 (一部地区で取り扱いが異なる場合がある)

## ウェルキャブ販売台数の推移

(単位:台)



## ウェルキャブ総合展示場「トヨタハートフルプラザ」来場者数

「トヨタハートフルプラザ」では、常時8台～10台のウェルキャブ車を展示し、「実車を見たい」「使い勝手を確かめたい」といったお客様の要望にお応えするとともに、専任スタッフが一人ひとりのニーズに合わせたカスタマイズなどを含めたコンサルティングを行い、障害者、高齢者のモビリティライフ向上に向けた取り組みを進めています。

	来場者数 (オープン～2004年12月)	2004年 来場者数	オープン
札幌	約 3,110人	2,370人	2003年 9月
千葉	約 15,340人	2,006人	2001年 7月
千葉中央	約 1,830人	1,060人	2003年 6月
東京	約 42,360人	4,790人	1998年 7月
名古屋	約 13,390人	4,896人	2002年 9月
神戸	約 26,770人	4,209人	1998年 10月
広島	約 4,230人	932人	2000年 10月
福岡	約 14,380人	2,342人	1999年 11月

## トヨタ ハートフルプラザ

札幌	〒063-0801	北海道札幌市西区二十四軒1条7丁目11	☎011-611-8739
千葉	〒261-8585	千葉市美浜区稲毛海岸4-5-1	☎043-241-1488
千葉中央	〒260-0032	千葉市中央区登戸2-2-7	☎043-302-8111
東京	〒168-0081	東京都杉並区宮前1-20-22 モデリスタ東京2階	☎03-3332-3811
名古屋	〒452-0932	愛知県西春日井郡清洲町大字朝日字弥生1番地	☎052-400-8739
神戸	〒650-0023	神戸市中央区栄町通7-1-3	☎078-366-1616
広島	〒733-0841	広島市西区井口明神1-16-1 アルパーク西棟4階トヨタモータリア内	☎082-501-1222
福岡	〒816-0092	福岡市博多区東那珂2-1-55 モデリスタ福岡内	☎092-477-6187

その他の常設展示場および詳しい情報についてはホームページをご覧ください。 URL) <http://toyota.jp/welcab/> の「常設展示場」へ。

## モータースポーツ

トヨタはモータースポーツ活動を通して、クルマの持つ「楽しさ、夢」を追求し、クルマの限りない可能性を世界中の人々に感じていただきたと考えています。その活動の柱は、F1、米国のIRL、そして日本のスーパーGTというトップカテゴリーへの参戦です。またトップドライバーの育成、ワンメイクレースの開催、富士スピードウェイの活用などモータースポーツの基盤を支える活動を行っています。

### ■フォーミュラ・ワン世界選手権 (F1)



- ・2002年シーズンより「パナソニック・トヨタ・レーシング」として参戦。
- ・2005年シーズンは、新型F1カー「トヨタTF105」を投入。ドライバーはヤルノ・トゥルーリ、ラルフ・シューマッハの布陣で臨む。

### ■インディカーシリーズ (IRL)



- ・CARTシリーズへの参戦は、2002年シーズンのマニファクチャラーおよびドライバーのダブルタイトル獲得を節目に、2003年よりIRL参戦に移行。
- ・2005年シーズン、トヨタエンジン搭載車のタイトル獲得を目指す。

### ■スーパーGT・インターチャレンジ (スーパーGT)



- ・日本のモータースポーツのトップカテゴリーに、トヨタテクノクラフト(株)を通じて、参戦チームにスープラ、セリカ、MR-Sを提供。

### ■Nets Cup



- ・モータースポーツの裾野を広げるエントリーカテゴリーとなるNets Cupなどワンメイクレースの開催。有望ドライバーの参加を支援。

### ■富士スピードウェイ



- ・トヨタは2000年11月に富士スピードウェイ(株)の経営権を取得。
- ・2005年3月の完成を目指し、「モータースポーツの振興」「若者への情報発信」「安全運転教育の推進」を3つの柱とした改修を実施し、2005年4月にリニューアルオープン。

GAZOO(ガズー)は1998年、クルマのビジュアル情報ネットワークとして、インターネットを使った情報提供サービスを開始しました。1999年には、インターネットショッピングモール「ガズー商店街」を開設し、Eコマースへ進出。2000年には、マルチメディアキオスク端末「E-TOWER」を開発しコンビニ等への提供を開始、同年GAZOO事業を強力に推進するために、ガズーメディアサービス(株)<sup>※1</sup>を設立しました。2002年には、21世紀のユビキタスネットワーク社会の到来に先駆け、クルマ向け情報サービス「G-BOOK」を開始し、テレマティクス分野に事業を拡大。2004年には、最先端のCRM<sup>※2</sup>システム「e-CRB」<sup>※3</sup>をタイに展開するなど、事業活動はグローバルな領域へ広がっています。

今後も、これまでに培った技術・情報・ノウハウやインフラを活かし、世界中のお客様とより密接で長期的な信頼関係を構築すべく、グローバルに取り組んでいきます。

※1：2003年4月社名変更 現 デジタルメディアサービス(株)  
 ※2：Customer Relationship Management  
 ※3：e-Customer Relationship Building



インターネットサイト「GAZOO.com」



マルチメディアキオスク端末「E-TOWER」



クルマ向け情報サービス「G-BOOK」

## 自動車部品

トヨタの部品・用品販売は、修理、整備に必要な補修部品、カーアクセサリ用品、オイル類を中心に販売。また、国内だけでなく海外においてもサービス体制を整え、お客様のニーズに迅速に対応できるようにしています。

### 事業内容

	商品分類	商品	販売ルート
<p>ナビゲーション、オーディオ新モデル</p>	補修部品	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラグ、オイルフィルター、エアエレメント、クラッチディスクなどの部品</li> <li>バンパー、フェンダーなどの外装部品</li> <li>その他の一般補修部品</li> </ul>	<p>販売ルート</p> <p>部品メーカー → (国内) タクティール → 部品共販店34社 → 販売店 → 部品商 → ガンリンスタンド → お客様</p> <p>部品メーカー → (輸出) トヨタ自動車 → 海外ディスプレイ → ディーラー → 修理工場等 → お客様</p>
	用品	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーオーディオ、カーナビゲーションシステム、カーエアコン、ETC車載器</li> <li>フロアマット、サイドバイザー、ナンバーフレーム、エアロパーツ、フェンダーランプなどの車種専用用品</li> <li>チャイルドシートなどの汎用用品</li> </ul>	
	礦油	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンオイル、ギヤオイルなどのオイル類</li> <li>シャシー塗装剤、ロングライフクーラントなどのケミカル類</li> </ul>	

注) 2005年2月現在。

### トヨタ部品・用品販売の推移

(単位：億円)

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
国内	4,051	4,147	3,989	3,711	3,630	3,697	3,741	3,623	3,783	4,132
海外 <sup>※</sup>	1,478	1,764	1,867	1,900	1,676	1,577	1,749	1,983	1,882	2,000

※日本からの輸出分のみ

### トヨタ部品・用品の売上の構成(2004年)

(単位：億円)

	補修部品	用品	礦油	合計
国内	2,190(53.0)	1,660(40.2)	282(6.8)	4,132(100.0)
海外 <sup>※</sup>	1,980(99.0)	20(1.0)	—	2,000(100.0)

注) ( )内は構成比率(%)。

※日本からの輸出分のみ



# トヨタレンタリース

トヨタ自動車をフランチャイザーとしたトヨタレンタリース店63社を国内に展開し、2004年(9月末時点)のトヨタレンタリースのレンタカー保有台数は、8.0万台(前年比105%)、カーリース保有台数は36.6万台(同108%)と、年々着実に拡大しています。

## トヨタレンタリースの売上高推移

●レンタカー (単位: 億円)		●カーリース (単位: 億円)			
売上高	前年比(%)	売上高	前年比(%)		
2004	1,018	107	2004	1,611	105
2003	951	105	2003	1,531	102
2002	908	100	2002	1,493	102
2001	910	105	2001	1,469	103
2000	870	108	2000	1,424	101
1999	807	105	1999	1,405	99
1998	770	100	1998	1,426	102
1997	772	103	1997	1,392	105
1996	751	104	1996	1,324	105
1995	719	104	1995	1,265	103

## 国内のレンタカー、カーリースの保有台数推移(各年9月末時点)

●レンタカー (単位: 台)		●カーリース (単位: 台)			
総数	トヨタレンタリース	総数	トヨタレンタリース		
2004	314,666	79,675	2004	2,635,874	366,401
2003	299,956	75,812	2003	2,499,004	338,989
2002	288,075	68,759	2002	2,399,571	320,865
2001	287,503	67,952	2001	2,315,271	307,356
2000	271,332	62,335	2000	2,229,053	287,509
1999	261,100	57,949	1999	2,130,293	276,107
1998	255,149	55,393	1998	2,056,274	266,638
1997	255,023	54,233	1997	1,930,882	256,957
1996	244,951	52,254	1996	1,816,205	241,523
1995	228,930	49,592	1995	1,709,883	227,476

## レンタカー予約の窓口

トヨタレンタカー予約センター **0070-8000-10000**  
オープン時間8:00~20:00(年末年始休) ※一部つながらない電話・回線があります。

ホームページ **www.toyota.co.jp/rent/**  
 トヨタレンタカータイプ [EZweb・i-mode・vodafone live! からの予約は <http://rent.toyota.co.jp>]

# U-Car (中古車)

2004年のU-Car(中古車)市場<除軽>は522万台、前年比99%でした。新車市場と比較すると、U-Car市場は12年連続で新車台数を上回りました。2004年のトヨタ車のU-Car登録は191万台でした。

## 2004年のU-Car市場(新車と比較)

	台数(除軽)	前年比
U-Car登録	5,222,095	98.6%
新車登録	3,963,152	98.4%

## 2004年のトヨタ車のU-Car登録

	(単位: 台)		
	トヨタ車	他メーカー車	合計
乗用車	1,737,439(38.2)	2,811,661	4,549,100
商用車	176,053(26.2)	496,942	672,995
合計	1,913,492(36.6)	3,308,603	5,222,095

注) ( )内は中古車市場に占めるトヨタ車比率(%)。

## トピックス

### 1) 仕入れ

#### ●トヨタ買取りネットワーク「T-UP」の展開

2000年4月より、お客様のニーズにお応えして幅広いサービスを提供するトヨタ買取りネットワーク「T-UP」を営業しております。電話やインターネットからも無料お試し査定がご利用いただけます。 ※2004年12月末現在488店舗営業。

### 2) 流通

#### ●トヨタ・オートオークション「TAA」

現在、関東・中部・近畿・東北・九州の現車5会場と、オフィスに居ながら、セリに参加可能なパソコンオークションにより、全国規模でU-Carビジネスをバックアップしています。2005年4月に横浜会場を開設。

2004年はTAA5会場計で46.1万台(前年比111%)の出品台数でした。(業界第3位)

### 3) 小売

#### ●U-Car検索システムGazooUVIS

店舗やインターネットから毎日更新される約4.5万台の在庫を検索でき、欲しい車を選べるGazooUVIS導入店舗が拡大中。


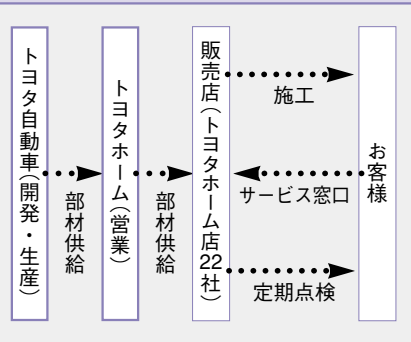
#### ●大規模小売店舗「カーロツ」の展開

最大400台展示、サービス工場も併設した大規模小売店舗「カーロツ」。現在、11店舗で併せて毎月約14,000人のお客様に会場いただいています。

# 住宅事業

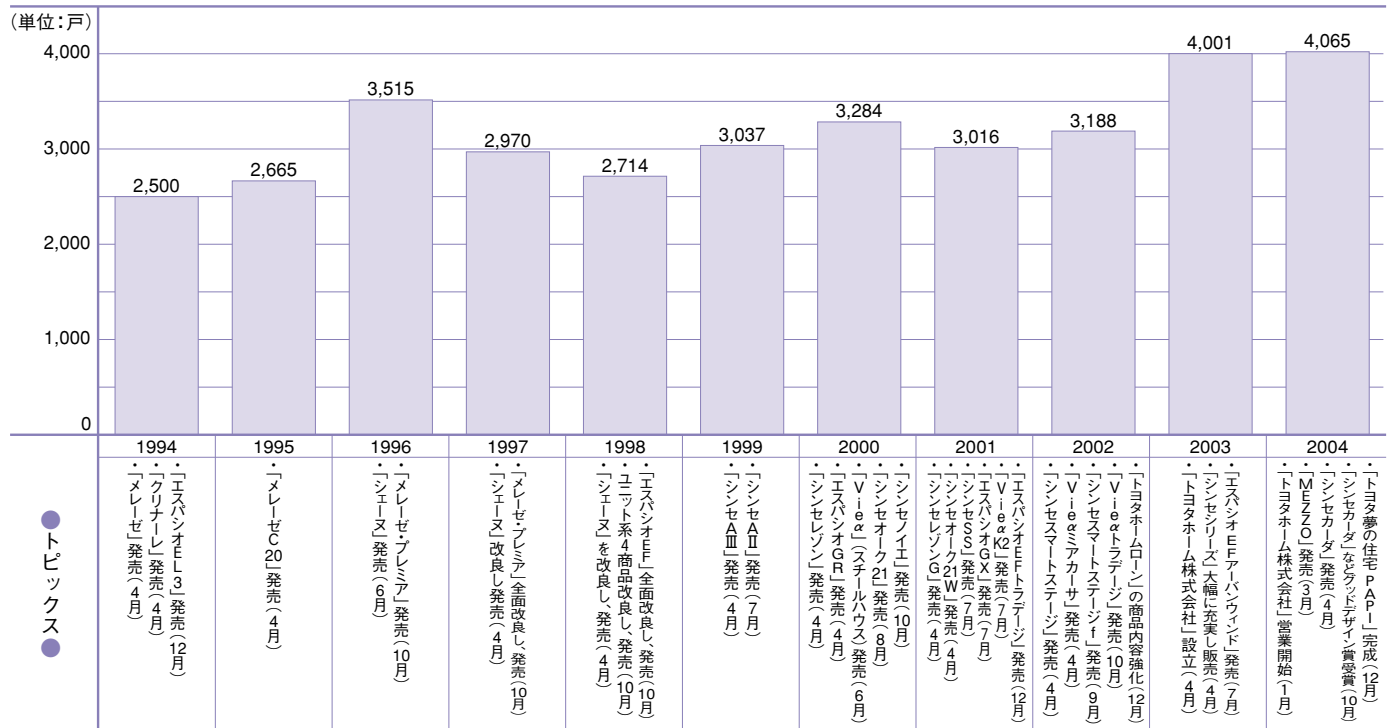
トヨタは1975年から本格的に住宅事業への取り組みを開始し、現在、戸建住宅では鉄骨ユニット工法、鉄骨軸組工法、スチールハウス工法(SW)の3工法で豊富に商品を取りそろえています。またオリジナル住宅ローンの開発や、品質責任制度の強化充実を図り、業界トップレベルの安心施策を実現しました。2004年1月、営業機能を担うトヨタホーム株式会社が営業を開始しました。

## ■事業内容

	商品分類	商品	販売ルート	
	鉄骨ユニット工法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンセカード</li> <li>・シンセ A II</li> <li>・シンセ レゾン G</li> <li>・シンセ レゾン S</li> <li>・シンセ レゾン J</li> <li>・シンセスマートステージ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンセ A III</li> <li>・シンセ B III</li> <li>・シンセ オーク 21</li> <li>・シンセ オーク 21W</li> </ul>	
	鉄骨軸組工法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エスパシオ EF</li> <li>・エスパシオ EF3</li> <li>・エスパシオ GR</li> <li>・エスパシオ GX</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エスパシオ EFトラデージ</li> <li>・エスパシオ EFアーバンウィンド</li> <li>・エスパシオ フィッツ</li> <li>・MEZZO</li> </ul>	
	トヨタSW工法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Vie α</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Vie α K2</li> </ul>	

注) 2005年1月現在。写真はシンセカード。

## ■トヨタホームの販売戸数の推移(戸建)



注) 2005年1月現在。

## ■主要事業所

名称	事業内容・生産品目	完成年月	土地面積	建物面積	従業員数
春日井事業所	トヨタホームの研究開発及び生産	1987. 4	14万m <sup>2</sup>	3万m <sup>2</sup>	261人
栃木事業所	トヨタホームの生産	1989. 8	5	2	69
山梨事業所	トヨタホームの生産	1991.10	17	5	56

注) 2005年1月現在。

## ■トピックス

### 「トヨタ夢の住宅 PAPI」

より豊かで持続的に発展できる社会を目指し、約10年後の近未来の生活を提案した実験住宅を愛知県愛知郡長久手町に完成しました。ITや環境、防犯・防災、健康等さまざまな分野の最先端技術を盛り込んでいます。



トヨタは、金融事業の競争力強化と意思決定の迅速化を図るため、内外の金融子会社を傘下におく統括会社トヨタファイナンシャルサービス株式会社（以下TFS）を2000年7月に設立。TFSグループは個人のお客様を中心に総合的な金融サービスの提供を目指しています。

■特徴

●TFSグループのミッション

トヨタのお客様に健全な金融サービスを提供し、豊かな生活に貢献し、トヨタファンの拡大を目指しています。

●日本企業で最高の財務信用力

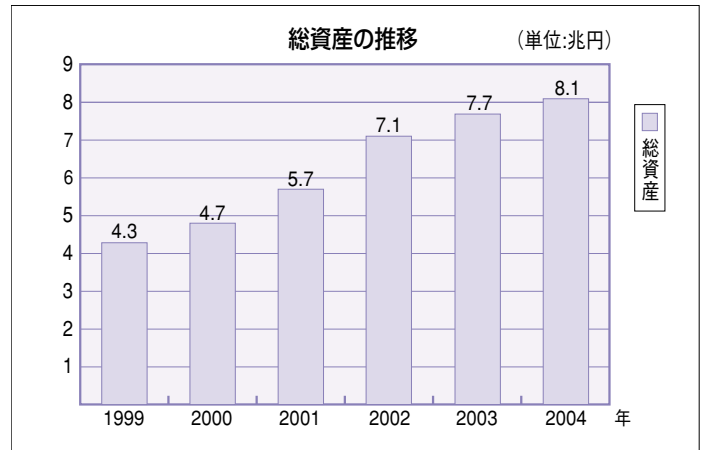
スタンダード&プアーズ社、ムーディーズ社より最高ランク格付「AAA」「Aaa」を取得。

●グローバルな販売金融ネットワーク

トヨタ車市場の90%をカバー。世界30ヶ国におよぶグローバルな販売金融ネットワークを展開し、500万人以上のお客さまにサービスをご提供しています。

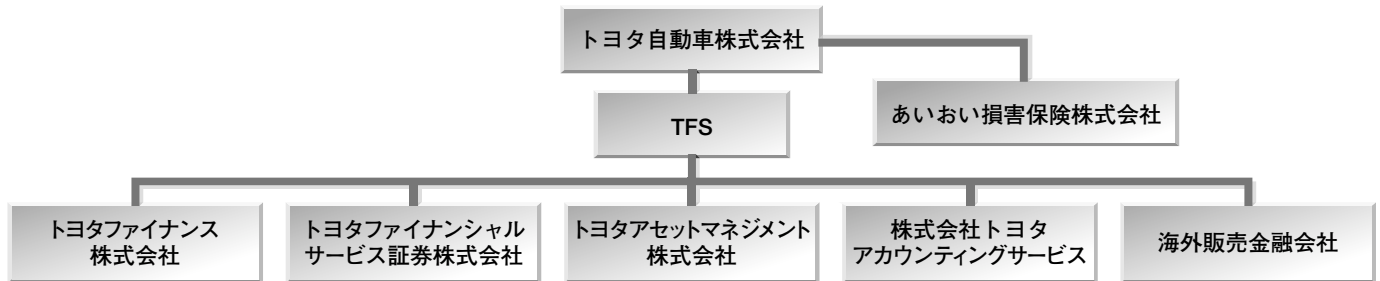
●お客様の生活に密着した総合金融サービス

年齢とともに変化するお客さまのニーズに対応し、結婚、出産、進学、自動車や住宅の購入などのあらゆるライフ・イベントをサポートするための商品・サービスをご提供し続けます。



注)2004年からは米国会計基準。

■組織図



■グループ会社案内

会社名	設立	資本金(単位:億円)	従業員数
トヨタファイナンシャルサービス株式会社	2000年7月	785.2	58 (2004年12月末時点)
トヨタファイナンス株式会社	1988年11月	165	1,472 (〃)
トヨタファイナンシャルサービス証券株式会社	2000年7月	75	66 (〃)
トヨタアセットマネジメント株式会社	1990年2月	6	45 (〃)
株式会社トヨタアカウンティングサービス	1999年7月	1	70 (〃)
あいおい損害保険株式会社	1918年6月	1,000	8,686 (〃)

■主なグローバルネットワーク

国/地域	会社名	設立※2	従業員数
アメリカ	U.S.A.	Toyota Motor Credit Corporation (TMCC)	1982年10月 2,965※1
	カナダ	Toyota Credit Canada Inc. (TCCI)	1990年2月 107
	ブラジル	Banco Toyota do Brasil S.A. (BTB)	1999年1月 70
	アルゼンチン	Toyota Credit Argentina S.A. (TCA)	1998年9月 23
	メキシコ	Toyota Services de Mexico, S.A. de C.V. (TSM)	2001年10月 37
	ベネズエラ	Toyota Service de Venezuela, C.A. (TSV)	2001年10月 32
ヨーロッパ/ アフリカ	イギリス	Toyota Financial Services (U.K.) Plc (TFSUK)	1988年11月 157
	ドイツ	Toyota Kreditbank GmbH/Toyota Leasing GmbH (TKG)	1988年4月 185
	フランス	Toyota France Financement (TFSF)	1997年12月 69
	スウェーデン	Toyota Financial Services Sweden (TFSSW)	2000年3月 18
	ノルウェー	Toyota Finans Service Norge (TFSN)	1997年7月 21
	イタリア	Toyota Financial Services Italy (TFSI)	1997年7月 60
	チェコ共和国	Toyota Financial Services Czech s.r.o (TFSCZ)	2000年5月 20
	南アフリカ	Toyota Financial Services South Africa (Pty) Ltd. (TFSSA)	2000年4月 60
	フィンランド	Toyota Finance Finland Oy (TFF)	1995年8月 22
	ポーランド	Toyota Bank Polska S. A. (TBP)	2000年3月 33
	デンマーク	Toyota Financial Services Denmark a/s (TFSDK)	2002年3月 5
	ハンガリー	Toyota Financial Services Hungary Rt. (TFSH)	2002年7月 8
	スペイン	Toyota Financial Services Espana (TFSES)	2003年4月 26
	アジア/ オセアニア	オーストラリア	Toyota Finance Australia Ltd. (TFA)
ニュージーランド		Toyota Finance New Zealand Ltd. (TFNZ)	1989年7月 45
タイ		Toyota Leasing (Thailand) Co., Ltd. (TLT)	1993年10月 592
マレーシア		UMW Toyota Capital Sdn. Bhd. (UMWTC)	2001年12月 118
フィリピン		Toyota Financial Services Philippines Corporation (TFSPH)	2002年8月 57
台湾		Hotai Finance Corporation (HFC)	1999年6月 199
		Hotai Leasing Corporation (HLC)	1999年6月 56

注)2004年12月現在。 ※1ブルエトリコを含む。 ※2一部会社については出資時期。

トヨタグループ

会社名	設立	事業内容	資本金 (百万円)	従業員数 (人)	売上高 (百万円)	出資比率 (%)
(株) 豊田自動織機 Toyota Industries Corporation	1926.11 (大正15年)	繊維機械、産業車両の製造・販売、乗用車のボディー及び部品の製造	80,462	9,888	749,617	23.51
愛知製鋼(株) Aichi Steel Corporation	1940.3 (昭和15年)	特殊鋼、鍛鋼品の製造・販売	25,016	2,407	134,008	24.22
豊田工機(株) Toyoda Machine Works,Ltd.	1941.5 (昭和16年)	工作機械、自動車用部品の製造・販売	24,805	3,850	168,340	23.62
トヨタ車体(株) Toyota Auto Body Co.,Ltd.	1945.8 (昭和20年)	乗用車、商用車、特殊車のボディー及び部品の製造	8,871	8,077	873,770	50.01
豊田通商(株) Toyota Tsusho Corporation	1948.7 (昭和23年)	各種原材料、製品の売買・輸出入	26,748	1,712	2,351,039	22.99
アイシン精機(株) Aisin Seiki Co.,Ltd.	1949.6 (昭和24年)	自動車部品、住生活関連機器の製造・販売	45,049	10,208	601,872	22.67
(株) デンソー DENSO CORPORATION	1949.12 (昭和24年)	各種自動車用及びその他電装用品、空調設備並びに一般機械器具、電気機械器具の製造・販売	187,456	38,620	1,708,505	23.20
トヨタ紡織(株) Toyota Boshoku Corporation	1950.5 (昭和25年)	自動車用内装製品、フィルター及びパワートレイン機器部品、繊維製品等の製造・販売	4,933	2,118	104,901	※1 46.82
東和不動産(株) Towa Real Estate Co.,Ltd.	1953.8 (昭和28年)	不動産の所有・管理・売買・貸借	23,750	77	6,223	45.00
(株) 豊田中央研究所 Toyota Central Research and Development Laboratories, Incorporated	1960.11 (昭和35年)	総合技術の開発、利用に関する各種の研究試験・調査	3,000	883	17,857	54.00
関東自動車工業(株) Kanto Auto Works,Ltd.	1946.4 (昭和21年)	乗用車、商用車のボディー及び部品、住宅関連機器及び建築用部材の製造	6,850	5,361	556,594	50.08
豊田合成(株) Toyoda Gosei Co.,Ltd.	1949.6 (昭和24年)	ゴム・合成樹脂・ウレタン製品、半導体関連製品、電気・電子製品、接着剤等の製造・販売	25,318	5,463	290,667	42.61
日野自動車(株) Hino Motors,Ltd.	1942.5 (昭和17年)	トラック、バス、乗用車、商用車、特殊車及び部品の製造・販売	72,717	8,673	855,876	50.11
ダイハツ工業(株) Daihatsu Motor Co.,Ltd.	1907.3 (明治40年)	乗用車、商用車、特装車及び部品の製造・販売	28,404	10,296	784,358	51.19

注) 1. 資本金、従業員数は各社決算期末。売上高は2003年4月～2004年3月。出資比率は2004年3月現在。但し※1は2004年10月現在。

主な国内出資会社の概要

会社名	事業内容	トヨタ出資比率(%)	資本金(億円)
トヨタ自動車九州(株)	自動車および部品の製造	100	450
トヨタ自動車北海道(株)	自動車部品の製造	100	275
トヨタ自動車東北(株)	自動車部品の製造	100	33
トヨタアドミニスタ(株)	東京におけるトヨタ自動車の直轄販売会社の持株会社	100	73
大阪トヨベツト(株)	自動車および同部品・用品の販売	100	40

注) 2004年3月現在。

■主な国内出資会社の概要

会社名		事業内容	設立年	トヨタ出資 比率(%)	資本金 (億円)	従業員数 (人)
金融	トヨタファイナンシャルサービス(株) <sup>※1</sup>	販売金融を中心とする金融事業の統括会社	2000	100.0	785.2	58
	あいおい損害保険(株) <sup>※1</sup>	損害保険事業	1918	33.4	1000.0	8,686
IT	KDDI(株)	固定電話サービス(国内・国際)、携帯電話サービス、インターネットサービス、データセンターサービス	1984	11.7	1,418.5	8,985
	(株)トヨタデジタルクルーズ	VAN事業、イントラネットサービス、SI(システムインテグレーション)	1996	60.8	8.0	228
	(株)トヨタコミュニケーションシステム	設計～調達～生産～販売、管理のグローバル基幹システムの開発、保守、運用サービス、コンサルティング	2001	100.0	14.2	1,147
	(株)トヨタケーラム	CAD/CAMを始めとする製造業の業務改革システムの開発・販売・保守	1993	77.9	7.0	174
	(株)トヨタIT開発センター	IT関連の技術開発、ビジネスモデルの発掘・開発	2001	65.0	30.0	29
	デジタルメディアサービス(株) <sup>※2</sup>	G-BOOKを中心としたテレマティクス事業、GAZOOシステム機器販売・保守、システムインテグレーション	2000	75.0	1.5	148
	(株)タス	インターネットによる不動産の価格算定・情報提供サービス	2000	22.2	1.8	6
メディア	名古屋テレビ放送(株)	テレビ放送事業	1961	34.6	4.0	228
	ひまわりネットワーク(株)	有線テレビ放送事業、インターネットサービス	1989	21.5	23.1	64
	(株)ZIP-FM <sup>※3</sup>	一般放送事業、音楽関係事業	1992	8.7	12.0	29
ITS	(株)衛星測位情報センター	カーナビへのGPSの誤差補正情報提供	1996	20.8	4.8	2
	(株)トヨタマップマスター	カーナビ用地図データベースの企画、調査、製作、販売	1998	51.1	4.8	93
	(株)日本緊急通報サービス	警察・消防などへの緊急通報接続サービス	1999	22.3	11.5	15
自動車周辺	(株)アムラックストヨタ	自動車ショールームの運営	1990	100.0	0.5	33
	(株)トヨタオートモールクリエイト	自動車販売施設、ショッピングセンターの企画・運営	1999	100.0	4.9	15
	富士スピードウェイ(株)	二輪・四輪自動車レースのサーキット場経営	1963	93.4	100.9	47
	ライフクリエイション(株)	オフロードコース(さなげアドベンチャーフィールド)の運営	1993	40.0	0.75	6
	(株)タクティー	自動車部品・用品の販売およびカーショップフランチャイズ事業	1996	80.0	4.5	392
	パナソニックEV エナジー(株)	EV/HEV用バッテリーおよび周辺機器の開発・製造・販売	1996	40.0	20.0	450
	(株)トヨタモデリスタ インターナショナル	カスタマイズ車両、関連部品・用品の開発および販売、個別カスタマイズへの対応	1997	85.0	1.0	76
	(株)トヨタテクノサービス	車両開発、情報システムの開発・管理・運用、技術情報収集・解析、車両技術者教育	1982	100.0	1.0	1,355

注)※1: 2004年12月現在。他は2004年3月現在。 ※2: 2003年4月社名変更(旧社名 ガズメディアサービス(株))。 ※3: 2004年10月社名変更(旧社名(株)エフエム名古屋)

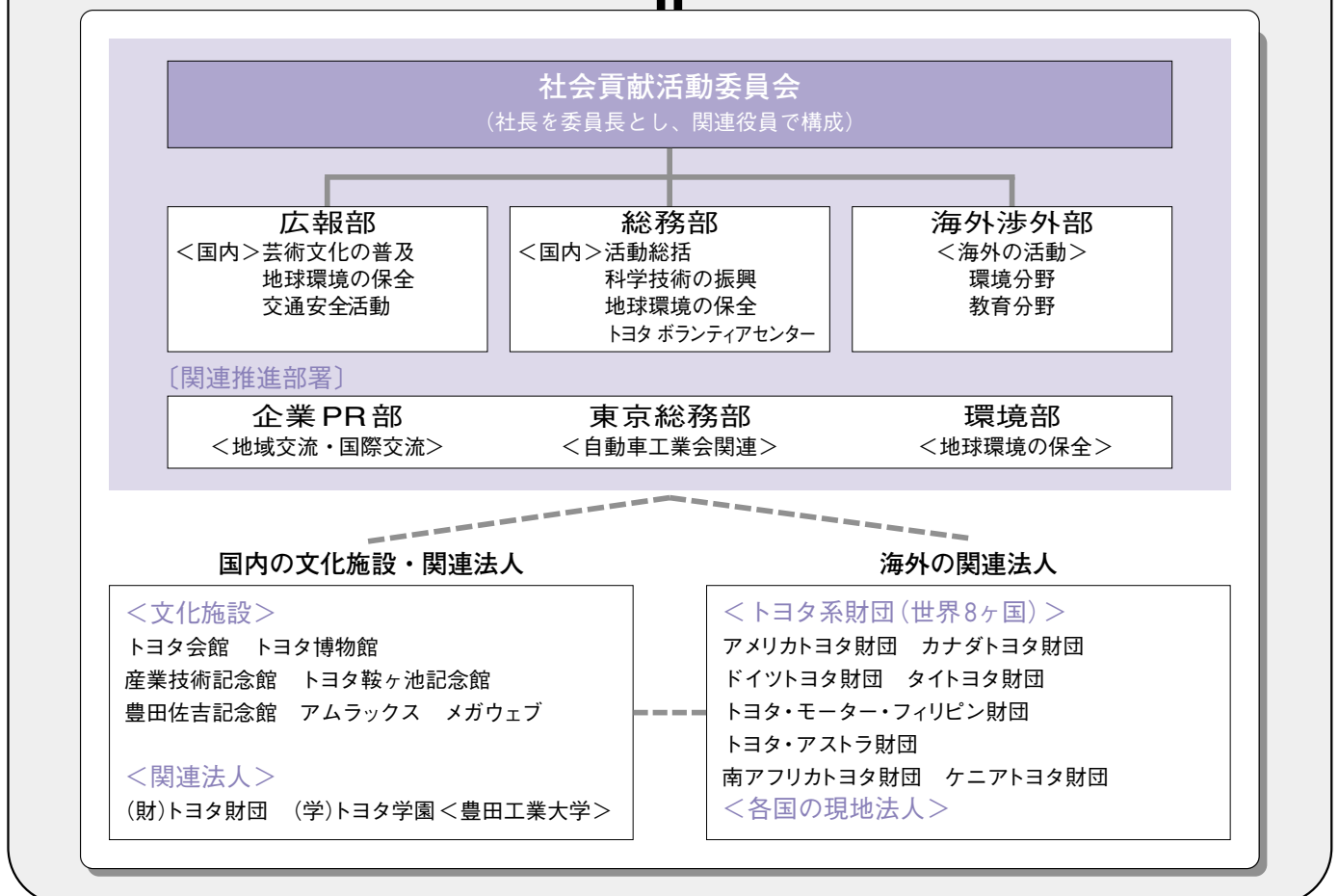
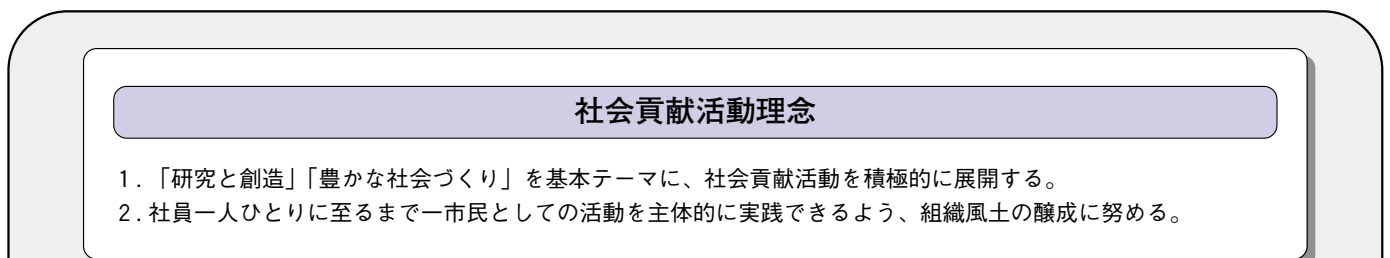
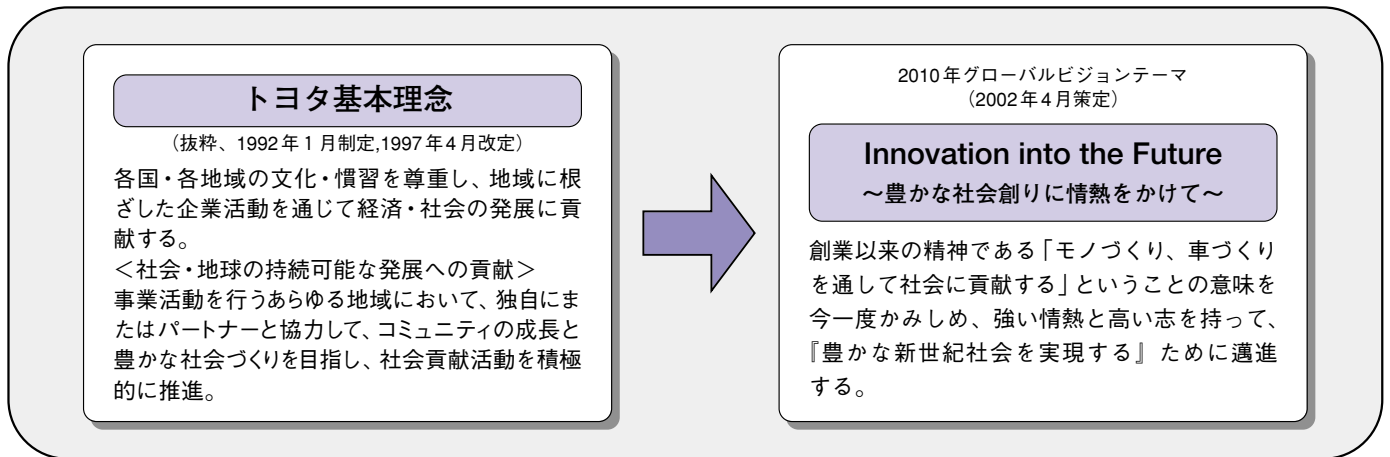
■主な国内出資会社の概要

会社名	事業内容	設立年	トヨタ出資比率(%)	資本金(億円)	従業員数(人)	
バイオ	(株)トヨタフローリテック	花卉の生産・販売	1999	50.0	1.0	40
	トヨタルフガーデン(株)	屋上緑化の施工・花卉・園芸資材の販売	2001	70.0	0.55	18
エネルギー	(株)トヨタタービンアンドシステム	小型ガスタービンを利用したコージェネシステムの開発・製造・販売	1998	70.0	16.0	77
環境	(株)エコ・リサーチ	環境コンサルティング及び環境情報システムサービス	2001	51.0	1.0	5
生活・シニア	(株)ウエルネス・フロンティア・センター	少子高齢・成熟社会での生活の質の向上に資する各種事業のプロデュース	2000	14.2	1.51	*2 10
	(株)グッドライフデザイン	地域医療機関のサポートと健康・シニア生活サービスを提供	2002	51.0	2.6	71
マリン	蒲郡海洋開発(株)	海洋レジャーを主体とした複合レクリエーション施設「ラグーナ蒲郡」の経営および土地の分譲	1991	15.8	1.0	135
	長崎サンセットマリーナ(株)	マリーナ事業	1993	76.9	1.4	5
エアロ	エアフライトジャパン(株)	パイロット養成・飛行場管理運営	1992	75.0	4.0	38
	朝日航洋(株)	航空機運航、測量・地図情報事業	1955	97.4	31.93	1,105
新素材	(株)アドマテックス	酸化物セラミックス粉(シリカ・アルミナ・複合酸化物)の製造・販売	1990	53.4	3.5	48
エンジニアリング	サンリツオートメイション(株)	組込み型ボードコンピュータとITSの開発・販売	1971	30.0	1.33	*3 100
	(株)トヨタマックス	計測器・設備の企画・開発・保全・サービス	1990	57.0	1.0	1,091
	(株)BPA	車両生産技術に関する設計エンジニアリング	1991	100.0	4.0	129
	(株)MTA	デジタルエンジニアリングによる生産設備等の設計	1991	100.0	2.5	77
	ラティス・テクノロジー(株)	3Dデータを超軽量化する技術の開発・販売	1997	28.8	4.33	*2 37
起業家による設立会社*1	(株)カーテックフジ	ブレーキ認証試験、車検整備・板金塗装	1996	24.5	0.2	40
	(株)テラ・コーポレーション	リジェネバーナー・高性能工業炉の開発・製造・販売	1996	85.0	1.0	5
	(株)クレストホームズ	木造2×4(ツーバイフォー)工法の輸入住宅販売	1996	98.0	4.0	7
	(株)メディア・クリック	マスメディア連動のオンデマンド音楽生活情報サービス事業	2001	40.0	1.0	2
社会貢献・従業員福利厚生・コンサルティング	トヨタ瑞浪開発(株)	ゴルフ場の経営	1989	37.6	2.57	47
	(株)名古屋グランパスエイト	プロサッカー試合の興行・運営	1991	22.5	4.0	30
	(株)トヨタアメニティ	ホテル・結婚式場、レストラン及びスポーツ施設の経営・管理・運営	1992	100.0	1.0	*4 88
	(株)オージェイティイー・ソリューションズ	生産現場の診断、改善計画・人材育成プログラムの提案・実施	2002.4	51.0	2.5	70
	トヨタパーソナルサポート(株)	給与計算代行、福利厚生制度・施設・施策の企画・運営・管理およびそれに関するコンサルティング	2002.10	100.0	0.6	*2 317

注)※1:社員自らが社長となって設立したベンチャー企業(起業家制度開始1995年～)。 ※2:2004年6月現在。 ※3:2004年8月現在。 ※4:2005年1月現在。他は2004年3月現在。

トヨタは「国際社会から信頼される企業市民」を目指し、国内はもとより、海外でも、様々な分野において社会貢献活動を展開しています。

■社会貢献活動の基本的な考え方



トヨタ財団

設立	昭和49年10月15日	基金規模	295億円
活動内容	国内及び海外諸国における、生活・自然環境、社会福祉、教育文化等に関する研究並びに事業を助成。		
所在地	〒163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル37階(TEL 03-3344-1701)		
会長	豊田達郎	理事長	木村尚三郎

(注)平成14年3月現在

豊田工業大学

開学	昭和56年4月	大学院設置	昭和59年4月
設置法人	学校法人 トヨタ学園		
理事長	豊田達郎	学長	生嶋 明
建学の精神等	建学の理念は「研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし」(豊田佐吉遺訓)。広く産業界から実務を経験した社会人を、1993年(平成5年)からは一般学生も受け入れ、設立当初から徹底した少人数の「塾的大学」として、21世紀社会が求める豊かな人間性と創造性あふれる技術者・開発者の育成を目指す。		
所在地	〒468-0034 名古屋市天白区久方2丁目12-1(TEL 052-802-1111)		
設置学部	工学部(入学定員80名)		
設置大学院	大学院工学研究科 修士課程(入学定員24名)／博士後期課程(入学定員12名)		
付置機関	半導体センター、総合情報センター、先端フロンテクノロジー研究センター、超高効率光起電力変換共同研究センター、宇宙ロボティクス研究センター、未来情報記録材料共同研究推進センター、ナノ格子新技術開発研究センター、TTI at Chicago(大学院大学)		

展示館



トヨタ鞍ヶ池記念館	
完成	昭和49年9月
来場者	50,833人(平成16年実績)
展示内容	豊田喜一郎とその仲間たちの大いなる夢、情熱の日々…。創業期の歩みとモノづくりのスピリッツを紹介。
所在地	〒471-0001 豊田市池田町南250番地(TEL 0565-88-8811)
開館時間	9:30～16:30、月曜休館(祝日の場合は翌日)春期・夏期・年末年始の会社連休日も休館



トヨタ会館	
完成	昭和52年11月
来場者	188,824人(平成16年実績)
展示内容	「環境」「安全」「ITS」に対する取り組みを中心にトヨタのクルマづくりを分かりやすく紹介。
所在地	トヨタ自動車(株) 本社地区内(TEL 0565-29-3355)
開館時間	9:00～16:30、原則として日曜日及び春・夏・冬の会社連休日休館



トヨタ博物館	
完成	平成元年4月
来場者	189,646人(平成16年実績)
展示内容	ガソリン自動車誕生から100年の自動車文化の歩みを体系的に展示。
所在地	〒480-1131 愛知県愛知郡長久手町大字長湫字横道41番100号(TEL 0561-63-5151)
開館時間	9:30～17:00(但し、入館は16:30まで)、原則として月曜日及び・年末・年始休館



アムラックス東京	
完成	平成2年9月
来場者	1,676,642人(平成16年実績)
展示内容	トヨタ車を紹介するショールームとしての機能のほか、トヨタの新技术、環境や安全への取り組みなどを紹介。
所在地	〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-3-5 トヨタ自動車池袋ビル(TEL 03-5391-5900)
開館時間	(2～4F)11:00～19:00、(B1～1F)11:00～21:00、月曜(祝祭日の場合翌日は休館)



メガウェブ	
完成	平成11年3月
来場者	5,575,200人(平成16年実績)
展示内容	3つのテーマ館と3つのドライブブース。クルマのさまざまな楽しさを「見て、乗って、感じる」体験型クルマのテーマ施設。
所在地	〒135-0064 東京都江東区青海1丁目パレットタウン(TEL 03-3599-0808)
開館時間	11:00～21:00、不定休



産業技術記念館	
完成	平成6年6月(トヨタグループ13社が共同して設立)
来場者	136,565人(平成16年実績)
展示内容	繊維機械技術や、自動車技術・生産技術の移り変わりの他、トヨタグループの歴史等を紹介。
所在地	〒451-0051 名古屋市西区則武新町4-1-35(TEL 052-551-6115)
開館時間	9:30～17:00(但し、入館は16:30まで)、月曜(祝祭日の場合は翌日)及び年末・年始休館



国内：「豊かな社会の実現」と「持続可能な発展」に向けて、各種自主活動を展開

＜重点活動テーマ＞科学技術の振興

トヨタのノウハウを活かして科学技術の振興とモノづくり文化の伝承につながる活動を展開

・なぜなにレクチャー

1996年より、社内エンジニアを中心に組織されたトヨタ技術会と連携し社員ボランティア講師を全国の科学館・科学イベントに派遣。科学の不思議やモノづくりの楽しさを伝えるために「安全なクルマのボディの仕組み」「風洞実験」「からくり自動車」などの科学工作教室を開催。96年の開始以来、小学生を中心に延べ15,000人以上が参加。



・ITSによる交通モデル都市づくりへの支援

1996年に愛知県豊田市と連携して「豊田ITS研究会」を発足。関係省庁が指定する「ITSモデル地区実験」都市として選定され、1999年からはEV共同利用実験等、市内での渋滞緩和を狙いとしたりした様々な実験を展開。2002年には産・官・学・民による「豊田市ITS推進会議」（会長：豊田市長）が設置され、まちづくり・交通施策と連携した本格的な地域でのITS推進を支援。2004年10月開催の「ITS世界会議愛知・名古屋2004」では、豊田市と連携し「Street Value Adventure in Toyota / 街の、路の、車の未来を探しに行こう!」体験ツアーを実施。

＜重点活動テーマ＞地球環境の保全

地球温暖化防止への貢献のため環境緑化プログラムや環境啓発のための教育活動を実施

・「トヨタの森」と環境緑化活動

緑による環境改善を目指し、1997年より里山活性化モデル林「トヨタの森」での実践、学童の環境学習への協力、専用学習館での啓発活動などを推進。

・「エコのもりセミナー」の開催

「トヨタの森」フォレストヒルズ・モデル林で、(社)日本環境教育フォーラムと連携し、21世紀の森づくりを支える人材育成を狙いとする様々な環境教育プログラムを1998年より展開。



・トヨタ環境活動助成プログラムの実施

1999年、国連環境計画「グローバル500賞」受賞を記念し、「持続可能な発展」に貢献する環境技術・環境学習に関する国内外の活動に対し2000年から助成。

＜重点活動テーマ＞芸術文化の普及

「文化の育成」「裾野の拡大」「地域文化の活性化」を重点に活動を展開

・トヨタ コミュニティコンサート

全国のトヨタ販売会社と共に、各地のアマチュアオーケストラを支援してコンサートを開催。1981年にスタートし、2005年3月までに全国44都道府県で1,102回開催。



・トヨタ 子どもとアーティストとの出会い

アーティストとの出会いを通じて子どもの豊かな感性を育てることを目的に、NPO法人「芸術家と子どもたち」と連携して、2004年より開催。

・トヨタ コレオグラフィーアワード

2001年より、次代を担う振付家の発掘を目的にコンテンポラリーダンスなどの舞踊分野における顕彰事業を東京の世田谷パブリックシアターと連携して開催。

福祉・地域社会・ボランティア活動支援

災害救援や福祉団体への援助、全国の事業所周辺での各種行事の支援、社員のボランティア活動支援

＜福祉＞

・災害救援活動への支援

2004年12月末に発生した、インドネシア・スマトラ島沖大地震に対して、トヨタと現地事業体は、義捐金の拠出、物資支援、リース車輛の提供などを行なった。アジア・オセアニアの事業体のみならず、米欧の事業体も義捐金や従業員とのマッチング募金などをグループ一体となって支援を行なった。

・社会福祉法人への支援

身体障害者の養護や自立支援を目的とする社会福祉法人に対し、施設の運営や施設が開催するチャリティーコンサート、バザーなどのイベントを支援。



＜地域社会＞

・トヨタサマースクール

夏休み期間中に豊田市周辺の小学5年生を招待し、車に対する理解を深めてもらう工場見学や勉強会を1969年より実施。

＜ボランティア活動支援＞

「トヨタボランティアセンター」を1993年に設置し、社員への理解促進を目的とした啓発活動や、活動メニューの情報提供、コーディネート活動を実施。また、活動の拡大、人材育成を狙いとした、社内各種ボランティアサークル活動を支援。

海外：北米、ヨーロッパ、アジアを重点地域とし、環境・教育を中心に活動を展開、また、様々な国際交流プログラムも展開

北 米

・アメリカ：「親子教育プログラムへの支援」

全米家庭教育センター（NCFL）がアメリカ各地で展開するPACE（Parent and Child Education）プログラムを1991年より支援。このプログラムは「教育を受けられなかった親の子供もまた、十分な教育を与えられずに育つ」という悪循環を断ち切ることを目的とした就学前児童の親子教育プログラム。1998年からは、新たに対象を小学校低学年レベルまで拡大したTFSP（Toyota Families in School Program）を実施。2002年より、ヒスパニック系の親子を対象としたESLP（the English as a Second Language Program）を支援。



ヨーロ ッパ

・欧州：「環境教育」

2003年より、「持続的発展可能なコミュニティー活動プログラム」を、現地NGO、Groundworkの協力のもと、イギリス、ポーランド、チェコの3カ国で実施。小中学校と地域に呼びかけ、実体験型の活動を通して、学生、教師、地域住民の環境問題への理解促進を図る。



・欧州：「交通安全」

欧州26カ国の赤十字社による子供向け交通安全、救命・応急手当教育キャンペーンを支援。子供たちの死亡・負傷事故件数の減少を目的とし、これまでに約75万人の小中学生が、交通安全や事故に遭った時の応急手当について学んでいる。



ア ジ ア

・中国：「砂漠化防止のための植林活動」

近年急速に砂漠化が進行している北京近郊の河北省において、地球緑化センター、中国豊寧県林業局、中国科学院と共同で、2001年より植林活動を開始。耐乾燥性樹種の選抜技術・環境モニタリングなどの技術支援も実施。

・韓国：「大学寄付講座プログラム」

日韓の相互理解を促進するため、将来を担う大学生・大学院生を対象とした、日本研究・日韓関係の寄付講座設立を支援。ソウル国立大学・国際大学院にて実施。併せて一般市民向けの公開講座も実施。



・カンボジア／タイ：「JAHDS（人道目的の地雷除去支援の会）への支援」

人道目的の地雷除去活動を行うNGOであるJAHDSを1999年より支援。当NGOは被害地域の一般市民を残存する地雷及び不発弾の被害から守るために、地雷探知技術・機材及び除去員、探知犬を活用し総合的な地雷除去活動を行っている。

・トヨタクラシックス

1990年より、アジア地域で一流オーケストラによるコンサートツアーを開催し、チケット収益金を各地域の社会事業団体へ寄付。

国際交流

工場見学や質疑応答、環境プレゼンテーション、エコカー試乗を通じ、トヨタの高品質な車づくりや環境への取り組みに関する理解活動を展開。

- ・海外ビジネススクール学生
- ・愛知県下留学生
- ・JICA（国際協力事業団）研修生 等



# History of TOYOTA

## トヨタの歩み

トヨタ自動車の創業者・豊田喜一郎は1894年(明治27年)に生まれました。自動織機の発明家として歴史に名を残す豊田佐吉の、「研究と創造」の精神を受け継いだ息子の喜一郎は、当時の日本ではまだ未知の分野であった自動車づくりに生涯をかけ、苦心の末、1935年(昭和10年)にA1型試作車を完成。トヨタ自動車の歴史はこうして始まりました。そして、1999年(平成11年)10月、トヨタは、おかげさまで国内生産累計1億台を達成しました。



豊田佐吉



豊田喜一郎

# 1867

慶応3年～

### 事業展開／工場・施設展開

- 1867年(慶応3年)
  - 豊田佐吉 誕生
- 1890年(明治23年)
  - 豊田佐吉「豊式木製人力織機」完成
- 1894年(明治27年)
  - 豊田喜一郎 誕生
- 1924年(大正13年)
  - 豊田佐吉「無停止杼換式豊田自動織機(G型)」完成
- '29年(昭和4年)
  - 豊田喜一郎 自動車事情視察などのため欧米へ出張
  - 自動織機の特許を英国のプラット社に譲渡
- '30年(昭和5年)
  - 豊田喜一郎 小型ガソリンエンジンの研究を開始
- '33年(昭和8年)
  - (株)豊田自動織機製作所に自動車部を設置
- '35年(昭和10年)
  - 日の出モータース(株) 営業開始
  - (現・愛知トヨタ(株))
- '36年(昭和11年)
  - トヨタマーク制定
- '37年(昭和12年)
  - トヨタ自動車工業(株) 設立
- '38年(昭和13年)
  - 挙母工場操業開始
  - (現・本社工場)
  - 「ジャストインタイム」方式 本格的スタート



ヒガエ 無停止杼換式 豊田自動織機(G型)



挙母工場



挙母工場生産ライン

# 1940

昭和15年～24年

- '40年(昭和15年)
  - 豊田製鋼(株)設立
  - (現・愛知製鋼(株))
  - (財)豊田理化学研究所設立
- '41年(昭和16年)
  - 豊田工機(株) 設立
- '43年(昭和18年)
  - 東海飛行機(株) 創立
  - (現・アイシン精機(株))
- '45年(昭和20年)
  - トヨタ車体工業(株) 設立
  - (現・トヨタ車体(株))
- '46年(昭和21年)
  - 関東電気自動車製造(株) 設立
  - (現・関東自動車工業(株))
- '48年(昭和23年)
  - 日新通商(株) 設立
  - (現・豊田通商(株))
- '49年(昭和24年)
  - 名古屋ゴム(株) 設立
  - (現・豊田合成(株))
  - 日本電装(株) 設立
  - (現・(株)デンソー)

### 新車発表／生産・販売・輸出実績

- '35年(昭和10年)
  - A1型試作乗用車完成
  - G1型トラック完成
- '36年(昭和11年)
  - トヨタAA型乗用車、AB型フェートン、GA型トラック発表
- '38年(昭和13年)
  - GB型トラック生産開始



A1型試作乗用車



G1型トラック

- '41年(昭和16年)
  - AE型乗用車生産開始
- '42年(昭和17年)
  - KB型トラック生産開始
- '43年(昭和18年)
  - AC型乗用車、KC型トラック生産開始
- '47年(昭和22年)
  - BM型トラック、SB型小型トラック、SA型小型乗用車生産開始
- '49年(昭和24年)
  - SD型小型乗用車生産開始



トヨタAA型乗用車



SB型小型トラック



急行列車と競争するSA型小型乗用車

- '36年(昭和11年)
  - トヨタ車(G1型トラック) 初輸出



- '47年(昭和22年)
  - 国内生産累計10万台達成



# 1950

昭和25年～34年

## 事業展開／工場・施設展開

- '50年(昭和25年)
  - 経営危機／労働争議・人員整理
  - トヨタ自動車販売(株)設立
  - 民成紡績(株)設立(現・豊田紡織(株))
- '51年(昭和26年)
  - 創意くふう提案制度発足
- '53年(昭和28年)
  - 東和不動産(株)設立
  - 会社代表標語「よい品よい考」制定
- '54年(昭和29年)
  - 技術本館(テクニカルセンター)完成
- '56年(昭和31年)
  - トヨペット店営業開始
  - 本社テストコース完成
- '57年(昭和32年)
  - 米国トヨタ自動車販売(株)設立
- '58年(昭和33年)
  - トヨタ・ド・ブラジルS.A.社(ブラジルトヨタ)操業開始
- '59年(昭和34年)
  - 元町工場操業開始



標語制定



米国トヨタ自動車販売



元町工場

# 1960

昭和35年～44年

- '60年(昭和35年)
  - 新本館(現・事務本館)完成
  - (株)豊田中央研究所設立
- '61年(昭和36年)
  - バブリカ店営業開始(現・トヨタカローラ店)
  - TQCの全社的導入決定
  - 春日工場完成(現・春日センター)
- '62年(昭和37年)
  - 「労使宣言」に調印
  - トヨタ・モーター・タイランド社設立
- '65年(昭和40年)
  - デミング賞実施賞受賞
  - 上郷工場操業開始
- '66年(昭和41年)
  - 高岡工場操業開始
  - 日野自動車工業(株)と業務提携
  - 東富士工場の自動車性能試験場完成
- '67年(昭和42年)
  - トヨタオート店営業開始(現・ネットトヨタ)
  - ダイハツ工業(株)と業務提携
- '68年(昭和43年)
  - 三好工場操業開始



トヨタ本社新本館



労使宣言 調印式



デミング賞実施賞



東富士自動車性能試験場

# 1970

昭和45年～54年

- '70年(昭和45年)
  - 第1回日本品質管理賞受賞
  - 堤工場操業開始
- '73年(昭和48年)
  - 明知工場操業開始
  - キャルティデザインリサーチ設立
- '74年(昭和49年)
  - トヨタ靱ヶ池記念館完成
  - トヨタ財団設立
  - 日進研修センター完成
- '75年(昭和50年)
  - 下山工場操業開始
  - 住宅事業に参入
- '77年(昭和52年)
  - トヨタテクニカルセンターU.S.A設立
  - トヨタ会館完成
- '78年(昭和53年)
  - 衣浦工場操業開始
- '79年(昭和54年)
  - 田原工場操業開始



日本品質管理賞受賞



日進研修センター



田原工場

## 新車発表／生産・販売・輸出実績

- '51年(昭和26年)
  - BX型トラック、BJ型トヨタジープ発表(現・ランドクルーザー)
  - SF型小型乗用車生産開始
- '52年(昭和27年)
  - SG型小型トラック生産開始
- '53年(昭和28年)
  - RH型トヨペット・スーパー、RK型小型トラック発表
- '54年(昭和29年)
  - SKB型小型トラック発表(現・トヨエース)
- '55年(昭和30年)
  - トヨペット・クラウン、トヨペット・マスター、クラウン・デラックス発表
- '56年(昭和31年)
  - RK52型小型トラック発表(現・ダイナ)
- '57年(昭和32年)
  - DA60型ディーゼルトラック、トヨペット・コロナ発表



トヨペット・クラウン

- '61年(昭和36年)
  - バブリカ発表
- '63年(昭和38年)
  - RK170B型ライトバス発表(現・コースター)
- '64年(昭和39年)
  - クラウン・エイト、FA100型・DA100型大型トラック発表
- '65年(昭和40年)
  - トヨタスポーツ800発表
- '66年(昭和41年)
  - カローラ発表
- '67年(昭和42年)
  - トヨタ2000GT、ハイエース、ミニエース発表
- '68年(昭和43年)
  - ハイラックス、カローラスプリンター、コロナマークII発表



バブリカ



カローラ



トヨタ2000GT スピードトライアル

- '70年(昭和45年)
  - カリーナ、セリカ、ライトエース発表
- '73年(昭和48年)
  - バブリカスターレット発表
- '76年(昭和51年)
  - タウンエース発表
- '77年(昭和52年)
  - チェイサー発表
- '78年(昭和53年)
  - セリカXX発表(現・スープラ)
  - ターセル、コルサ発表



セリカ

- '57年(昭和32年)
  - 国産乗用車対米輸出第1号(クラウン)



- '62年(昭和37年)
  - 国内生産累計100万台達成
- '69年(昭和44年)
  - 輸出累計100万台達成
  - 年間国内販売100万台達成



- '72年(昭和47年)
  - 国内生産累計1,000万台達成
- '75年(昭和50年)
  - 輸出累計500万台達成
- '79年(昭和54年)
  - 輸出累計1,000万台達成



# 1980

昭和55年～64年(平成元年)

- '80年(昭和55年)
  - トヨタビスタ店営業開始
- '81年(昭和56年)
  - 豊田工業大学開学
- '82年(昭和57年)
  - トヨタ自動車工業(株)、トヨタ自動車販売(株)合併  
新社名トヨタ自動車(株)
- '84年(昭和59年)
  - 米国でのトヨタ・GM合弁会社(NUMMI)生産開始
  - 士別試験場完成
- '85年(昭和60年)
  - 飛鳥センター完成
- '86年(昭和61年)
  - 貞宝工場操業開始
- '87年(昭和62年)
  - 春日井事業所操業開始
  - トヨタ記念病院完成
  - 欧州テクニカルセンター設立
- '88年(昭和63年)
  - TMM(現・TMMK)生産開始
- '89年(平成元年)
  - 広瀬工場操業開始
  - 栃木事業所操業開始
  - トヨタ博物館完成
  - 米国レクサス店設立
  - 東京デザインセンター設立



工販合併



NUMMI



TMM工場納入式



レクサス店

# 1990

平成2年～11年

- '90年(平成2年)
  - アムラックス オープン
  - TMME設立
- '91年(平成3年)
  - 山梨事業所操業開始
- '92年(平成4年)
  - 「トヨタ基本理念」発表
  - 「トヨタ地球環境憲章」制定
  - TMUK生産開始
  - VW・Audi車販売店舗DUOオープン
  - トヨタ自動車北海道(株)操業開始
  - トヨタ自動車九州(株)操業開始
- '94年(平成6年)
  - 産業技術記念館オープン
- '96年(平成8年)
  - (株)コンボン研究所設立
- '98年(平成10年)
  - トヨタオート店 社名をネットトヨタに変更
  - フランス新工場建設を発表
  - TMMI/TMMWV操業開始
  - 天津トヨタ自動車エンジン有限会社操業開始
  - トヨタ自動車東北(株)操業開始
- '99年(平成11年)
  - MEGA WEB(メガウェブ)オープン
  - ニューヨーク・ロンドン株式会社
  - トヨタ・キルロスカ・モーター社操業開始



TMUK全景



フランス工場建設発表



天津エンジン工場操業開始

# 2000

平成12年～

- '00年(平成12年)
  - 金融統括会社「トヨタファイナンシャルサービス株式会社」設立
  - 四川トヨタ自動車有限会社生産開始
- '01年(平成13年)
  - TMMF生産開始
  - TMMAL設立
- '02年(平成14年)
  - F1参戦
  - TPCA設立
  - TMMP生産開始
  - TMMBC設立
  - TKAP設立
  - TMIP設立
- '03年(平成15年)
  - 国内の新「商品・流通政策」を策定
  - 住宅販売会社「トヨタホーム(株)」を設立
  - トヨタ車体(株)、アラコ(株)が車両事業統合を合意
  - TMMTX設立
  - 一気トヨタ自動車販売有限会社を設立
- '04年(平成16年)
  - トヨタ一気(天津)金型有限会社(TFTD)設立
  - 一気トヨタ(長春)エンジン有限会社(FTCE)設立
  - ネット店とビスタ店を融合し、新「ネット店」スタート
  - IMVシリーズ第1弾、「ハイラックス VIGO」発表(タイ)
  - 広州トヨタ自動車有限会社(GTMC)設立

- '80年(昭和55年)
  - セリカ・カムリ(現・カムリ)、クレスト発表
- '81年(昭和56年)
  - ソアラ発表
- '82年(昭和57年)
  - ビスタ、カローラII、スプリンターカブリ、マスターエース・サーフ発表
- '84年(昭和59年)
  - ハイラックスサーフ、MR2発表
- '89年(平成元年)
  - デリボーイ、セルシオ発表



ソアラ



セルシオ

- '90年(平成2年)
  - セラ、エスティマ発表
- '91年(平成3年)
  - サイノス、ウィンダム、アリスト発表
- '92年(平成4年)
  - セブター、カルディナ発表
- '94年(平成6年)
  - カレン、RAV4L、RAV4J発表
- '95年(平成7年)
  - アバロン、グランビア、トヨタキャバリエ、クラウン・コンフォート発表
- '96年(平成8年)
  - メガクルーザー、イプサム発表
- '97年(平成9年)
  - ハイエースレジアス(現・レジアス)、ラウム、プリウス、ハリアー発表
- '98年(平成10年)
  - プログレ、ガイア、ナディア、デュエット、アルテッツァ発表
- '99年(平成11年)
  - ヴィッツ、キャミ、プラッツ、ファンカーゴ、MR-S発表



プリウス



ヴィッツ

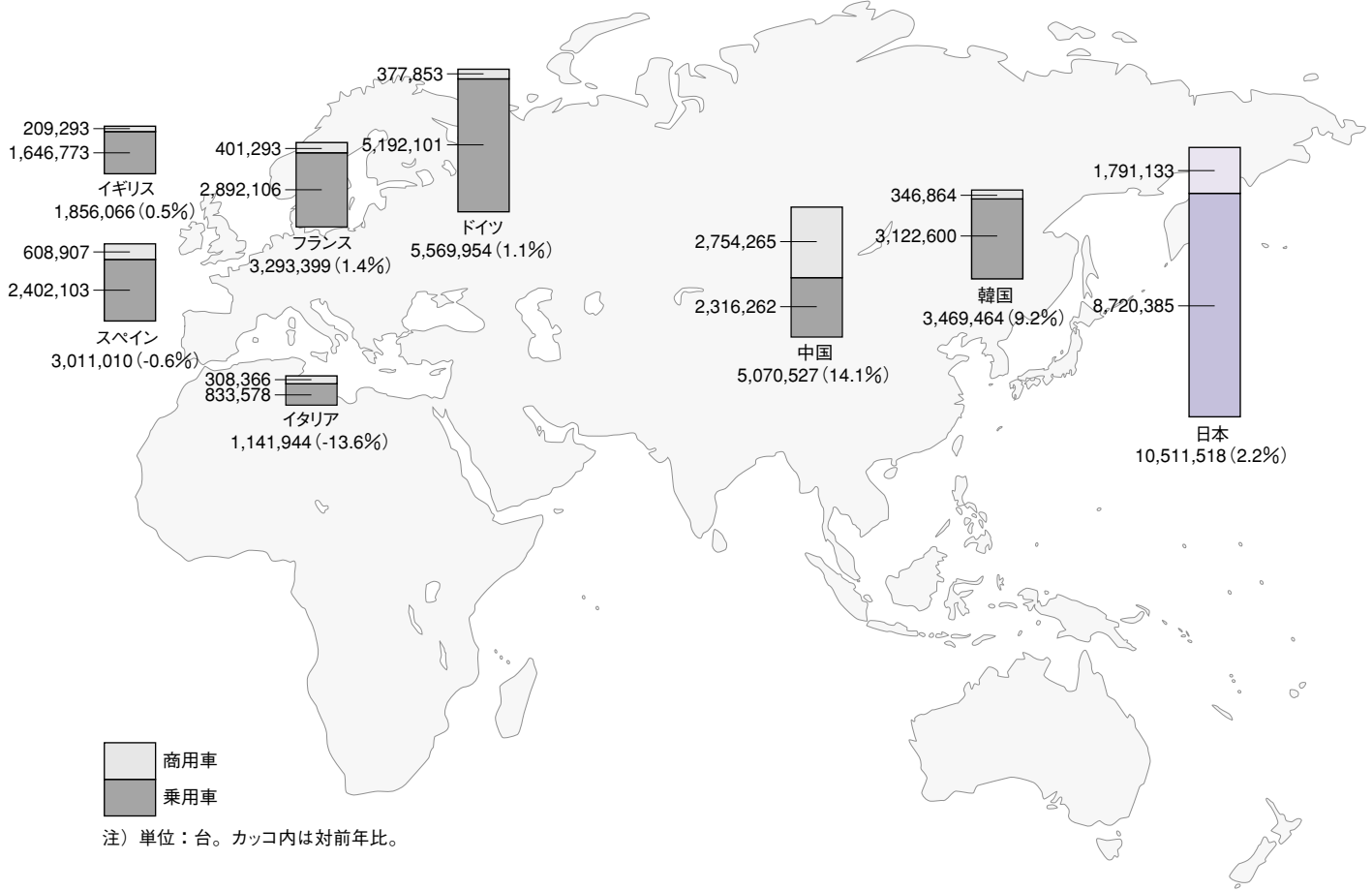
- '85年(昭和60年)
  - 輸出累計2,000万台達成
- '86年(昭和61年)
  - 国内生産累計5,000万台達成
- '88年(昭和63年)
  - 年間国内販売200万台達成



- '94年(平成6年)
  - 年間海外生産100万台達成
- '99年(平成11年)
  - 国内生産累計1億台達成
  - 年間海外販売300万台達成

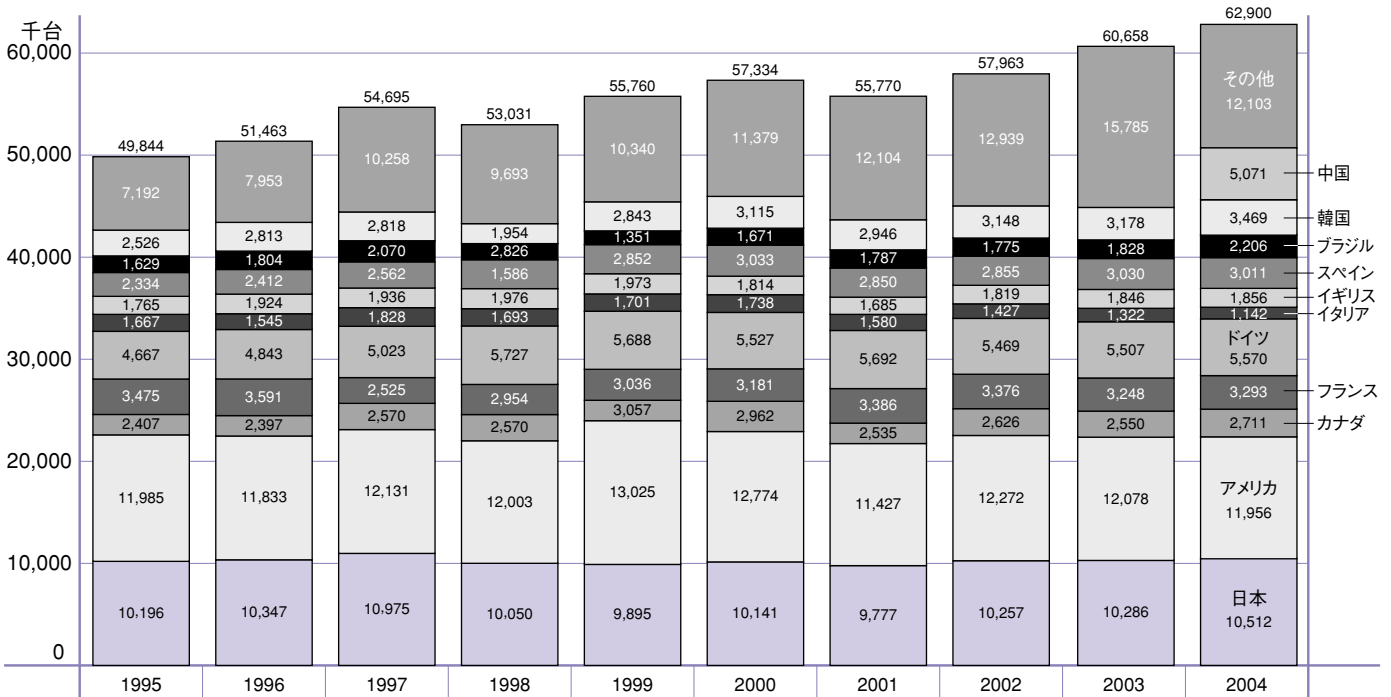


- '02年(平成14年)
  - 北米生産累計1,000万台達成
  - プリウス販売累計10万台突破



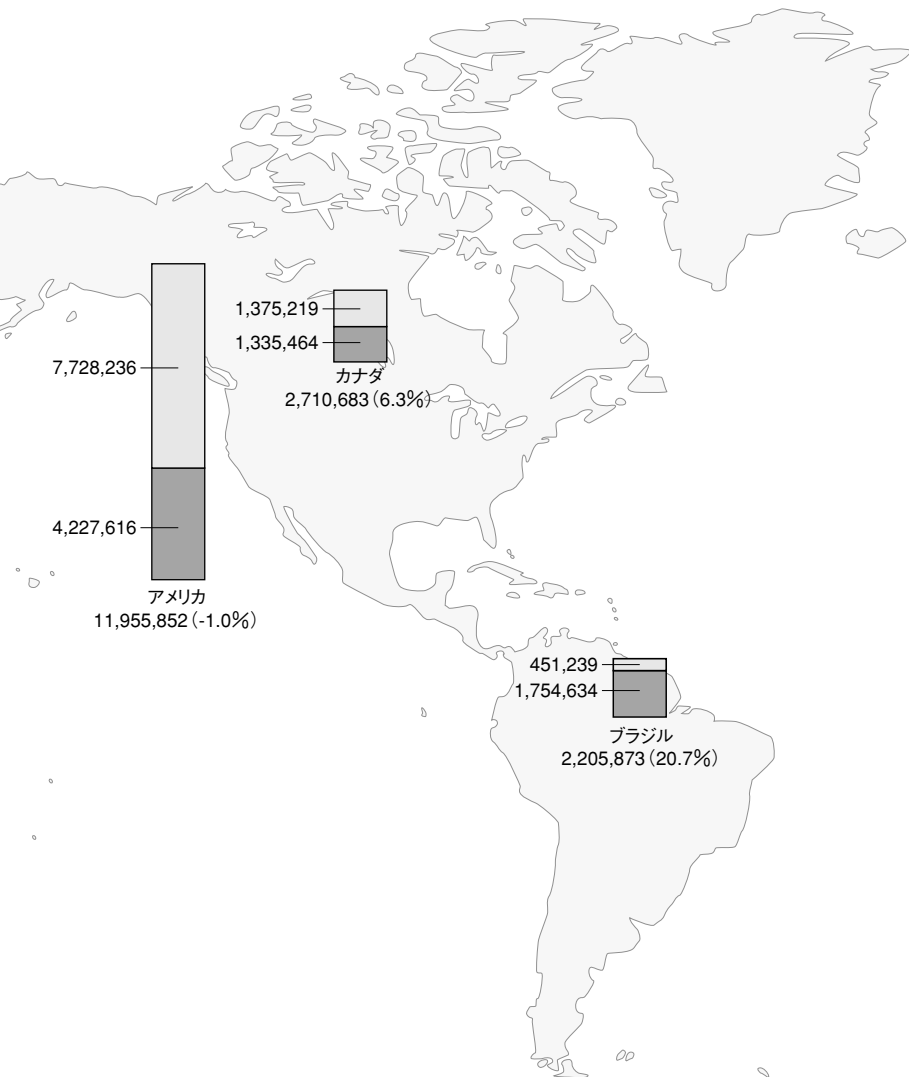
■主要自動車生産国の自動車生産台数

(単位：千台)

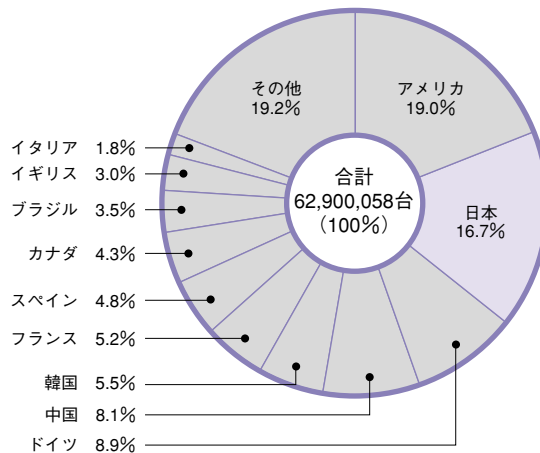


注)生産台数は2005年3月現在の公表値。フランスは1998年から生産台数の算出方法を変更(1997年までさかのぼって修正)。2004年より中国を追加。2004年の「その他」は推計。2004年の自動車生産合計値はVDA(Verband der Automobilindustrie)推計。

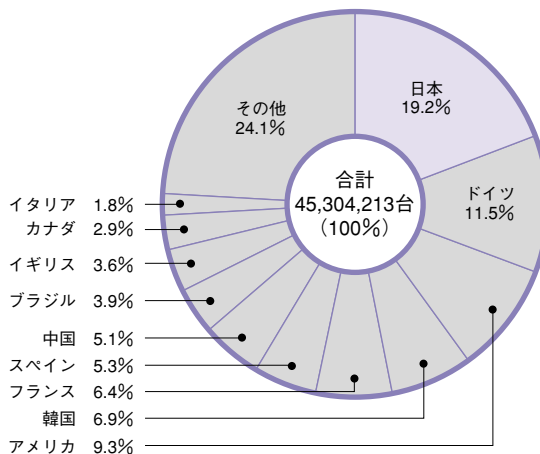
資料：各国自工会



2004年国別自動車生産（シェア）

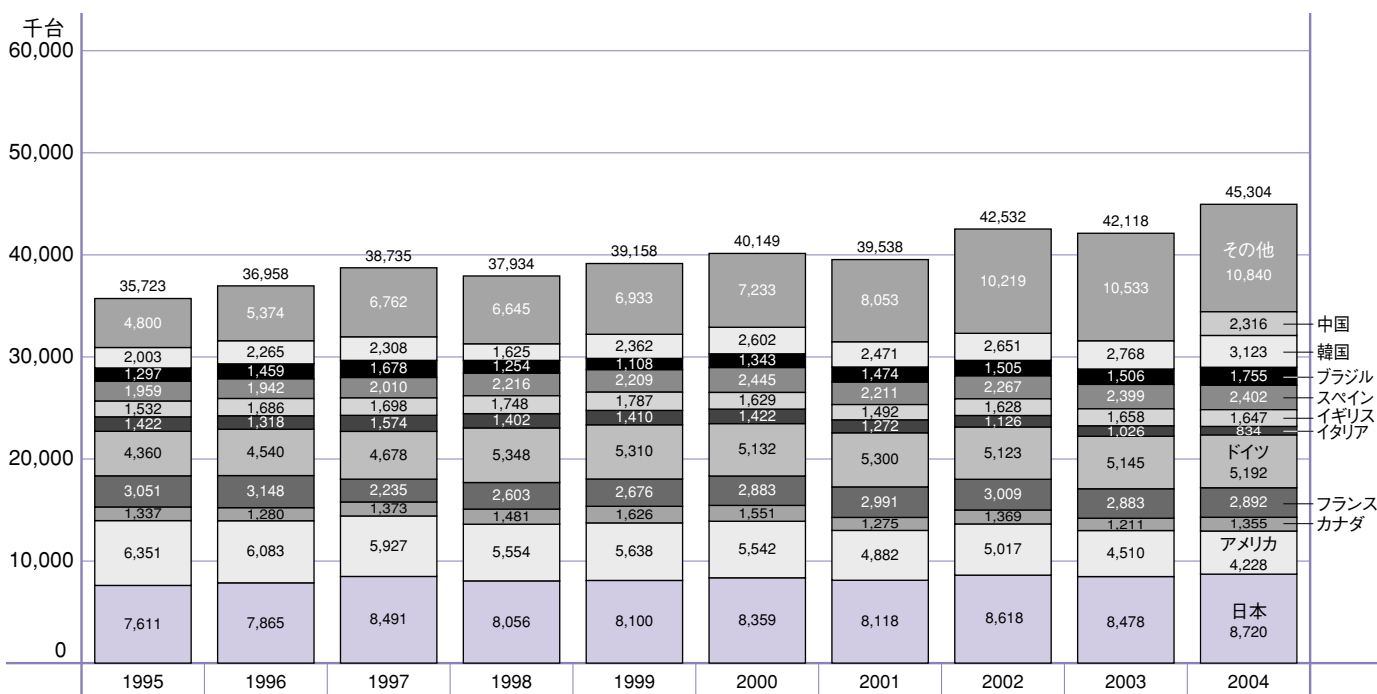


2004年国別乗用車生産（シェア）



■主要自動車生産国の乗用車生産台数

(単位：千台)



注)生産台数は2005年3月現在の公表値。フランスは1998年から生産台数の算出方法を変更(1997年までさかのぼって修正)。2004年より中国を追加。2004年の「その他」は推計。2004年の乗用車生産合計値はVDA(Verband der Automobilindustrie)推計およびWard'sによる。

資料：各国自工会

世界の国別メーカー別自動車生産台数(2004年)

国名	会社名	乗用車	商用車	合計	0	100	200	300	400	万台
アメリカ	GM	1,181,231	2,397,766	3,578,997						
	フォード <sup>※1</sup>	696,117	2,318,488	3,014,605						
	ダイムラー・クライスラー <sup>※2</sup>	350,766	1,340,049	1,690,815						
	トヨタ <sup>※3</sup>	707,837	517,991	1,225,828						
イギリス	日産	319,652	—	319,652						
	トヨタ	244,799	—	244,799						
	ホンダ	193,455	—	193,455						
	BMW	189,136	—	189,136						
ドイツ	VW <sup>※4</sup>	1,823,732	79,458	1,903,190						
	ダイムラー・クライスラー <sup>※5</sup>	1,004,644	222,879	1,227,523						
	GM(オペル)	787,782	—	787,782						
	BMW	759,444	—	759,444						
フランス	ルノー	1,083,848	226,649	1,310,497						
	プジョー	1,213,362	69,312	1,282,674						
	シトロエン	594,896	56,709	651,605						
	トヨタ	203,881	—	203,881						
イタリア	フィアットグループ <sup>※6</sup>	787,234	206,223	993,457						
韓国	現代	1,623,944	50,105	1,674,049						
	起亜	783,000	236,000	1,019,000						
日本	トヨタ <sup>※7</sup>	3,760,025	694,187	4,454,212						
	日産	1,204,254	234,753	1,439,007						
	ホンダ	1,190,883	51,645	1,242,528						
	スズキ	870,490	175,245	1,045,735						
	マツダ	758,269	60,461	818,730						

注) 日本は軽自動車を含む。  
 ※1 商用車にマツダを含む。  
 ※2 メルセデス・ベンツを含まない。  
 ※3 NUMMIを含む。  
 ※4 アウディを含む。  
 ※5 クライスラー部門を含まない。  
 ※6 アルファロメオ、ランチア、イベコを含む。  
 ※7 ダイハツ、日野を含む。

資料: アメリカは Ward's、イギリスは SMMT、ドイツは VDA、フランスは CCFA(除トヨタ)、イタリアは ANFIA、韓国は現代自動車、日本は自工会(除トヨタ)。日本とフランスのトヨタはトヨタ自動車。  
 SMMT: The Society of Motor Manufacturers and Traders Limited  
 V D A: Verband der Automobilindustrie  
 CCFA: Comité des Constructeurs Français d'Automobiles  
 ANFIA: Associazione Nazionale Fra Industrie Automobilistiche

世界のメーカー別自動車生産台数(2004年)

メーカー	生産台数	0	200	400	600	800	1,000	万台
GM	9,098,000							
トヨタ	7,547,177							
VW グループ	5,093,181							
ダイムラー・クライスラー	4,617,699							
PSAプジョー・シトロエン	3,405,100							
現代	3,375,421							
日産	3,194,119							
ホンダ	3,181,624							
ルノー	2,471,654							
スズキ	1,986,749							
三菱	1,413,403							
BMW	1,250,345							
マツダ	1,134,421							

注) 1. GMはオペル、サブ、ボグゾールを含む。  
 2. トヨタはダイハツ、日野を含む。  
 3. VWグループはアウディ、セアト、スコダ、ベントレー、ランボルギーニを含む。  
 4. 現代は起亜を含む。海外生産車にはCKDを含む。  
 5. ルノーはダチア、ルノー・サムスン・モーターズを含む。  
 6. 三菱は三菱ふそうを含まない。  
 7. BMWはミニ、ロールス・ロイスを含む。  
 8. フォードは生産台数未発表。

資料: 各社資料



■国/地域別新車販売台数(2003年)

国/地域	総数	乗用車	万台			
			0	500	1000	1500
アメリカ	16,967,431	7,610,468	乗用車 総数			
日本	5,828,183	4,460,019				
中国	4,390,619	2,020,032				
ドイツ	3,495,528	3,230,783				
イギリス	2,942,543	2,579,050				
イタリア	2,489,200	2,236,600				
フランス	2,440,373	2,009,393				
スペイン	1,716,170	1,383,018				
カナダ	1,625,056	864,995				
ブラジル	1,427,005	1,167,960				
韓国	1,318,312	1,001,874				
ロシア	1,297,071	1,025,472				
インド	1,076,280	644,117				
メキシコ	999,242	685,581				
オーストラリア	909,811	588,511				
オランダ	580,017	488,958				
ベルギー	521,002	458,796				
マレーシア	374,003	296,763				
南アフリカ	368,453	247,258				
台湾	365,170	252,181				
オーストリア	355,706	300,121				
ポーランド	342,850	320,523				
スウェーデン	295,484	261,206				
スイス	291,329	268,746				
ポルトガル	267,336	189,790				

資料：Ward's、各国自工会

■世界の主要自動車メーカーの売上高(2004年) (単位:百万円)

会社名	売上高
GM	20,931,506
ダイムラー・クライスラー	19,092,730
フォード	18,484,780
トヨタ	17,294,760
VW	11,956,627
ホンダ	8,162,600
PSA プジョー・シトロエン	7,540,512
日産	7,429,219
ルノー	5,415,245

注) 連結ベース。日本メーカーは2004年3月期。それ以外は2004年12月末決算。  
為替レートは決算期の期中平均(1ドル=108.2円、1ユーロ=134.4円)。  
資料:日本メーカーは決算報告書。その他は各社資料。為替レートは日本銀行。

■主要自動車市場のメーカー別乗用車販売台数(2003年)

国名	会社名	販売台数
アメリカ	GM <sup>*1</sup>	1,959,018
	フォード <sup>*2</sup>	1,169,433
	トヨタ	995,986
	ホンダ	820,129
	ダイムラー・クライスラー <sup>*3</sup>	643,229
カナダ	GM <sup>*1</sup>	228,276
	トヨタ	119,959
	ホンダ	113,530
	フォード <sup>*2</sup>	79,323
	ダイムラー・クライスラー <sup>*3</sup>	65,575
ドイツ	VW <sup>*4</sup>	985,505
	ダイムラー・クライスラー <sup>*5</sup>	433,059
	GM(オペル)	332,737
	フォード <sup>*6</sup>	280,036
	BMW	253,376
イギリス <sup>*13</sup>	フォード <sup>*7</sup>	488,783
	GM(ボグズール)	326,433
	VW <sup>*8</sup>	320,618
	PSA	302,542
	ルノー	189,427
フランス <sup>*13</sup>	PSA	650,716
	ルノー	546,014
	VW <sup>*9</sup>	203,899
	GM(オペル/ボグズール)	121,082
	フォード <sup>*10</sup>	108,027
イタリア	フィアット <sup>*11</sup>	628,804
	VW <sup>*8</sup>	256,554
	PSA	249,339
	フォード <sup>*12</sup>	225,502
	ルノー	167,347
スペイン	PSA	303,192
	VW <sup>*8</sup>	300,800
	ルノー	175,782
	フォード <sup>*2</sup>	147,838
	GM(オペル)	134,260
日本	トヨタ	1,511,664
	日産	703,091
	ホンダ	663,025
	スズキ	472,734
	ダイハツ	405,789

■主要自動車市場の乗用車車名別販売台数(2003年)

国名	車名	会社名	販売台数
アメリカ	Camry	トヨタ	413,296
	Accord	ホンダ	397,750
	Taurus	フォード	300,496
	Civic	ホンダ	299,672
	Impala	GM	267,882
カナダ	Civic	ホンダ	65,169
	Corolla	トヨタ	48,676
	Cavalier	GM	41,254
	Protege	マツダ	38,059
	Sunfire	GM	35,766
ドイツ	Golf	VW	217,877
	3 Series	BMW	123,559
	Polo	VW	112,925
	Passat	VW	109,382
	C-Class	ダイムラー・クライスラー	104,884
イギリス	Focus	フォード	131,684
	Corsa	ボグズール	108,387
	Astra	ボグズール	96,929
	Fiesta	フォード	95,887
	Clio	ルノー	83,972
フランス	Megane	ルノー	198,874
	Clio	ルノー	163,069
	206	プジョー	159,646
	307	プジョー	139,924
	Xsara	シトロエン	99,151
イタリア	Punto	フィアット	189,185
	Panda	フィアット	92,693
	C3	シトロエン	76,288
	Seicento	フィアット	75,333
	Fiesta	フォード	74,428
スペイン	Megane	ルノー	91,922
	Xsara	シトロエン	75,556
	Focus	フォード	68,144
	Ibiza	セアト	66,280
	307	プジョー	65,111
日本	カローラ	トヨタ	198,904
	フィット	ホンダ	182,285
	ウィッシュ	トヨタ	158,658
	キューブ	日産	139,570
	マーチ	日産	123,709

注) アメリカ、カナダ、日本は輸入車を含む。日本は軽自動車、海外生産車、輸入車から日本メーカーブランドとして登録された台数を含む。

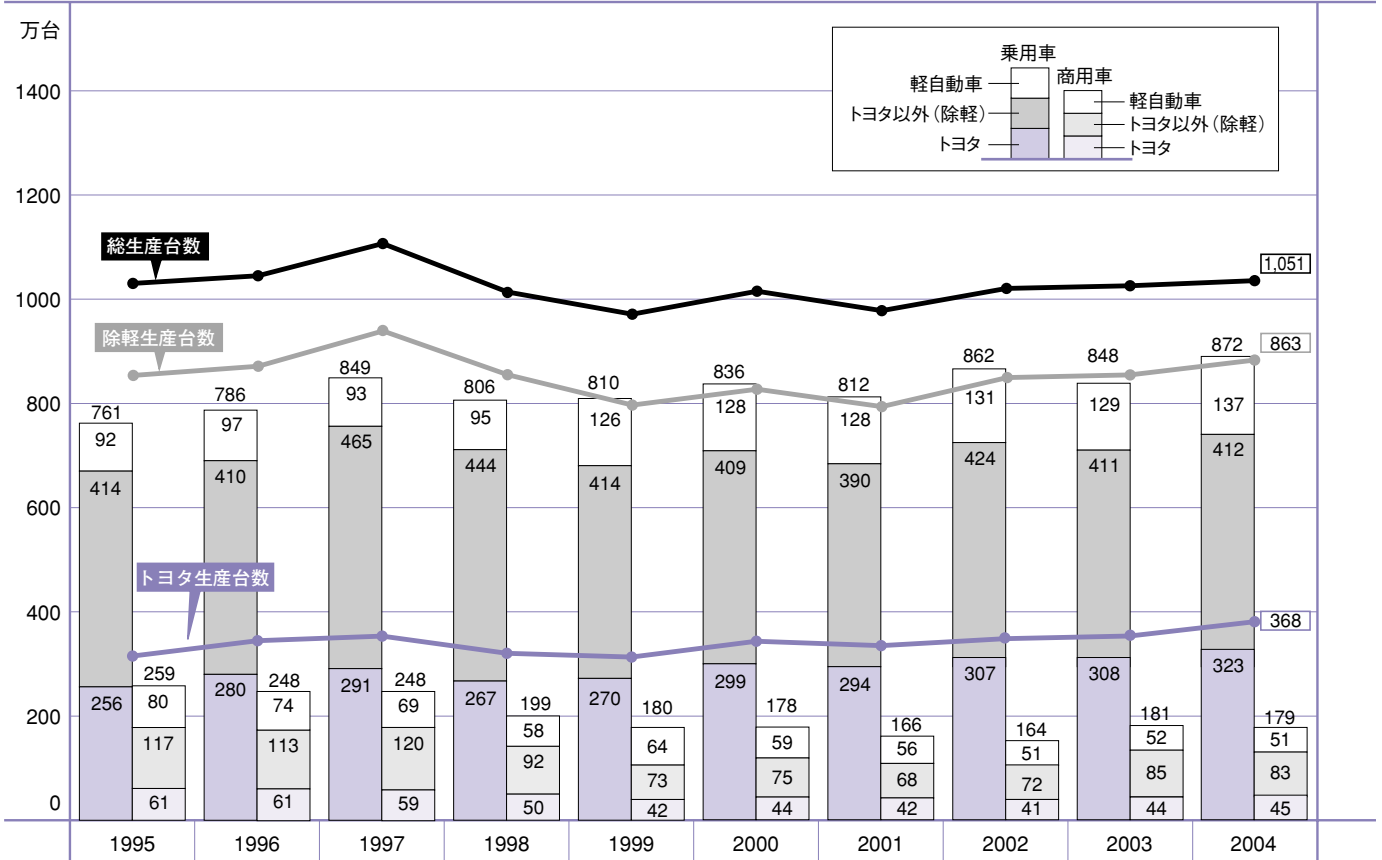
※1 サブ含む。 ※2 ジャガー、ボルボカーズ含む。 ※3 メルセデス・ベンツ含む。 ※4 アウディ、セアト、スコダ、その他含む。 ※5 スマート、クライスラー、その他含む。 ※6 ジャガー、ランドローバー、ボルボカーズ、その他含む。 ※7 ジャガー、ランドローバー、アストンマーチン、ボルボカーズ含む。

※8 アウディ、セアト、スコダ含む。 ※9 アウディ、セアト、スコダ、ベントレー含む。 ※10 ジャガー、ランドローバー、ボルボカーズ含む。 ※11 ランチア、アルファロメオ含む。 ※12 ランドローバー、ボルボカーズ含む。 ※13 イギリス・フランスは登録台数。

注) 日本は軽自動車、輸入車を除く。

資料: Ward's、各国自工会、日本自動車販売協会連合会

国内生産台数の推移



注) 四捨五入の結果、内訳の合計は必ずしも総数と一致しない。

資料：日本自動車工業会

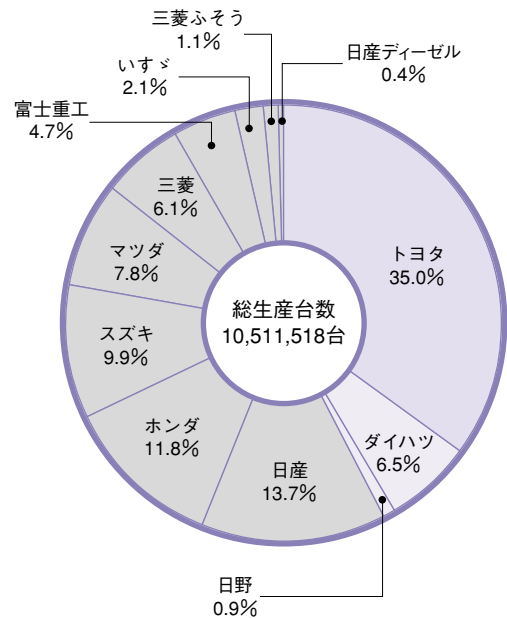
メーカー別自動車生産台数(含軽) (2004年)

(単位：台、%)

会社名	総生産台数		乗用車	
	生産台数	前年比	生産台数	前年比
<b>トヨタ</b>	<b>3,680,946</b>	<b>104.6</b>	<b>3,231,430</b>	<b>104.8</b>
<b>ダイハツ</b>	<b>679,485</b>	<b>106.0</b>	<b>528,826</b>	<b>107.2</b>
<b>日野</b>	<b>93,837</b>	<b>112.9</b>	—	—
日産	1,439,007	97.8	1,204,254	96.9
ホンダ	1,242,528	106.1	1,190,883	106.6
スズキ	1,045,735	106.6	870,490	108.9
マツダ	818,730	102.2	758,269	103.4
三菱	639,883	85.4	532,483	82.5
富士重工	491,792	109.3	403,540	111.1
いすゞ	218,352	89.3	210	29.6
三菱ふそう	120,118	90.5	—	—
日産ディーゼル	40,107	103.2	—	—
その他	998	59.0	—	—
合計	10,511,518	102.2	8,720,385	102.9

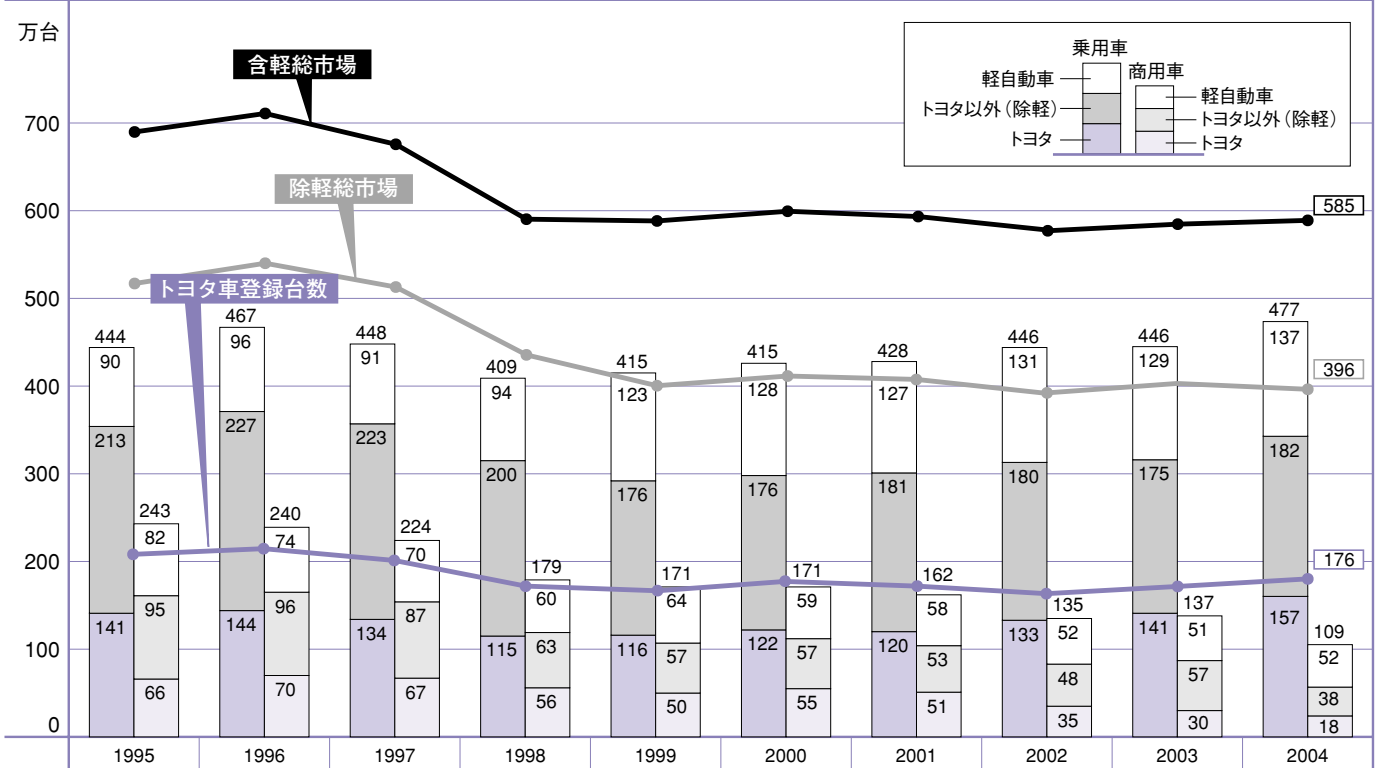
資料：日本自動車工業会

メーカー別生産シェア(含軽) (2004年)



資料：日本自動車工業会

国内登録・届出台数の推移



注) 四捨五入の結果、内訳の合計は必ずしも総数と一致しない。

資料：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合

メーカー別登録・届出台数(2004年)

(単位：台、%)

会社名	登録台数(除軽)					登録・届出台数(含軽)				
	乗用車	商用車	合計	前年比(%)	シェア(%)	乗用車	商用車	合計	前年比(%)	シェア(%)
トヨタ*	1,574,931	184,072	1,759,003	102.5	44.4	1,574,931	184,072	1,759,003	102.5	30.0
ダイハツ	15,548	924	16,472	173.7	0.4	442,643	135,166	577,809	106.6	9.9
日野	-	50,902	50,902	106.3	1.3	-	50,902	50,902	106.3	0.9
日産	633,016	110,102	743,118	95.1	18.8	692,048	134,831	826,879	100.2	14.1
ホンダ*	478,759	2,689	481,448	100.3	12.2	690,618	52,515	743,133	101.1	12.7
マツダ	196,434	33,272	229,706	98.0	5.8	238,975	41,608	280,583	101.0	4.8
三菱*	75,618	6,730	82,348	59.2	2.1	184,980	70,260	255,240	69.5	4.4
富士重工	112,858	-	112,858	101.9	2.8	190,318	88,105	278,423	114.2	4.8
いすゞ	54	80,925	80,979	94.0	2.0	54	80,925	80,979	94.0	1.4
スズキ	68,727	-	68,727	107.8	1.7	512,138	149,997	662,135	105.6	11.3
日本GM	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	0.0
日産ディーゼル	-	19,704	19,704	88.6	0.5	-	19,704	19,704	88.6	0.3
三菱ふそう	-	73,293	73,293	83.8	1.8	-	73,293	73,293	83.8	1.3
輸入車・その他	240,103	3,571	243,674	98.4	6.1	241,426	3,873	245,299	98.2	4.2
	269,198	3,682	272,880	97.9	7.0	270,521	3,984	274,505	97.7	4.7
合計	3,396,048	566,184	3,962,232	98.4	100.0	4,768,131	1,085,251	5,853,382	100.4	100.0

注) ※海外生産車を含む。「輸入車」の上段は輸入車から日本メーカーブランドとして登録されたものを除いた数字、下段は含む数字。

資料：日本自動車工業会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合

乗用車系登録車両の国内販売台数ベスト10(2004年)

順位	車名	会社名	登録・届出台数	前年比(%)
1	カローラ	トヨタ	173,301	87.1
2	フィット	ホンダ	149,503	82.0
3	キューブ	日産	138,623	99.3
4	ウィッシュ	トヨタ	126,531	79.8
5	クラウン	トヨタ	116,614	207.9

注) カローラにはカローラバリオ、カローラランクス、カローラフィールダーを含む。

順位	車名	会社名	登録・届出台数	前年比(%)
6	マーチ	日産	102,792	83.1
7	オデッセイ	ホンダ	97,849	215.6
8	イスト	トヨタ	87,923	84.6
9	アルファード	トヨタ	85,953	102.9
10	ノア	トヨタ	77,146	88.8

資料：日本自動車販売協会連合会

都道府県別の登録台数とメーカー別シェア(除軽、2004年)

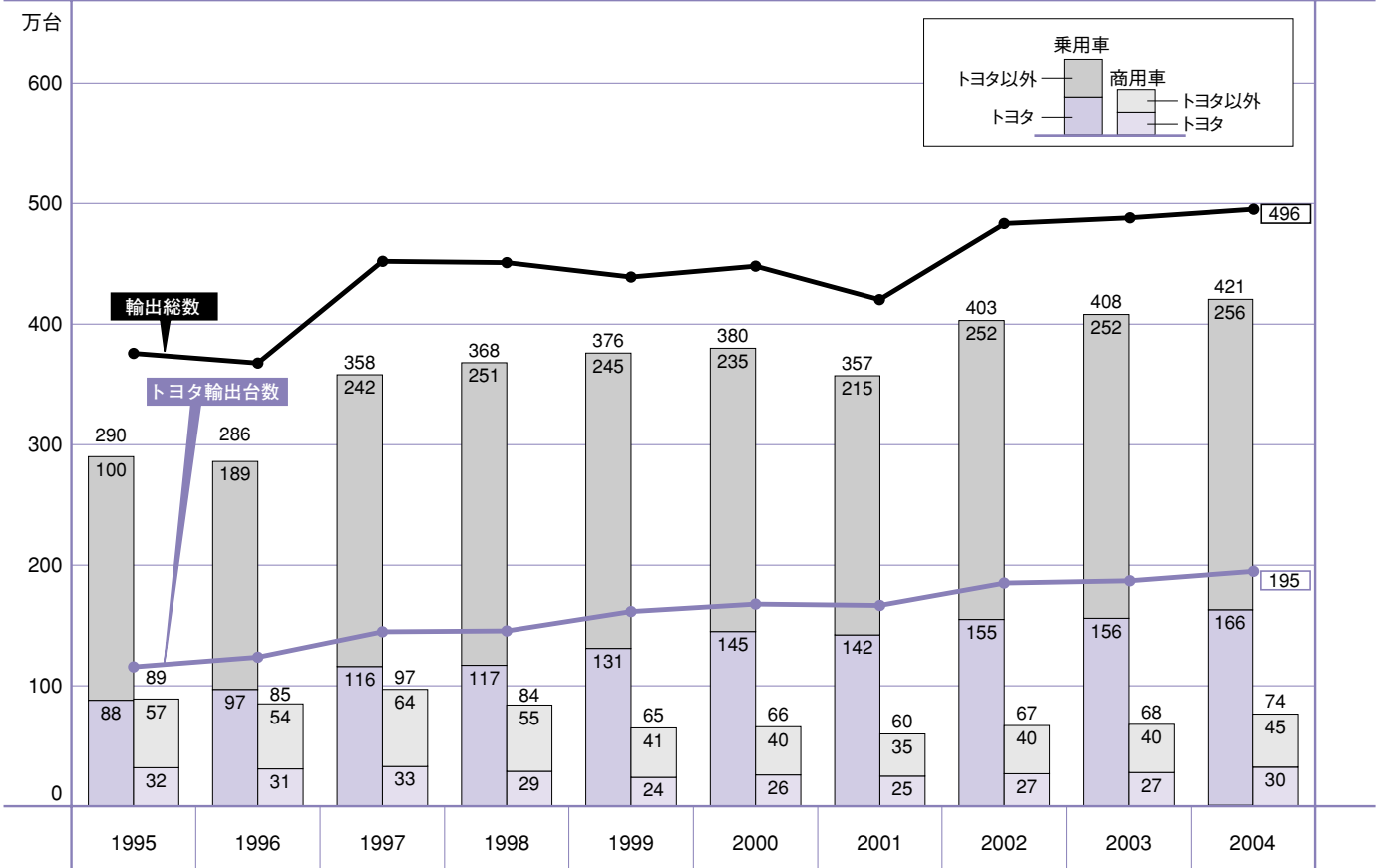
(単位:台、%)

	シェア						除軽総市場(前年比)	軽自動車[シェア]
	トヨタ(登録台数)	日産	ホンダ	三菱	マツダ	その他		
北海道	46.5 (76,024)	17.8	13.1	5.1	5.4	12.1	163,599 (96.3)	62,317 [27.6]
青森	45.6 (15,229)	17.8	13.9	4.4	3.4	14.9	33,423 (95.2)	26,962 [44.7]
岩手	45.2 (15,281)	18.7	12.9	4.9	4.6	13.7	33,810 (95.7)	24,308 [41.8]
宮城	43.5 (31,832)	19.0	14.4	4.4	4.4	14.3	73,224 (99.4)	37,131 [33.6]
秋田	37.9 (11,670)	24.6	14.5	3.3	6.8	12.9	30,773 (94.2)	22,928 [42.7]
山形	46.0 (17,223)	18.6	12.2	4.7	5.1	13.4	37,415 (98.8)	24,393 [39.5]
福島	42.5 (26,435)	21.4	12.9	4.4	6.1	12.7	62,220 (96.9)	33,061 [34.7]
茨城	43.3 (43,323)	18.3	14.2	3.9	6.8	13.5	100,135 (96.8)	44,095 [30.6]
栃木	43.8 (33,835)	19.5	14.9	3.2	5.1	13.5	77,227 (97.6)	34,411 [30.8]
群馬	42.5 (36,326)	21.4	10.5	3.7	5.3	16.6	85,514 (99.2)	39,639 [31.7]
埼玉	40.4 (95,425)	20.2	13.8	5.0	6.2	14.4	236,469 (92.5)	73,256 [23.7]
千葉	43.4 (80,577)	18.5	13.7	4.5	4.0	15.9	185,526 (92.0)	64,474 [25.8]
東京	39.2 (131,779)	21.4	9.5	3.3	4.3	22.3	336,064 (91.4)	71,284 [17.5]
神奈川	41.8 (121,221)	22.6	10.2	3.9	3.7	17.8	290,147 (96.7)	62,241 [17.7]
新潟	40.7 (30,617)	19.3	15.8	4.2	6.1	13.9	75,202 (102.1)	53,661 [41.6]
山梨	46.5 (12,874)	17.3	13.2	3.8	4.9	14.3	27,695 (97.9)	16,021 [36.6]
富山	48.3 (18,329)	14.9	13.1	3.7	6.6	13.4	37,962 (97.4)	21,625 [36.3]
石川	49.6 (20,321)	16.0	12.1	3.5	5.8	13.0	40,968 (97.5)	20,787 [33.7]
福井	45.6 (13,695)	15.2	13.2	4.5	7.8	13.7	30,047 (102.4)	19,003 [38.7]
長野	41.4 (31,351)	21.7	13.1	3.3	5.9	14.6	75,682 (96.4)	51,610 [40.5]
岐阜	50.3 (40,273)	15.7	10.5	3.2	6.8	13.5	80,088 (97.7)	45,087 [36.0]
静岡	41.0 (57,790)	21.4	12.8	3.7	6.4	14.7	140,896 (100.4)	77,377 [35.4]
愛知	57.1 (197,668)	12.1	8.7	3.8	5.4	12.9	346,055 (105.0)	122,419 [26.1]
三重	43.7 (33,130)	17.8	16.5	2.8	6.5	12.7	75,871 (100.9)	42,610 [36.0]
滋賀	47.8 (21,618)	17.2	11.9	3.5	6.0	13.6	45,208 (102.3)	28,948 [39.0]
京都	45.4 (33,277)	18.9	11.3	4.3	5.3	14.8	73,217 (100.4)	34,703 [32.2]
大阪	42.1 (103,987)	20.0	11.5	3.7	7.9	14.8	246,934 (104.6)	90,737 [26.9]
兵庫	43.0 (69,688)	19.4	11.2	3.6	6.5	16.3	161,977 (105.5)	70,699 [30.4]
奈良	48.7 (19,505)	15.0	13.3	2.9	6.6	13.5	40,012 (100.1)	19,879 [33.2]
和歌山	46.0 (11,638)	18.4	14.7	3.2	3.8	13.9	25,306 (98.2)	21,058 [45.4]
鳥取	42.6 (6,982)	15.8	16.1	5.9	5.8	13.8	16,389 (97.9)	15,392 [48.4]
島根	45.4 (10,067)	19.4	13.7	5.0	4.8	11.7	22,173 (98.1)	20,725 [48.3]
岡山	45.0 (26,740)	13.7	13.8	6.5	6.4	14.6	59,437 (104.3)	42,538 [41.7]
広島	43.6 (37,053)	15.0	11.1	4.4	11.7	14.2	85,040 (101.4)	55,595 [39.5]
山口	44.9 (21,838)	18.9	12.7	4.2	7.0	12.3	48,638 (100.2)	38,288 [44.0]
徳島	47.5 (10,431)	13.3	13.8	2.7	6.2	16.5	21,944 (102.6)	17,041 [43.7]
香川	47.6 (15,174)	13.4	15.9	4.0	4.5	14.6	31,870 (114.8)	25,293 [44.2]
愛媛	47.3 (16,376)	16.9	11.4	3.2	7.5	13.7	34,628 (102.0)	28,582 [45.2]
高知	42.1 (7,894)	22.3	12.6	3.4	6.6	13.0	18,750 (95.9)	17,960 [48.9]
福岡	43.5 (63,449)	22.1	11.1	3.5	6.7	13.1	145,727 (98.3)	74,964 [34.0]
佐賀	43.8 (8,762)	18.5	13.3	4.3	4.2	15.9	20,010 (97.2)	21,096 [51.3]
長崎	39.3 (11,427)	18.6	17.4	4.4	6.0	14.3	29,086 (95.5)	31,417 [51.9]
熊本	45.2 (19,211)	18.6	13.7	3.3	5.7	13.5	42,507 (97.1)	35,804 [45.7]
大分	40.0 (13,151)	20.9	14.1	3.5	6.8	14.7	32,849 (100.7)	25,375 [43.6]
宮崎	43.6 (12,533)	18.3	15.8	3.2	7.9	11.2	28,717 (94.0)	26,777 [48.3]
鹿児島	46.0 (18,147)	17.4	15.6	3.1	5.2	12.7	39,477 (99.1)	34,971 [47.0]
沖縄	44.5 (7,667)	16.2	14.0	4.1	5.8	15.4	17,244 (96.9)	22,275 [56.4]
全国	44.4 (1,758,843)	18.8	12.1	3.9	5.8	15.0	3,963,152 (98.4)	1,890,817 [32.3]

注) 1. [ ]内は含軽総市場に占める軽自動車のシェア。 2. 海外生産車を含む。

資料: トヨタ自動車

日本の自動車輸出の推移



注) 四捨五入の結果、内訳の合計は必ずしも総数と一致しない。

資料: 日本自動車工業会

メーカー別自動車輸出台数 (2004年)

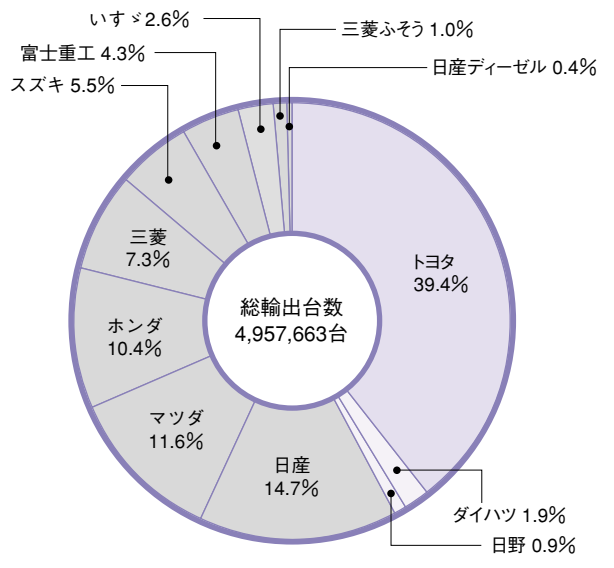
(単位: 台、%)

メーカー別輸出シェア (2004年)

会社名	総輸出台数		乗用車	
	輸出台数	前年比	輸出台数	前年比
<b>トヨタ</b>	<b>1,951,741</b>	<b>106.3</b>	<b>1,656,178</b>	<b>106.0</b>
<b>ダイハツ</b>	<b>93,899</b>	<b>112.0</b>	<b>77,979</b>	<b>107.2</b>
<b>日野</b>	<b>43,589</b>	<b>131.1</b>	—	—
日産	728,929	102.9	583,463	99.3
マツダ	576,181	104.0	569,037	104.0
ホンダ	513,626	110.3	513,626	110.3
三菱	363,060	93.1	347,696	92.7
スズキ	273,654	99.6	254,633	98.3
富士	211,187	104.2	211,187	104.2
いすゞ	130,573	87.6	228	3.0
三菱ふそう	50,503	119.8	—	—
日産ディーゼル	20,721	125.7	—	—
全メーカー合計	4,957,663	104.2	4,214,027	103.3

注) 合計には国際機関向け輸出を含む。

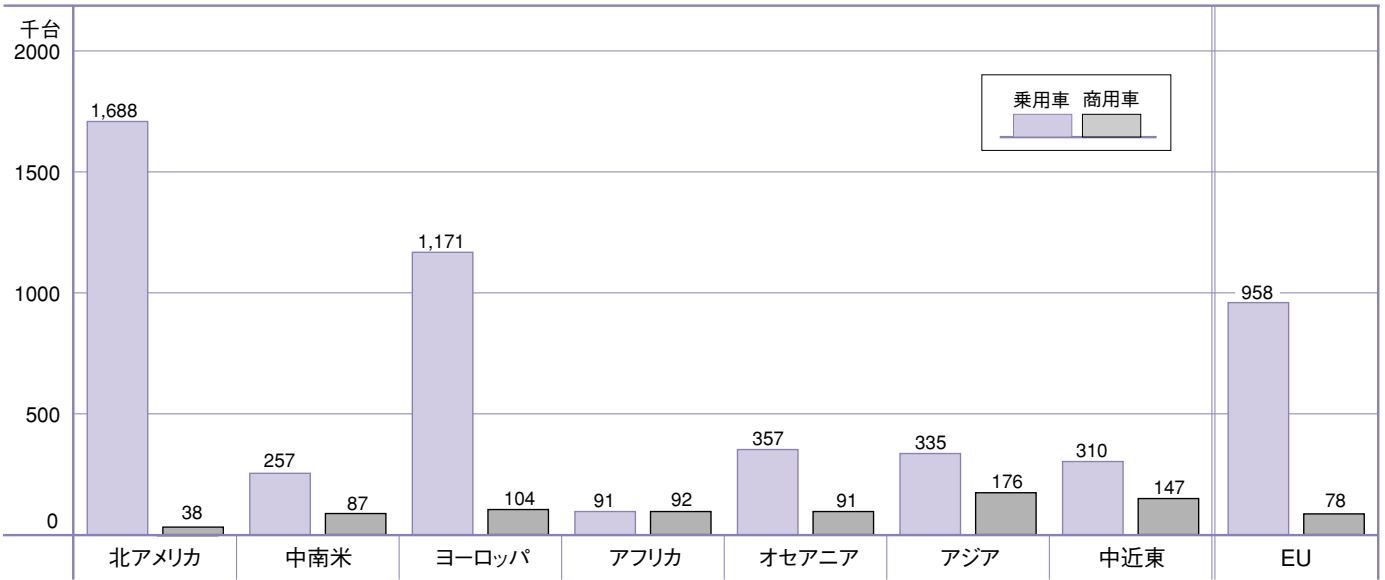
資料: 日本自動車工業会



注) 合計には国際機関向け輸出を含む。

資料: 日本自動車工業会

■日本の自動車輸出（2004年）



資料：日本自動車工業会

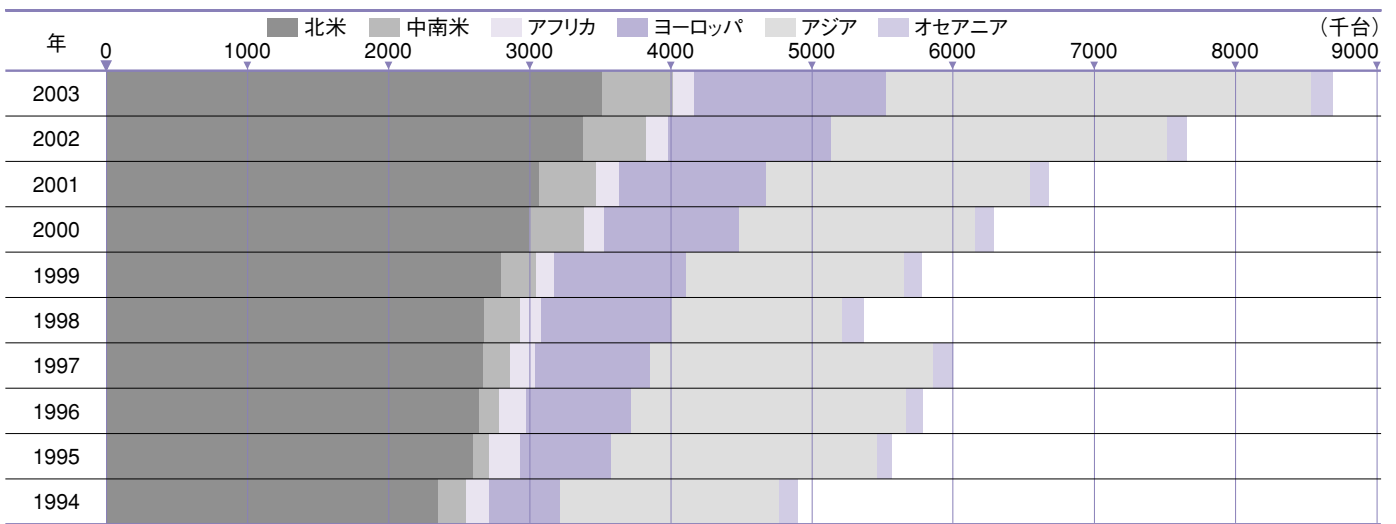
■日本の自動車輸出相手国ベスト10（2004年）

（単位：台、%）

順位	国名	輸出総数		乗用車		商用車	
		輸出台数	対前年比	輸出台数	対前年比	輸出台数	対前年比
1	アメリカ	1,559,607	97.8	1,523,220	97.3	36,387	157.4
2	オーストラリア	393,508	107.2	319,026	105.6	74,482	106.8
3	イギリス	227,660	108.4	209,201	107.9	18,459	143.0
4	ドイツ	198,485	89.5	194,065	90.1	4,420	91.5
5	カナダ	166,858	86.8	165,211	86.5	1,647	160.2
6	サウジアラビア	142,875	95.4	79,798	99.3	63,077	70.3
7	イタリア	122,719	95.6	117,934	95.3	4,785	95.2
8	中国	122,556	87.7	114,703	93.0	7,853	43.3
9	ロシア	106,604	276.0	104,491	279.9	2,113	163.7
10	U.A.E.	91,308	114.8	64,160	112.5	27,148	90.6

資料：日本自動車工業会

■日本メーカーの海外生産台数の推移

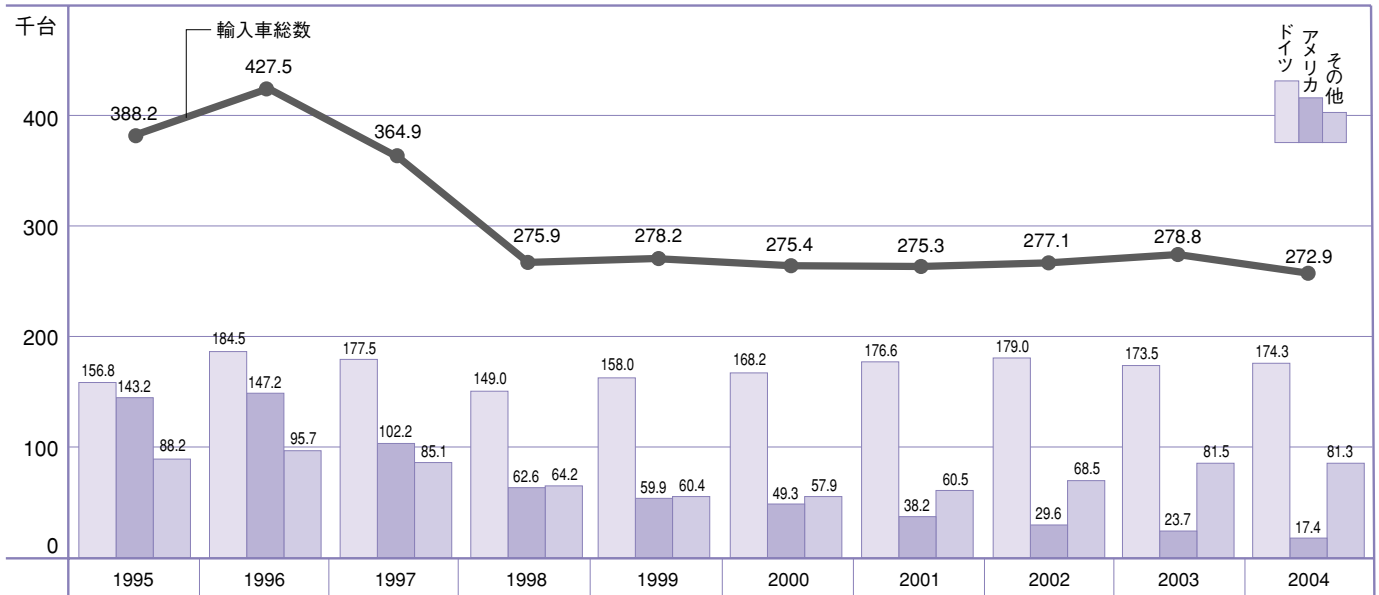


地域	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
北米	2,347	2,595	2,641	2,665	2,674	2,797	2,992	3,062	3,375	3,487
中南米	197	111	140	191	260	247	388	408	446	457
アフリカ	168	226	196	182	144	130	146	163	156	163
ヨーロッパ	502	642	738	815	921	929	953	1,038	1,153	1,338
アジア	1,554	1,883	1,951	2,003	1,221	1,551	1,678	1,873	2,387	3,013
オセアニア	128	103	118	136	151	126	131	137	135	148
総数	4,896	5,559	5,784	5,991	5,371	5,780	6,288	6,680	7,652	8,608

注)他ブランド分を除く。中近東をアジアに含む。四捨五入の結果、内訳の合計は必ずしも総数と一致しない。

資料：日本自動車工業会

■輸入自動車登録台数の推移



注) 四捨五入の結果、内訳の合計は必ずしも総数と一致しない。

資料：日本自動車輸入組合

■輸入車の国別登録台数

(単位：台)

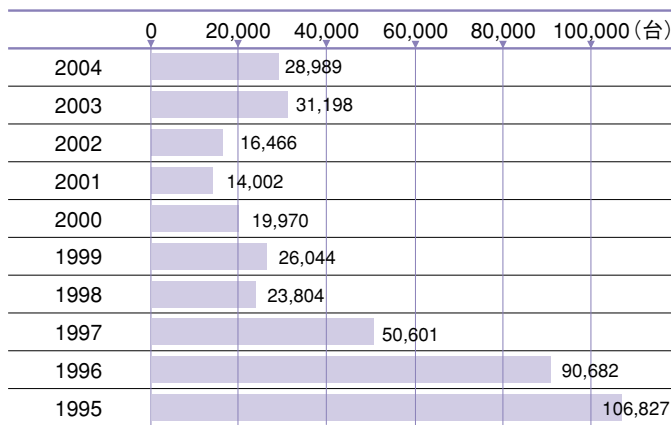
年次 国名	1999		2000		2001		2002		2003		2004	
	乗用車	商用車	乗用車	商用車	乗用車	商用車	乗用車	商用車	乗用車	商用車	乗用車	商用車
アメリカ 計	53,636	6,240	42,196	7,169	31,986	6,193	26,438	3,203	21,251	2,481	15,142	2,221
うち GM	16,201	4,875	10,796	5,504	6,438	4,439	5,895	1,854	3,953	1,105	3,563	847
フォード	2,689	658	2,536	792	2,300	729	2,671	461	2,870	670	3,098	580
ダイムラー・クライスラー	6,377	706	7,469	873	8,708	1,025	7,279	888	6,373	706	5,936	683
イギリス	17,067	8	9,428	—	8,583	1	10,917	371	15,159	225	26,870	332
ドイツ 計	157,645	322	167,808	391	176,305	336	178,750	287	173,095	451	173,611	639
うち VW	53,608	75	65,453	104	69,248	92	71,581	48	69,311	20	69,195	3
BMW	32,352	—	33,544	—	32,711	—	45,948	—	49,074	—	51,903	—
ダイムラー・クライスラー	48,149	235	46,267	271	55,668	231	48,603	231	46,490	418	45,679	632
オペル	19,433	—	15,318	—	12,626	—	7,846	—	3,890	—	1,694	—
フランス	11,339	—	14,092	—	16,207	—	18,776	—	19,340	41	18,018	28
イタリア	7,369	—	7,258	—	9,193	—	10,362	—	8,629	76	8,652	3
スウェーデン	12,833	101	14,463	123	15,126	189	13,673	210	12,889	336	12,123	450
その他	11,547	118	12,522	2	11,160	—	14,078	—	24,831	—	14,782	9
合計	271,436	6,789	267,767	7,685	268,560	6,719	272,994	4,071	275,194	3,610	269,198	3,682

注) 1. アメリカのダイムラー・クライスラーは、2000年よりクライスラーとメルセデス・ベンツの合計値。

2. ドイツのダイムラー・クライスラーは、2000年よりメルセデス・ベンツとスマートの合計値、2003年よりメルセデス・ベンツとスマート及びマイバツハの合計値。

資料：現代文化研究所

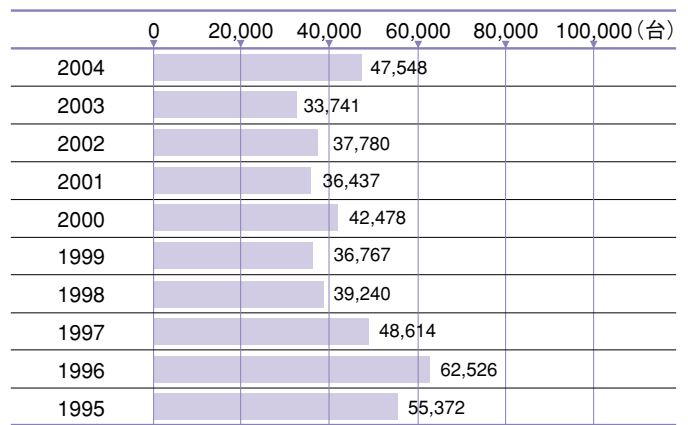
■日本メーカーの海外生産車輸入台数の推移



注) 対象メーカーはトヨタ、ホンダ、三菱。

資料：日本自動車輸入組合

■トヨタ取り扱い輸入車登録台数の推移



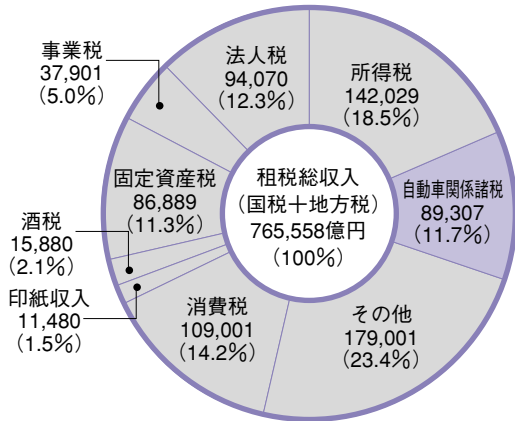
注) 2004年の対象車種はVW、アベンシス、ヴォルツ他。  
(対象車種は年度により変動あり)

資料：トヨタ自動車



自動車関係諸税は、1954年の道路特定財源制度導入以降、道路整備の財源として大きな役割を果たしてきました。しかし、これまで増税、新税創設が繰り返された結果、日本の自動車ユーザーは多種多様で国際的にみても過重な税負担をしています。

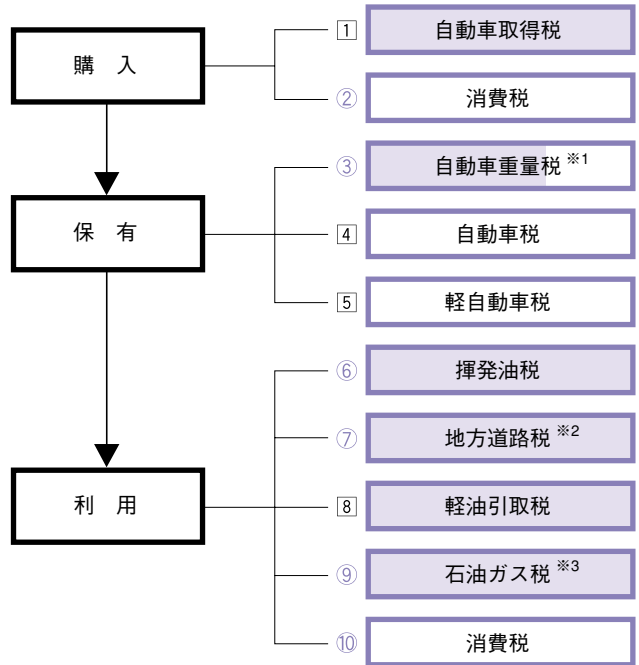
■ 2004年度租税総収入の税目別内訳並びに自動車関係諸税の税収額（当初見積り額）



注) 1. 自動車関係諸税の消費税収は自工会推定。  
2. 租税総収入内訳の消費税収は自動車関係諸税に含まれる消費税を除く。  
3. 消費税収には地方消費税収を含む。

資料：財務省、総務省、日本自動車工業会

■ 自動車をめぐる税制

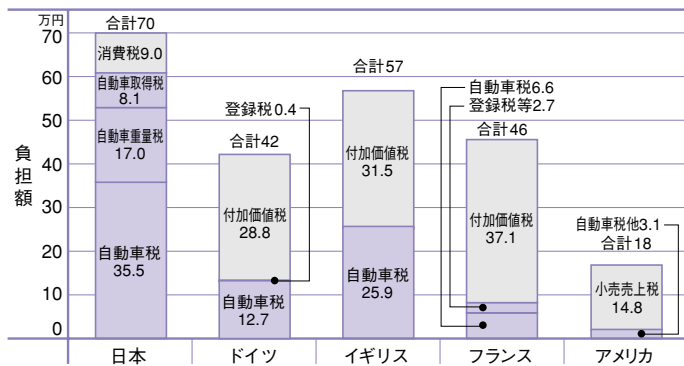


○ 国税  
□ 地方税  
■ 目的税(道路整備特定財源)  
□ 普通税(使途が限定されない)

※1. 「自動車重量税」は国税・普通税であるが、税収の1/3(平成15年度から)は地方へ譲与され「自動車重量譲与税」(道路整備特定財源)となり、残りの約8割は道路整備に充当される。  
※2. 「地方道路税」は国税であるが、税収の全額が地方へ譲与され「地方道路譲与税」となる。  
※3. 「石油ガス税」は国税であるが、税収の1/2は地方へ譲与され「石油ガス譲与税」となる。

資料：日本自動車工業会

■ 自動車関係諸税の国際比較

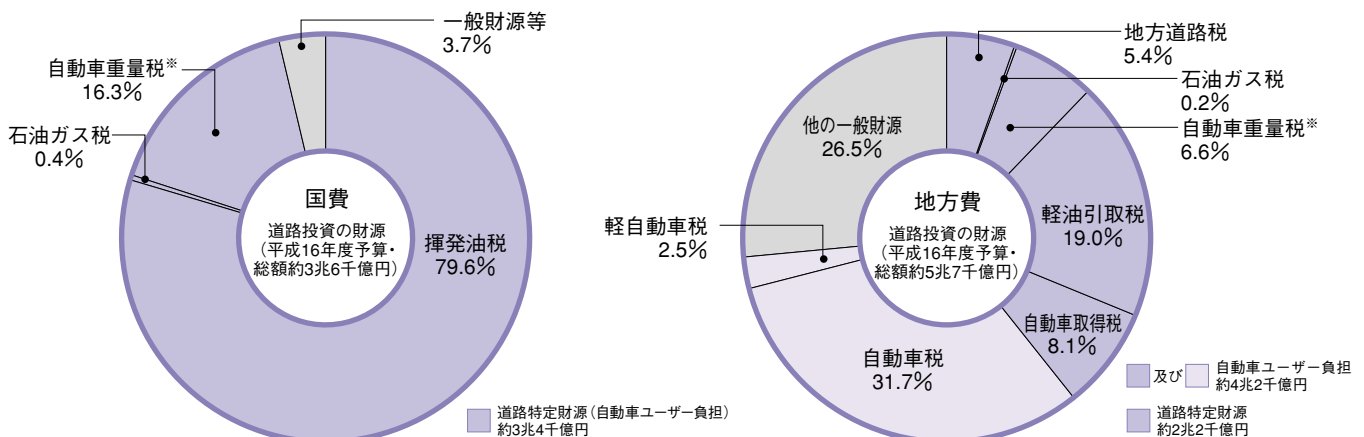


前提条件：(1) 排気量1800cc (2) 車両重量1,100kg (3) 車体価格180万円 (4) 9年間使用(平均寿命) (5) 為替レートは2003年4月～2004年2月の平均

資料：日本自動車工業会

■ 道路特定財源制度

道路特定財源制度は、受益者負担の考え方を根拠として、自動車ユーザーに対して、道路整備という特定の目的を使い道とすることを前提に、特別の負担を求めている制度のことで、



※ 自動車重量税の2/3は国の一般財源(ただし8割は国の道路特定財源)、1/3は地方の道路特定財源。

資料：国土交通省、日本自動車工業会



スピードはひかえめに。  
シートベルトやチャイルドシートを忘れずに。

# TOYOTA

**トヨタ自動車株式会社**  
**www.toyota.co.jp**

発行:トヨタ自動車株式会社 広報部 発行年月:2005年4月  
お問い合わせは 東京本社/広報部 Tel(03)3817-7111(代)



森林資源保護のため再生紙を使用いたしました。  
Printed In Japan (420761)